

平成 26 年 3 月 31 日

2013 年度「学生による授業評価アンケート」結果報告

2013 年度名古屋経済大学 FD 委員会

*2013 年度授業評価アンケート項目の変更について

学生による評価をさらなる授業改善に反映させるため、アンケート項目の改良を目的とした小委員会を結成した。同委小委員会は、前年度までのアンケート実施対象科目およびアンケート項目を見直し、変更案を作成した。FD 委員会及び全学部教授会での審議を経て、以下の変更案が承認され、2013 年度前期から採用することになった。

1. オムニバス形式科目（複数教員による科目）の授業評価アンケート実施について

(1) オムニバス科目は担当者が複数のため、個々の教員に対する評価が計れないとして実施されて来なかったが、オムニバス科目の増加に対応するため、オムニバス形式科目についても実施する。ひとつの科目とみなし、結果についてはグループに対する授業評価とみなす。例えば「市民生活と経済」のように複数クラスで、それぞれがオムニバス形式で授業が行われた場合、クラス別で実施されたアンケート結果を「市民生活と経済」という 1 科目で集計し、1 グループに対する評価とする。

(2) オムニバス形式科目の場合、必ずアンケート項目 1 3 「自由質問 1」として以下の質問を加える。

「複数教員による授業形式は好ましいですか。」

1. 非常に好ましい
2. かなり好ましい
3. どちらともいえない
4. あまり好ましくない
5. 全く好ましくない

(3) アンケート結果については担当者グループで分析・検討し、コメント（現状分析と改善点）は一本化する。

2. 新カリキュラムの「専門共通基礎科目 I, II」に属する科目について
「2年に1回」の原則を適用せず、初めての開講年度にアンケートを実施する。
担当者グループで必要と見なせば、毎年実施することもある。

3. アンケート項目の見直しについて

学生の要望をより正確に把握するため、以下の変更をする。

- (1) 前年度版の12(不満項目を10項目から3項目以内で選択)を廃止し、
15の「改善すべき点」を「不満点」として具体的に書いてもらう。
この点からも、学生に記述式の欄への記入を強く促す。

- (2) 以下の新項目を加える。

「この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか」

1. 非常に引き出す
2. かなり引き出す
3. どちらともいえない
4. あまり引き出さない
5. 全く引き出さない

この項目について、科目の性質上、不適切な場合、統計処理から削除可とする。

- (3) 質問内容をグループ化(学生の自己分析/コンテンツ/テクニックなど)するため、項目の順番を以下のとおり変更する。

1. あなたは、この授業に出席していますか。(旧1)
2. あなたは、この授業に意欲的に取り組んでいますか。(旧2)
3. この授業は、シラバスにそっておこなわれていますか。(旧3)
4. 授業内容は、わかりやすいですか。(旧5)
5. この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか。(新項目)
6. 教員の教え方には、熱意が感じられますか。(旧8)
7. 授業の速さや進め方は適切ですか。(旧7)
8. 教科書、配布資料は活用されていますか。(旧9)。
9. 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか。(旧10)
10. 教員の声は聞き取りやすいですか。(旧6)
11. 一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応

は、適切ですか。(旧 11)

12. 教員は、授業時間を守っていますか。(旧 4)

13. 自由質問 1 (板書を見て、回答してください。)

＜オムニバスの場合は上記 1—(2) 参照＞

14. 自由質問 2 (板書を見て、回答してください。)

15. その他、この授業について「良かった点」「不満な点」があれば記入してください。

A. あなたの所属している学部・学科は、どこですか。

B. あなたは、何年度入学ですか。

C. あなたは、何年生ですか。

D. あなたは、この授業のシラバスを読みましたか。

名古屋経済大学 授業評価アンケート

		科目 名称	担当 教員	
--	--	----------	----------	--

FD委員会

この授業評価アンケートは、学生による授業評価を通して、授業の改善を図るためのものです。学生による回答の秘密は守られ、授業改善のため以外の目的に使用されることはありません。回答が成績評価に影響することは、全くありません。誠実な回答をお願い致します。
 回答の仕方：この授業について、各質問にお答え下さい。鉛筆で、回答欄をマークして下さい。

1. あなたは、この授業に出席していますか。

〈回答欄〉

- 1：ほとんど出席している (出席率：90%以上) ①
- 2：かなり出席している (: 80%程度) ②
- 3：どちらともいえない (: 70%程度) ③
- 4：あまり出席していない (: 50%程度) ④
- 5：ほとんど出席していない (: 30%以下) ⑤

2. あなたは、この授業に意欲的に取り組んでいますか。

- 1：非常に意欲的である ①
- 2：かなり意欲的である ②
- 3：どちらともいえない ③
- 4：あまり意欲的でない ④
- 5：全く意欲的でない ⑤

3. この授業は、シラバスにそって行なわれていますか。

- 1：行なわれている ①
- 2：ほぼ行なわれている ②
- 3：どちらでもない ③
- 4：あまり行なわれていない ④
- 5：全く行なわれていない ⑤

4. 授業内容は、わかりやすいですか。

- 1：非常にわかりやすい ①
- 2：かなりわかりやすい ②
- 3：どちらともいえない ③
- 4：かなりわかりにくい ④
- 5：非常にわかりにくい ⑤

5. この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか。

- 1：非常に引き出す ①
- 2：かなり引き出す ②
- 3：どちらともいえない ③
- 4：あまり引き出さない ④
- 5：全く引き出さない ⑤

6. 教員の教え方には、熱意が感じられますか。

- 1：非常に感じられる ①
- 2：かなり感じられる ②
- 3：どちらともいえない ③
- 4：あまり感じられない ④
- 5：全く感じられない ⑤

7. 授業の速さや進め方は適切ですか。

- 1：非常に適切である ①
- 2：かなり適切である ②
- 3：どちらともいえない ③
- 4：あまり適切でない ④
- 5：全く適切でない ⑤

8. 教科書、配布資料は活用されていますか。

- 1：非常に活用されている ①
- 2：かなり活用されている ②
- 3：どちらともいえない ③
- 4：あまり活用されていない ④
- 5：全く活用されていない ⑤

9. 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか。

- 1：非常に見やすい ①
- 2：かなり見やすい ②
- 3：どちらともいえない ③
- 4：かなり見にくい ④
- 5：非常に見にくい ⑤

10. 教員の声は聞き取りやすいですか。

- 1：非常に聞き取りやすい ①
- 2：かなり聞き取りやすい ②
- 3：どちらともいえない ③
- 4：かなり聞き取りにくい ④
- 5：非常に聞き取りにくい ⑤

11. 一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切ですか。

- 1：非常に適切である ①
- 2：かなり適切である ②
- 3：どちらともいえない ③
- 4：あまり適切でない ④
- 5：全く適切でない ⑤

12. 教員は、授業時間を守っていますか。

- 1：非常に守っている ①
- 2：かなり守っている ②
- 3：どちらともいえない ③
- 4：あまり守っていない ④
- 5：全く守っていない ⑤

13. 自由質問1

- ①
- ②
- 板書を見て、回答してください。 ③
- ④
- ⑤

14. 自由質問2

- ①
- ②
- 板書を見て、回答してください。 ③
- ④
- ⑤

15. その他、この授業について「良かった点」「不満な点」があれば記入してください。

良かった点
不満な点

A. あなたの所属している学部・学科は、どこですか。

〈回答欄〉

- 1：経済学部・現代経済学科 ①
- 2：経営学部・経営学科 ②
- 3：法学部・法学科・ビジネス法学科 ③
- 4：人間生活科学部・教育保育学科 ④
- 5：人間生活科学部・管理栄養学科 ⑤

B. あなたは、何年度入学ですか。

- 1：2013年度生 ①
- 2：2012年度生 ②
- 3：2011年度生 ③
- 4：2010年度生 ④
- 5：2009年度生 ⑤
- 6：2008年度生 ⑥
- 7：2007年度生 ⑦
- 8：科目等履修生・研究生 ⑧

C. あなたは、何年生ですか。

- 1：1年生 ①
- 2：2年生 ②
- 3：3年生 ③
- 4：4年生 ④
- 5：その他 ⑤

D. あなたは、この授業のシラバスを読みましたか。

- 1：はい ①
- 2：いいえ ②

2013年度前期_実施概要

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
経済学部	24	21	87.50	0	0.00
経営学部	21	21	100.00	0	0.00
法学部	25	25	100.00	0	0.00
人間生活科学部・管理栄養学科	27	25	92.59	0	0.00
人間生活科学部・教育保育学科	25	22	88.00	0	0.00
非常勤	28	27	96.43	0	0.00
【全体】	150	141	94.00	0	0.00

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
経済学部	1,563	1,324	836	63.14
経営学部	2,366	2,366	1,480	62.55
法学部	1,629	1,629	882	54.14
人間生活科学部・管理栄養学科	854	811	718	88.53
人間生活科学部・教育保育学科	1,150	1,043	728	69.80
非常勤	1,471	1,457	954	65.48
【全体】	9,033	8,630	5,598	64.87

[名古屋経済大学] 2013年度前期 授業評価アンケート 教員所属別平均一覧

設問	内容
1	あなたは、この授業に出席していますか
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んでいますか
3	この授業は、シラバスにそって行なわれていますか
4	授業内容は、わかりやすいですか
5	この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか
6	教員の教え方には、熱意が感じられますか
7	授業の速さや進め方は、適切ですか
8	教科書、配布資料が活用されていますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか
10	教員の声は聞き取りやすいですか
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切ですか
12	教員は、授業時間を守っていますか

所属	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12
全体	4.43	3.97	4.11	3.90	3.81	4.06	3.97	4.05	3.94	4.14	3.97	4.29
経済学部	4.39	3.86	4.08	3.74	3.64	3.95	3.87	3.86	3.71	3.93	3.84	4.22
経営学部	4.35	3.96	4.14	3.95	3.84	4.08	3.98	4.08	4.07	4.19	3.95	4.30
法学部	4.33	3.91	4.12	3.91	3.80	4.02	4.00	4.14	3.91	4.17	4.10	4.25
人間生活科学部・管理栄養学科	4.62	4.12	4.06	3.90	3.90	4.04	3.91	4.08	3.98	4.24	3.98	4.18
人間生活科学部・教育保育学科	4.56	4.01	4.12	3.87	3.80	4.14	3.99	3.98	3.91	4.19	4.00	4.38
非常勤	4.41	3.99	4.10	3.97	3.88	4.11	4.03	4.09	3.98	4.13	3.95	4.36

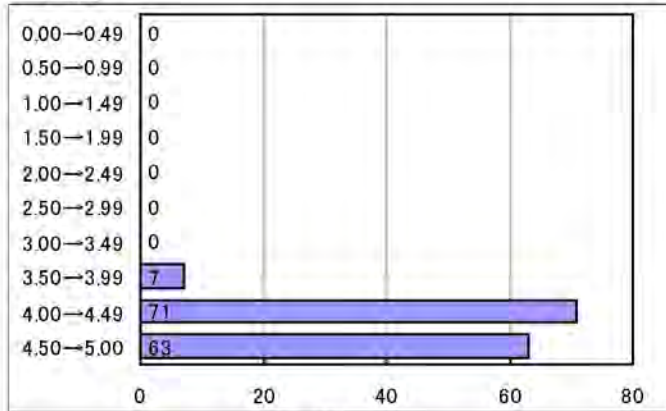
[名古屋経済大学] 2013年度後期 授業評価アンケート 教員所属別平均一覧

設問	内容
1	あなたは、この授業に出席していますか
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んでいますか
3	この授業は、シラバスにそって行なわれていますか
4	授業内容は、わかりやすいですか
5	この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか
6	教員の教え方には、熱意が感じられますか
7	授業の速さや進め方は、適切ですか
8	教科書、配布資料が活用されていますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか
10	教員の声は聞き取りやすいですか
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切ですか
12	教員は、授業時間を守っていますか

所属	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12
全体	4.39	4.01	4.14	3.96	3.90	4.09	4.03	4.09	3.99	4.17	4.02	4.30
経済学部	4.30	3.86	4.06	3.77	3.71	3.93	3.89	3.86	3.62	3.84	3.86	4.23
経営学部	4.37	4.06	4.17	4.10	3.99	4.18	4.11	4.18	4.11	4.24	4.07	4.35
法学部	4.25	3.96	4.08	3.96	3.91	4.10	4.00	4.05	4.02	4.19	4.05	4.24
人間生活科学部・管理栄養学科	4.74	4.27	4.25	4.11	4.11	4.26	4.17	4.40	4.24	4.39	4.19	4.39
人間生活科学部・教育保育学科	4.45	3.97	4.13	3.83	3.80	4.05	3.97	3.91	3.91	4.12	3.99	4.25
非常勤	4.38	4.01	4.18	3.98	3.90	4.09	4.04	4.13	4.05	4.28	4.01	4.33

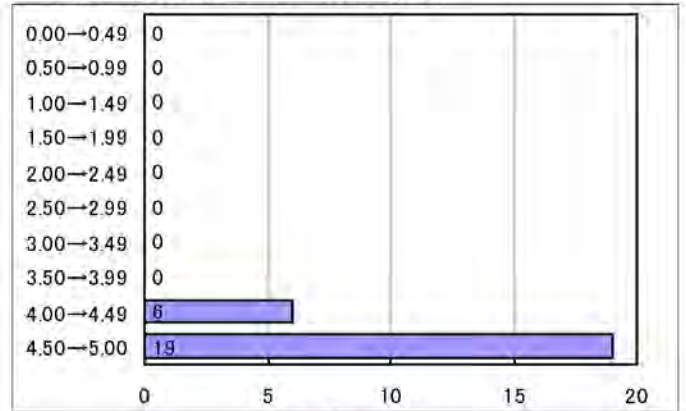
●1.あなたは、この授業に出席していますか

■全体



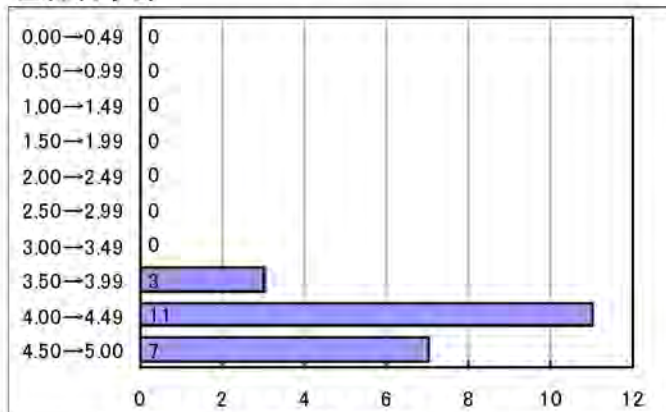
平均値 = 4.43

■人間生活科学部・管理栄養学科



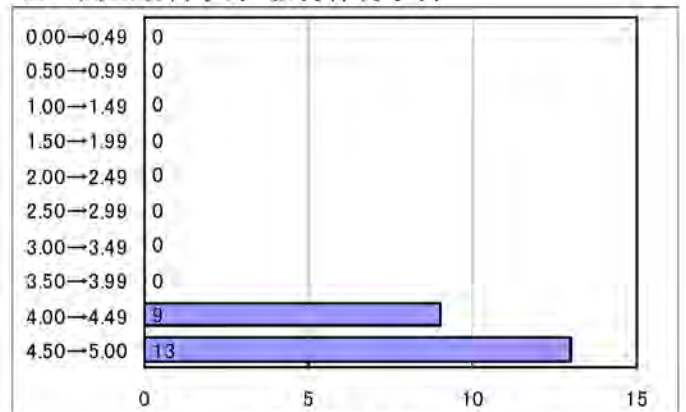
平均値 = 4.62

■経済学部



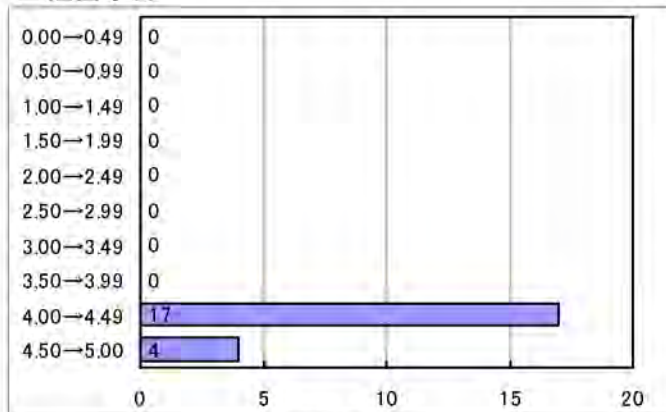
平均値 = 4.39

■人間生活科学部・教育保育学科



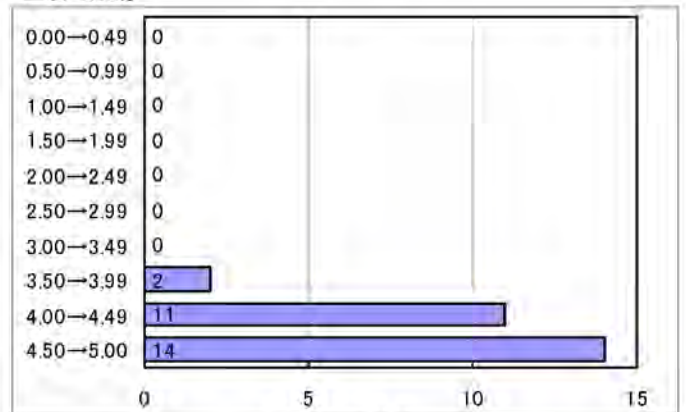
平均値 = 4.56

■経営学部



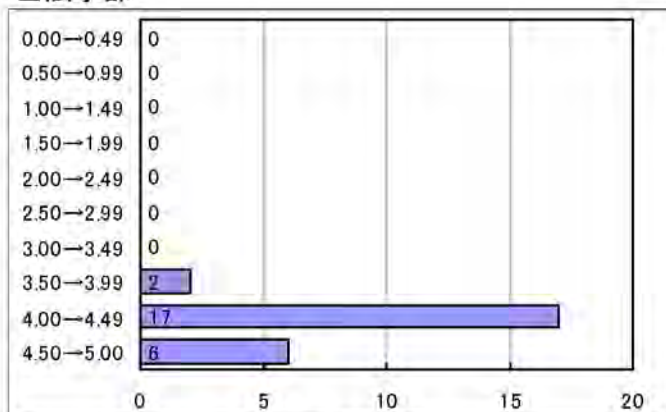
平均値 = 4.35

■非常勤



平均値 = 4.41

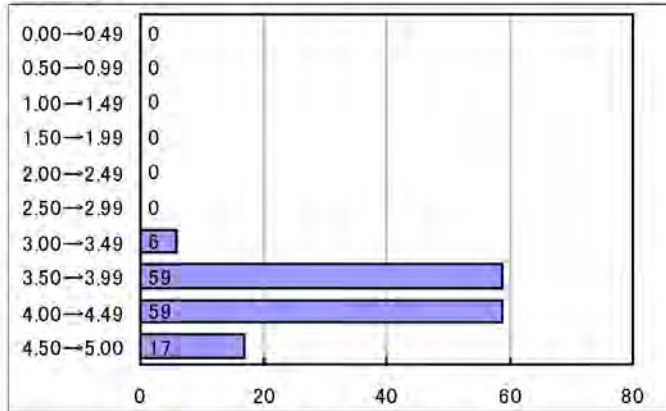
■法学部



平均値 = 4.33

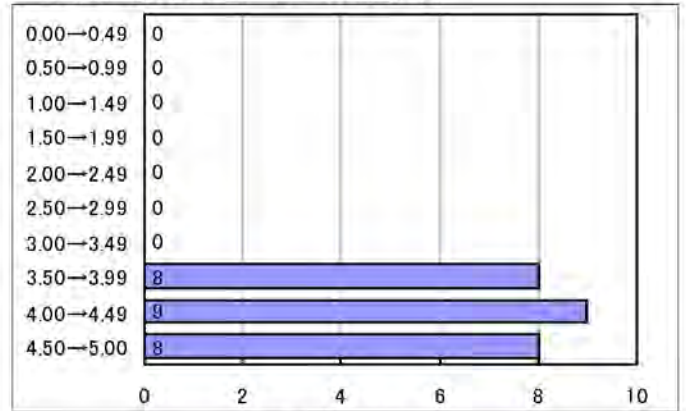
●2.あなたは、この授業に意欲的に取り組んでいますか

■全体



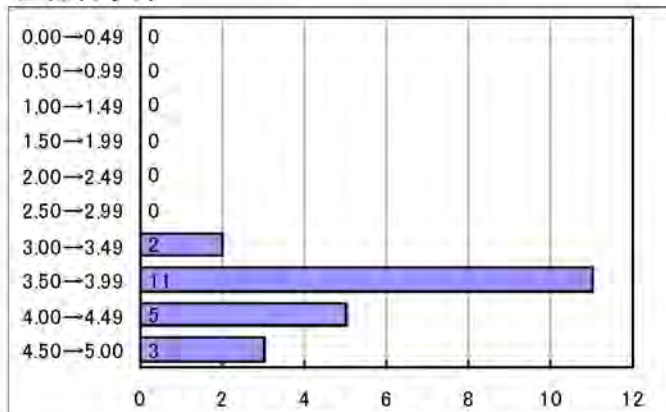
平均値 = 3.97

■人間生活科学部・管理栄養学科



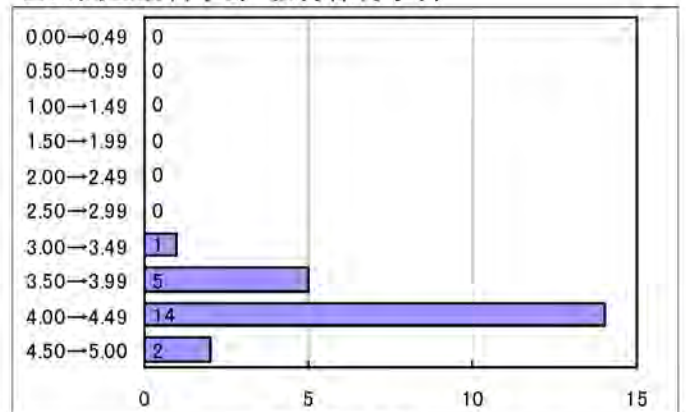
平均値 = 4.12

■経済学部



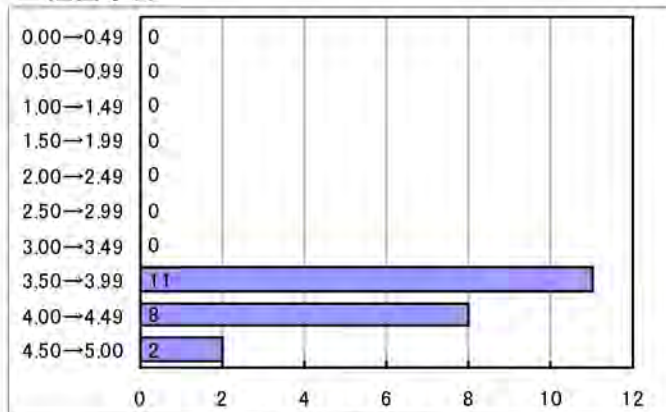
平均値 = 3.86

■人間生活科学部・教育保育学科



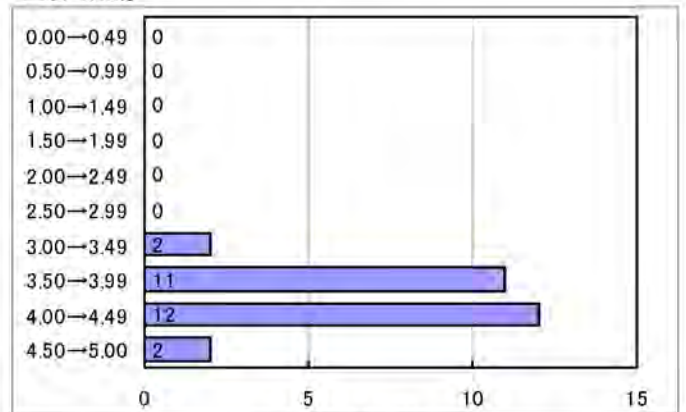
平均値 = 4.01

■経営学部



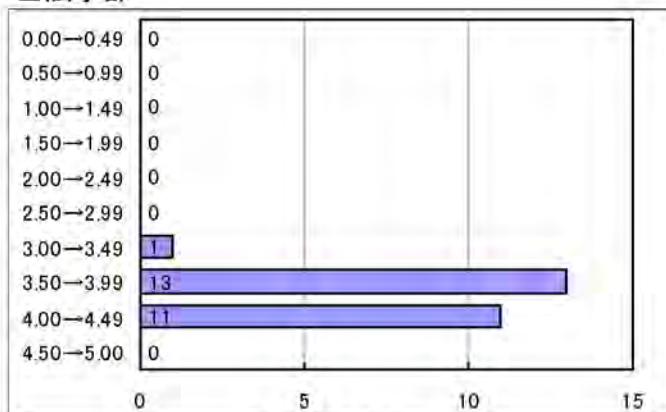
平均値 = 3.96

■非常勤



平均値 = 3.99

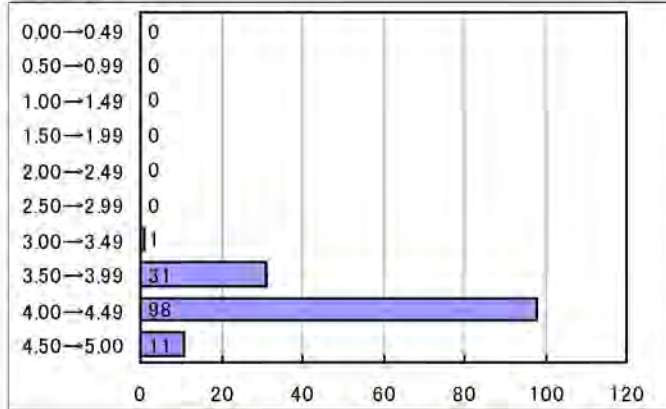
■法学部



平均値 = 3.91

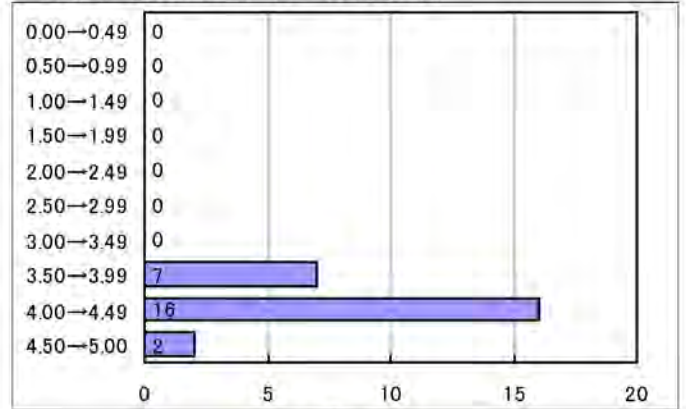
●3.この授業は、シラバスにそって行なわれていますか

■全体



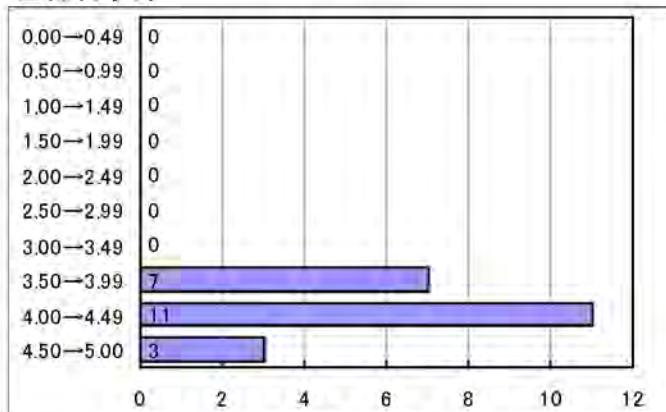
平均値 = 4.11

■人間生活科学部・管理栄養学科



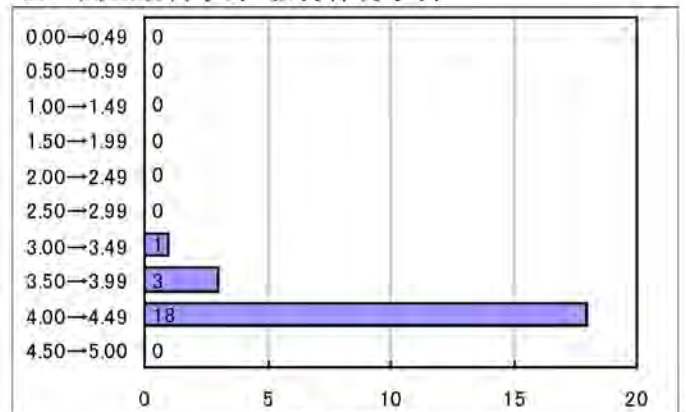
平均値 = 4.06

■経済学部



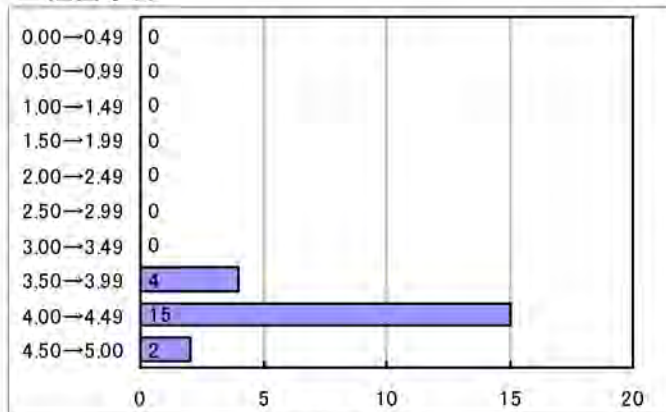
平均値 = 4.08

■人間生活科学部・教育保育学科



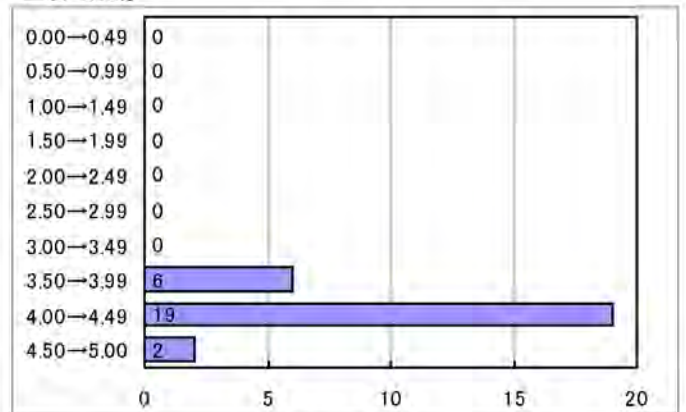
平均値 = 4.12

■経営学部



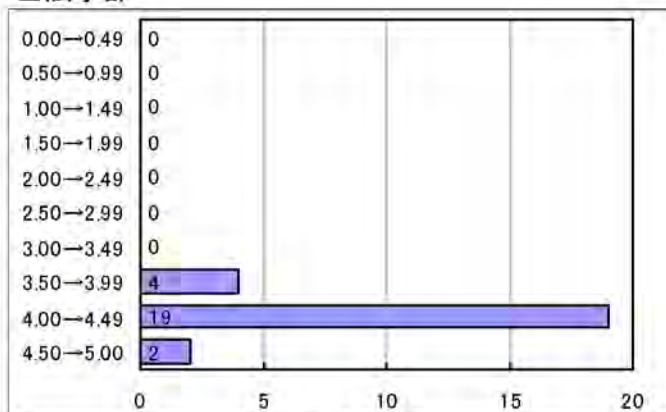
平均値 = 4.14

■非常勤



平均値 = 4.10

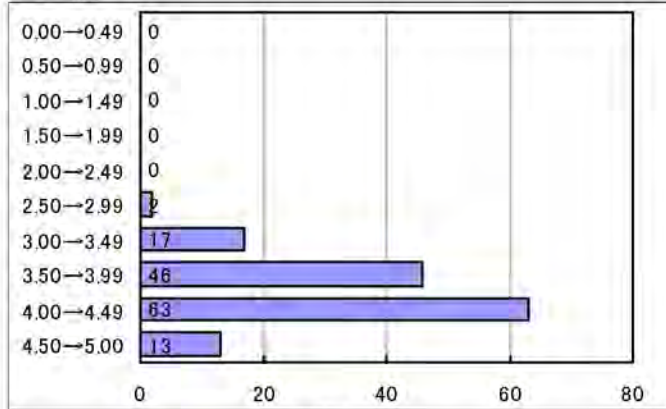
■法学部



平均値 = 4.12

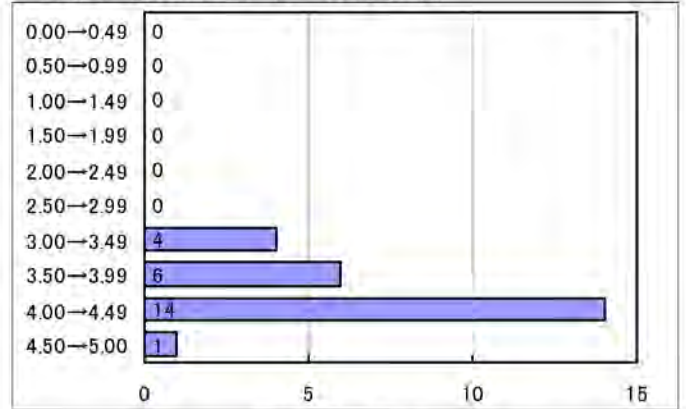
●4.授業内容は、わかりやすいですか

■全体



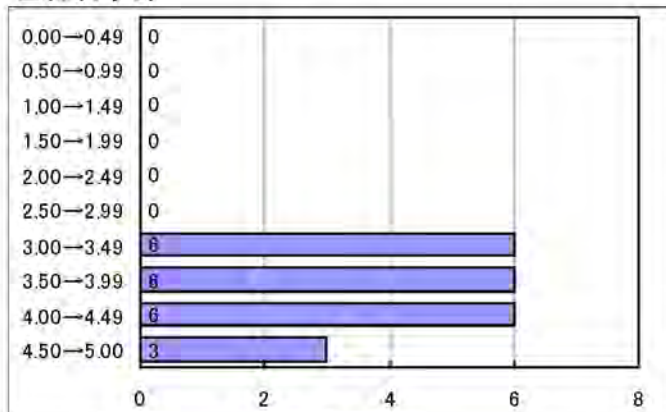
平均値 = 3.90

■人間生活科学部・管理栄養学科



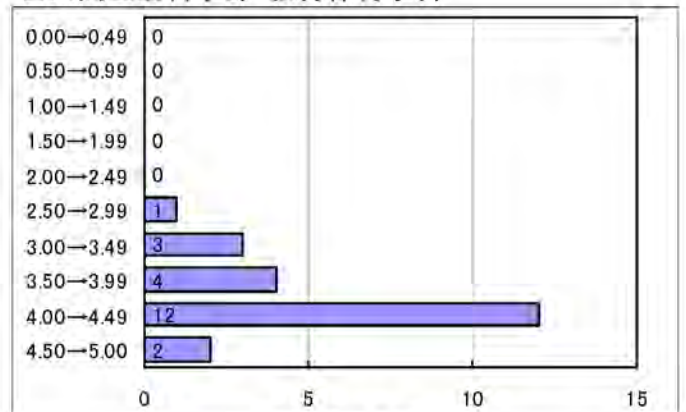
平均値 = 3.90

■経済学部



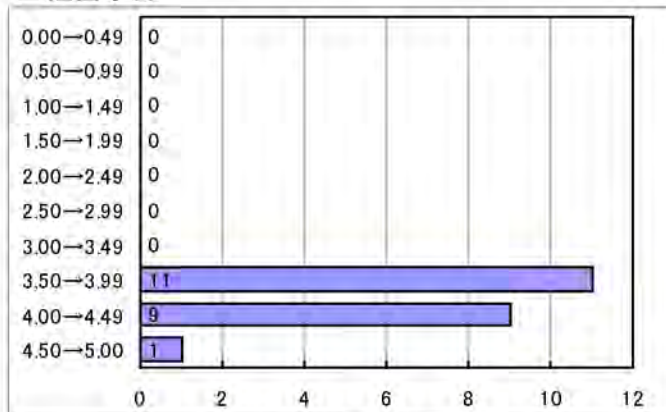
平均値 = 3.74

■人間生活科学部・教育保育学科



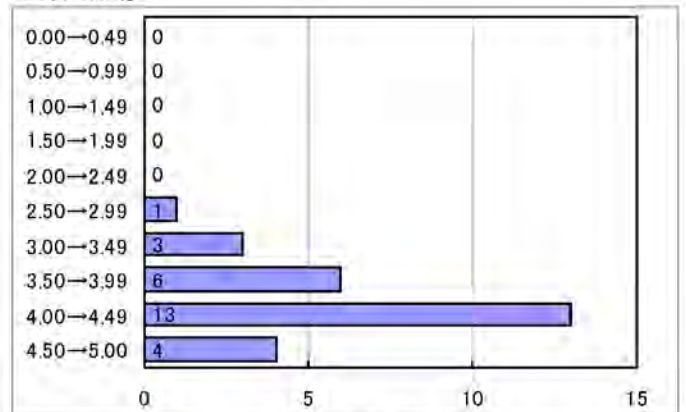
平均値 = 3.87

■経営学部



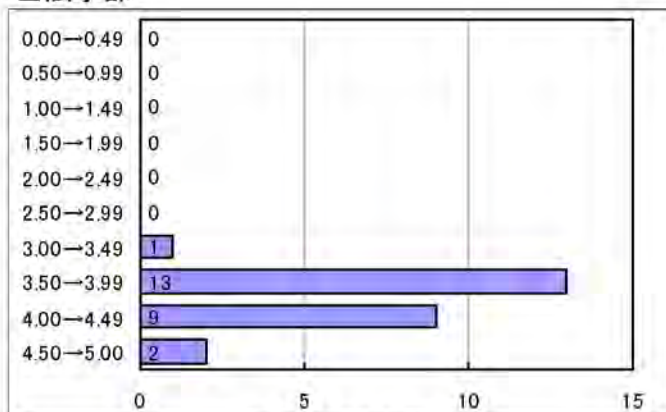
平均値 = 3.95

■非常勤



平均値 = 3.97

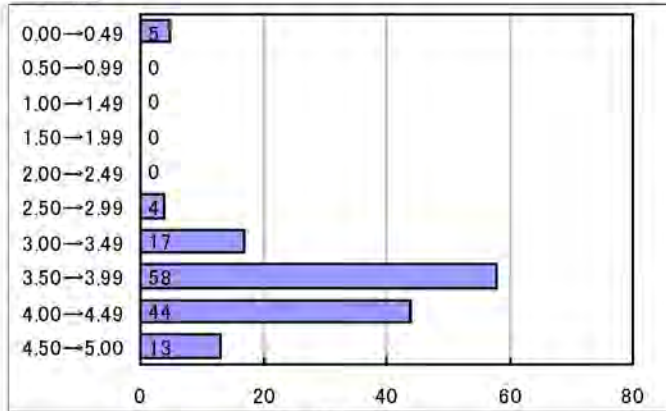
■法学部



平均値 = 3.91

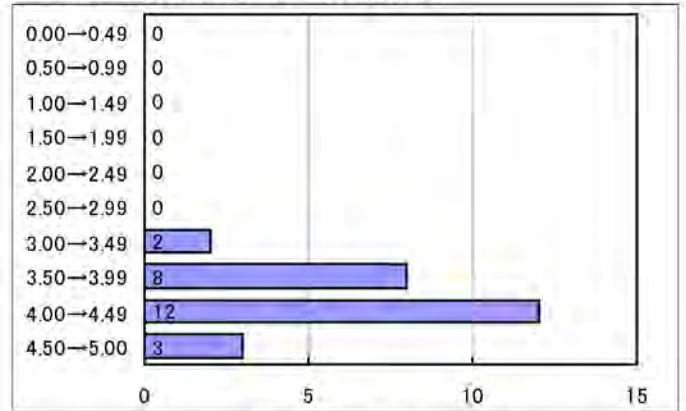
●5.この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか

■全体



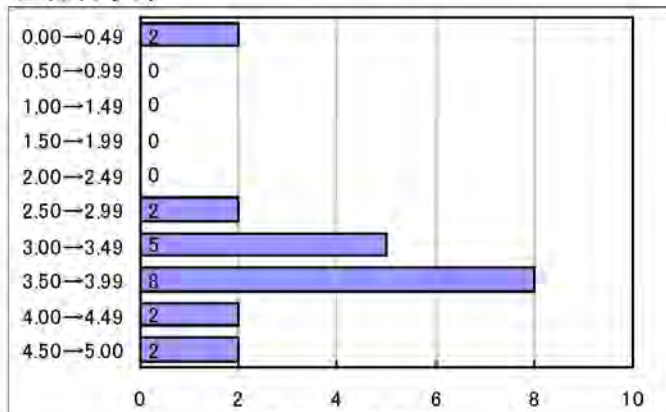
平均値 = 3.81

■人間生活科学部・管理栄養学科



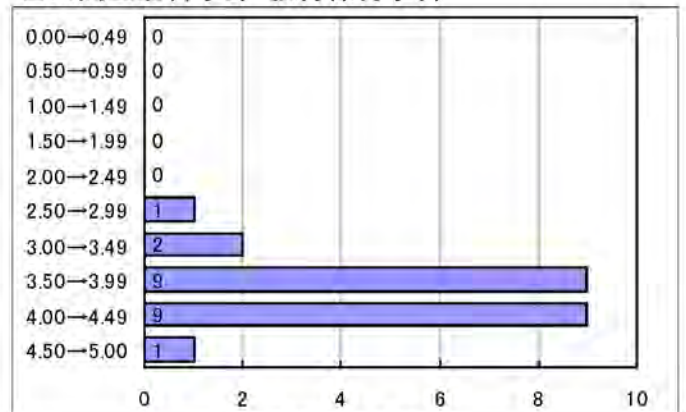
平均値 = 3.90

■経済学部



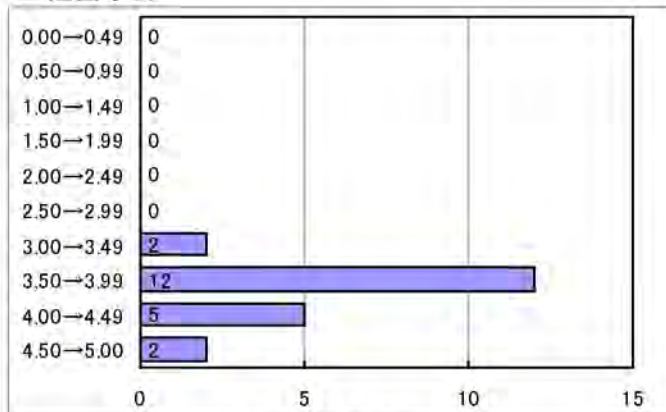
平均値 = 3.64

■人間生活科学部・教育保育学科



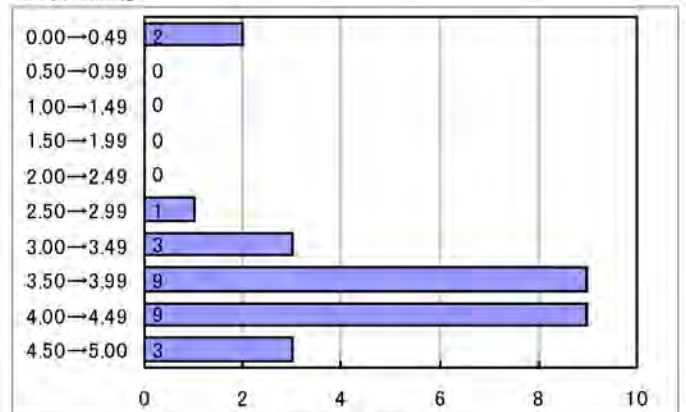
平均値 = 3.80

■経営学部



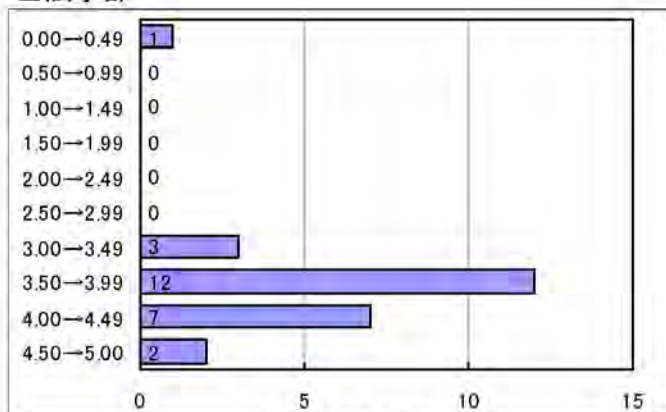
平均値 = 3.84

■非常勤



平均値 = 3.88

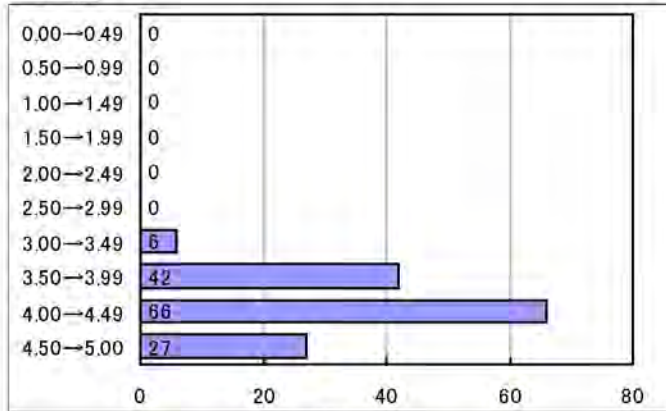
■法学部



平均値 = 3.80

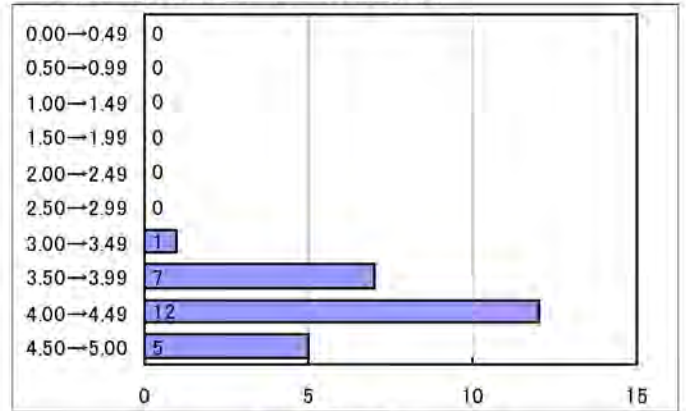
●6.教員の教え方には、熱意が感じられますか

■全体



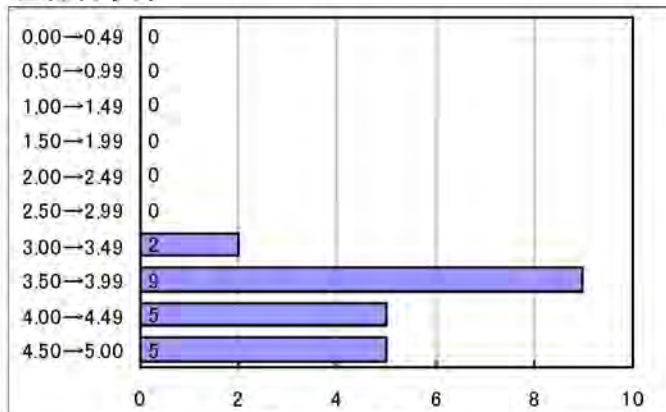
平均値 = 4.06

■人間生活科学部・管理栄養学科



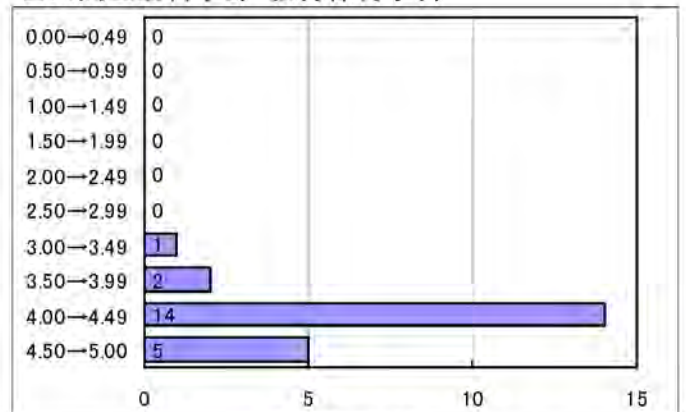
平均値 = 4.04

■経済学部



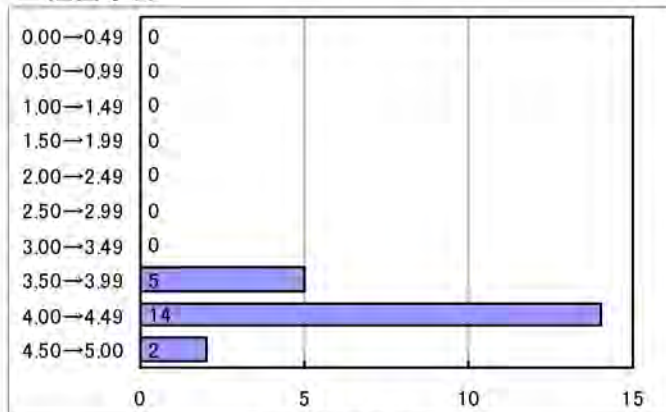
平均値 = 3.95

■人間生活科学部・教育保育学科



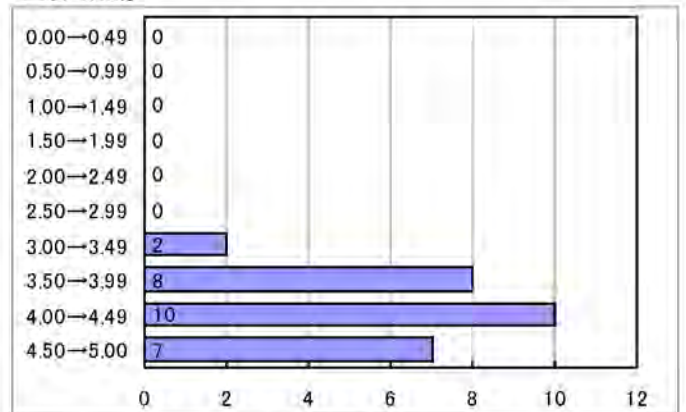
平均値 = 4.14

■経営学部



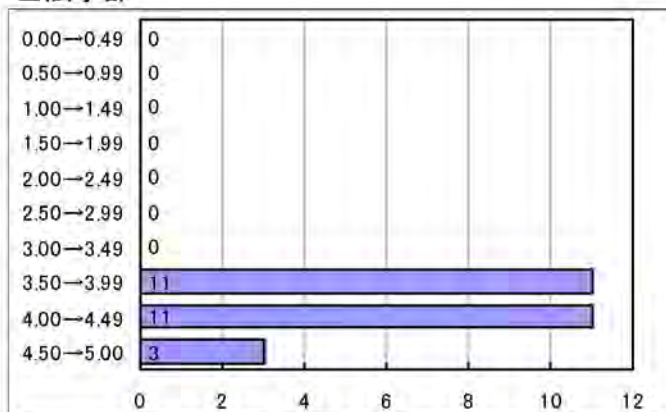
平均値 = 4.08

■非常勤



平均値 = 4.11

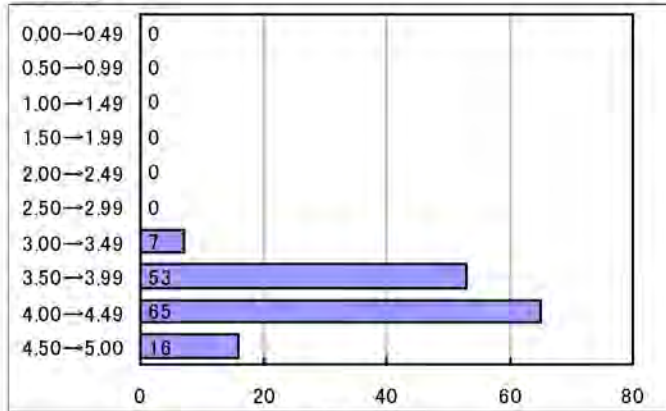
■法学部



平均値 = 4.02

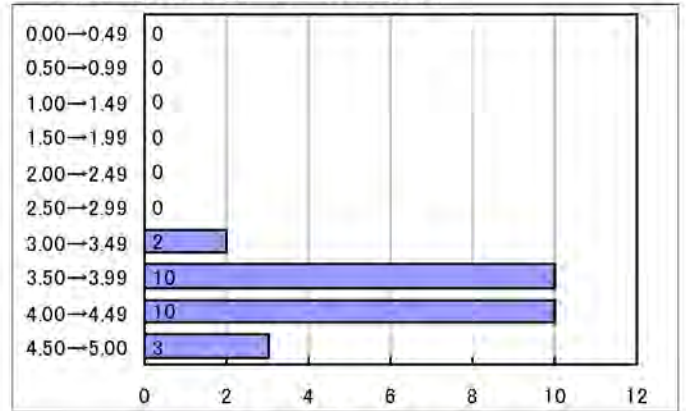
●7.授業の速さや進め方は、適切ですか

■全体



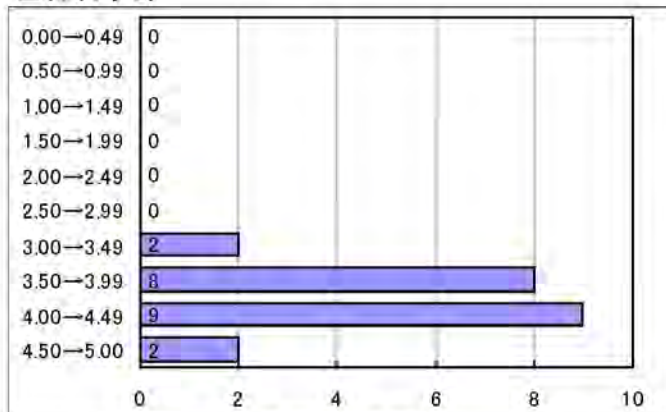
平均値 = 3.97

■人間生活科学部・管理栄養学科



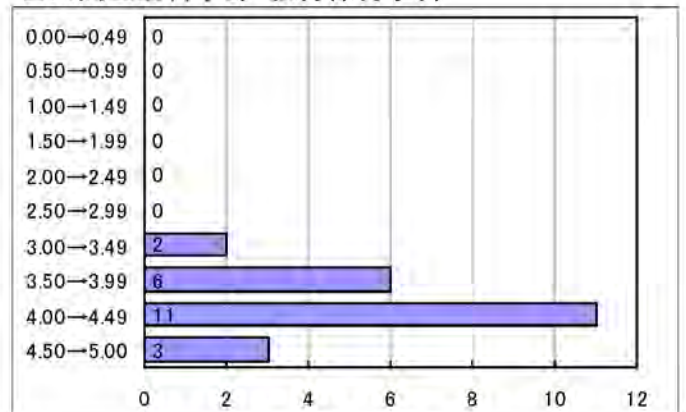
平均値 = 3.91

■経済学部



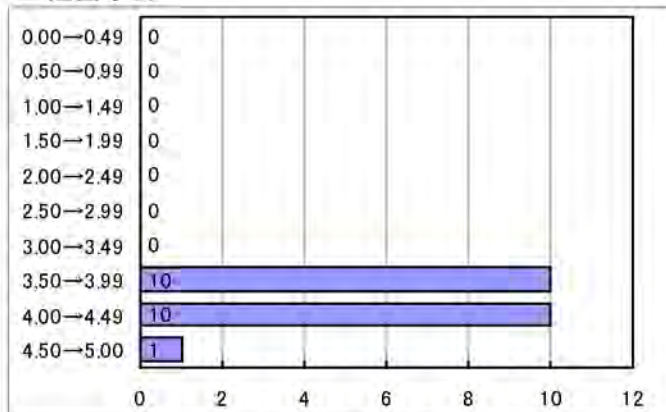
平均値 = 3.87

■人間生活科学部・教育保育学科



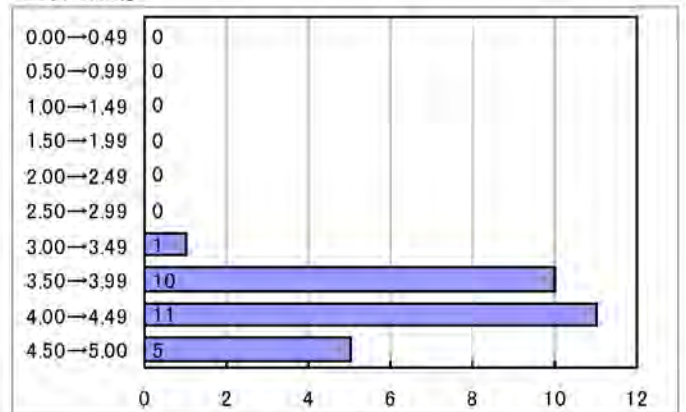
平均値 = 3.99

■経営学部



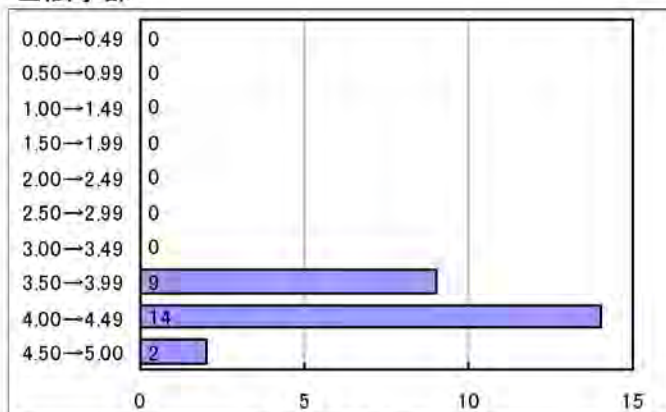
平均値 = 3.98

■非常勤



平均値 = 4.03

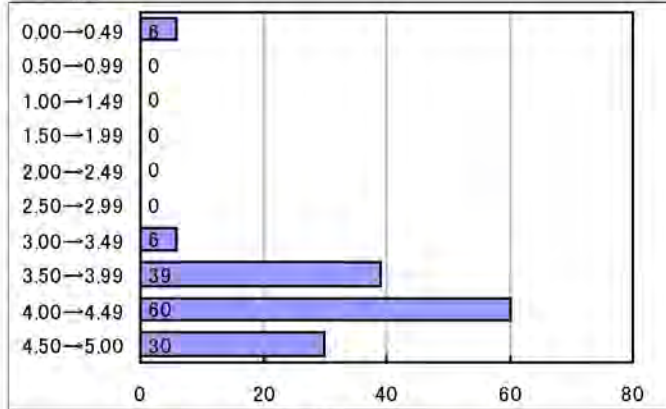
■法学部



平均値 = 4.00

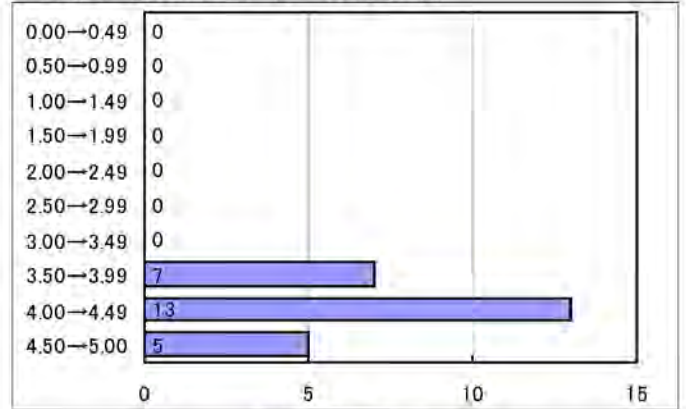
●8.教科書、配布資料が活用されていますか

■全体



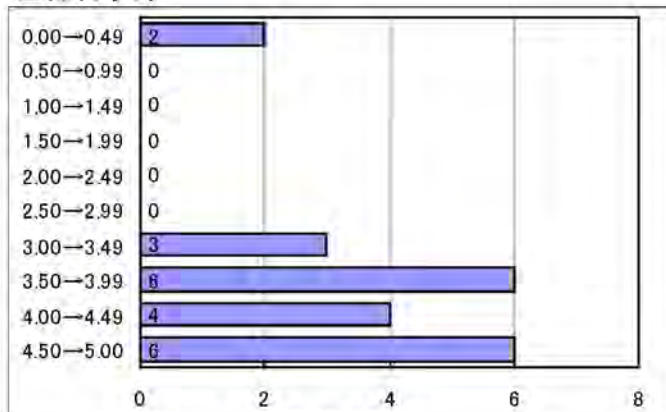
平均値 = 4.05

■人間生活科学部・管理栄養学科



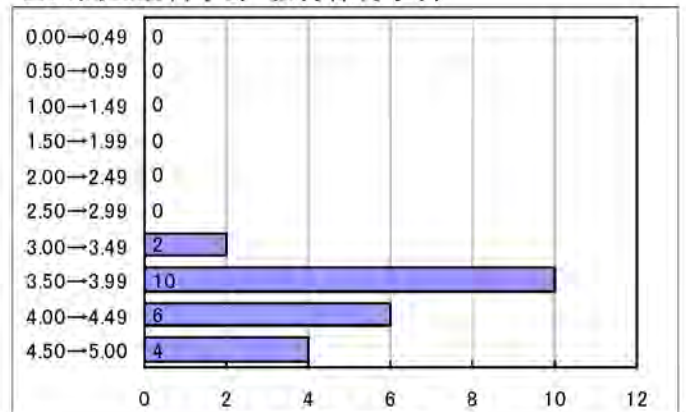
平均値 = 4.08

■経済学部



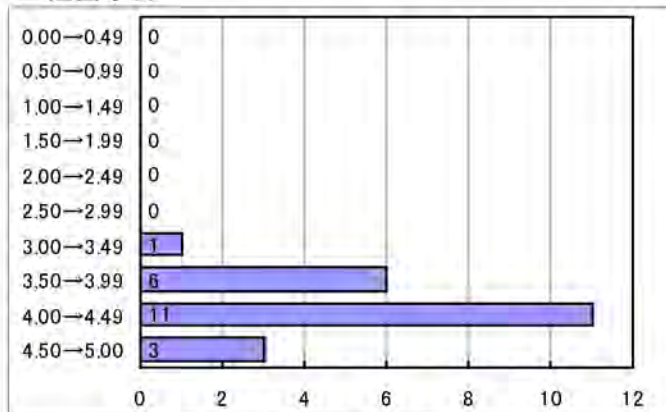
平均値 = 3.86

■人間生活科学部・教育保育学科



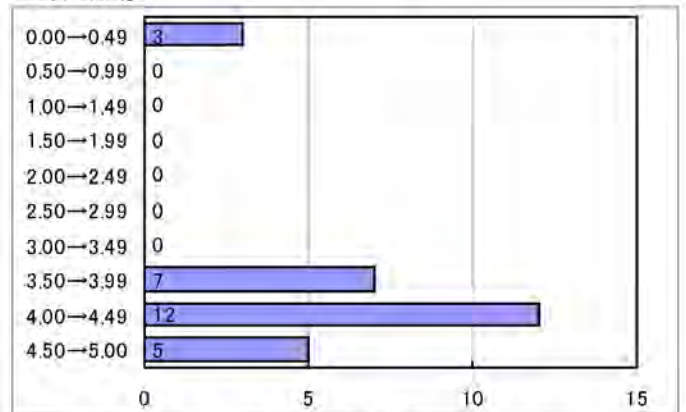
平均値 = 3.98

■経営学部



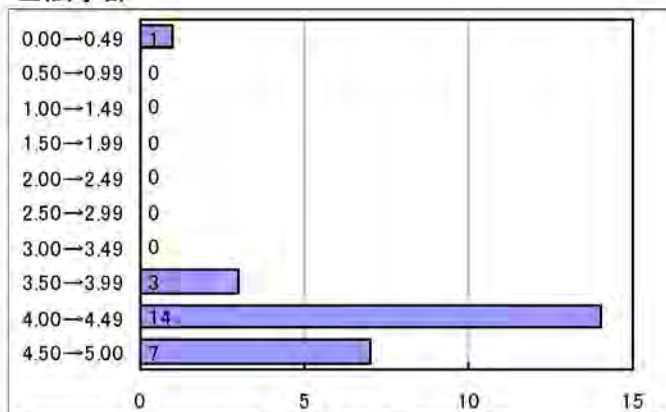
平均値 = 4.08

■非常勤



平均値 = 4.09

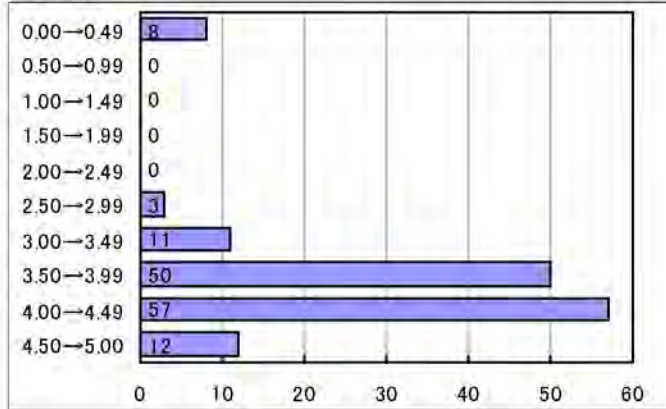
■法学部



平均値 = 4.14

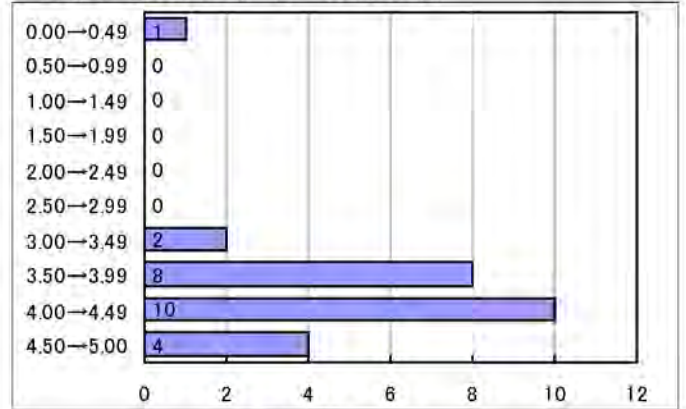
●9.板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか

■全体



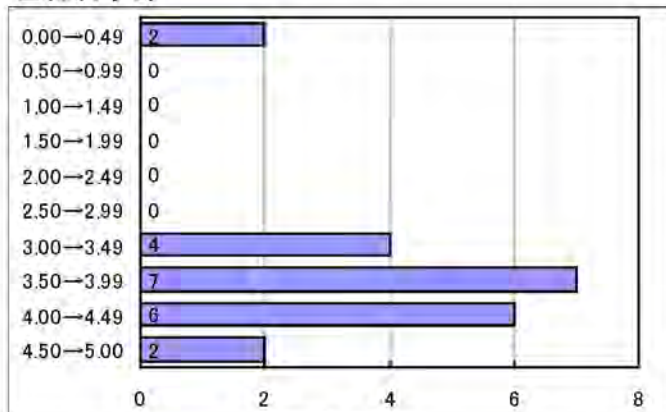
平均値 = 3.94

■人間生活科学部・管理栄養学科



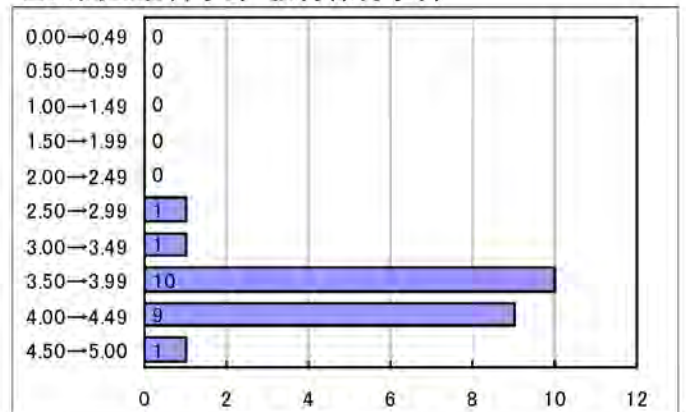
平均値 = 3.98

■経済学部



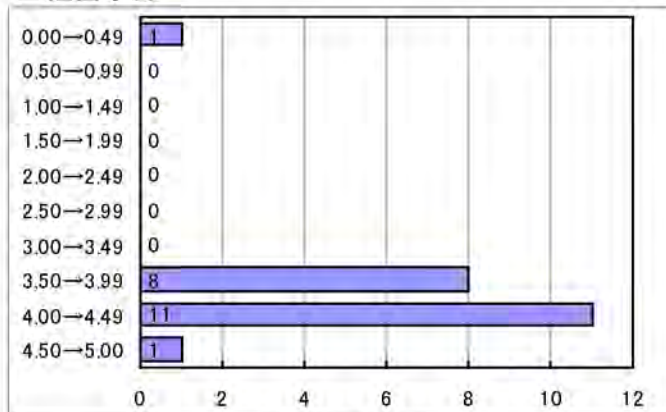
平均値 = 3.71

■人間生活科学部・教育保育学科



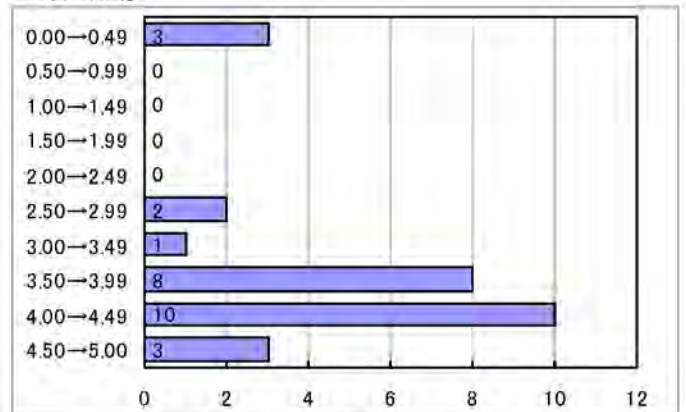
平均値 = 3.91

■経営学部



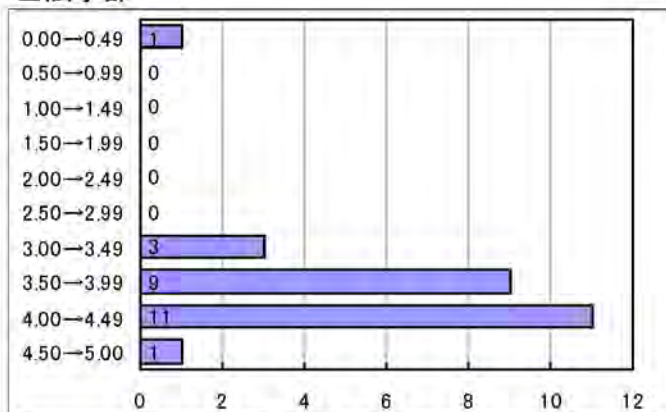
平均値 = 4.07

■非常勤



平均値 = 3.98

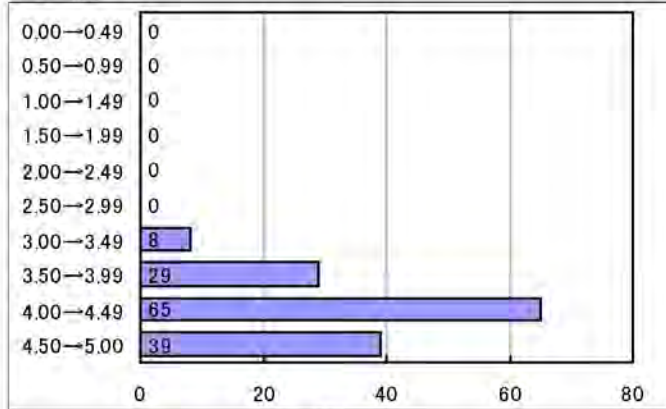
■法学部



平均値 = 3.91

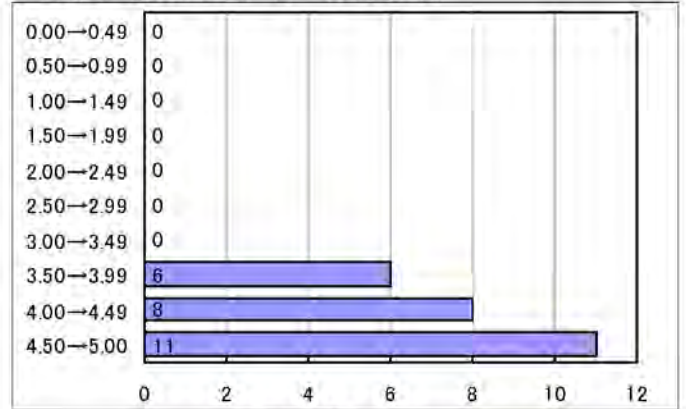
●10.教員の声は聞き取りやすいですか

■全体



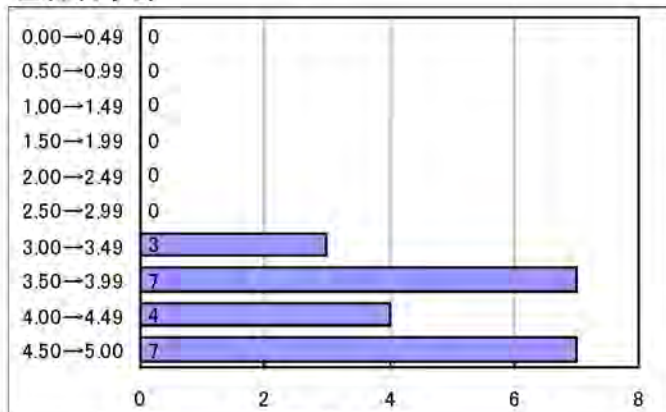
平均値 = 4.14

■人間生活科学部・管理栄養学科



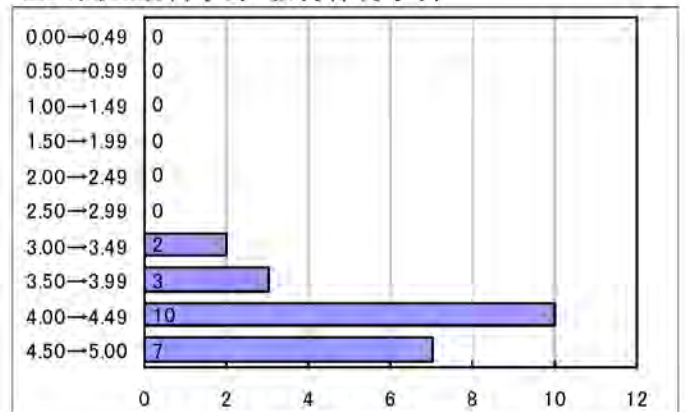
平均値 = 4.24

■経済学部



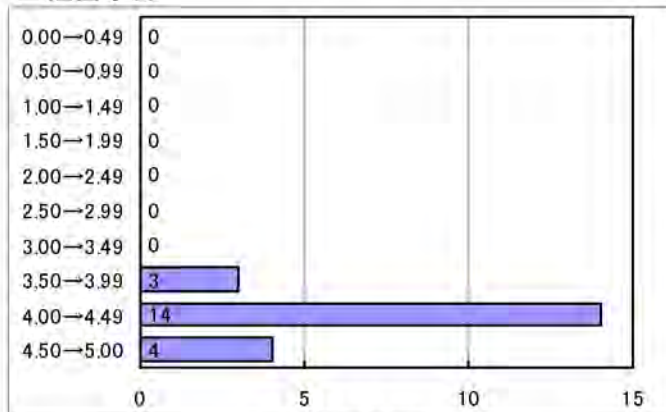
平均値 = 3.93

■人間生活科学部・教育保育学科



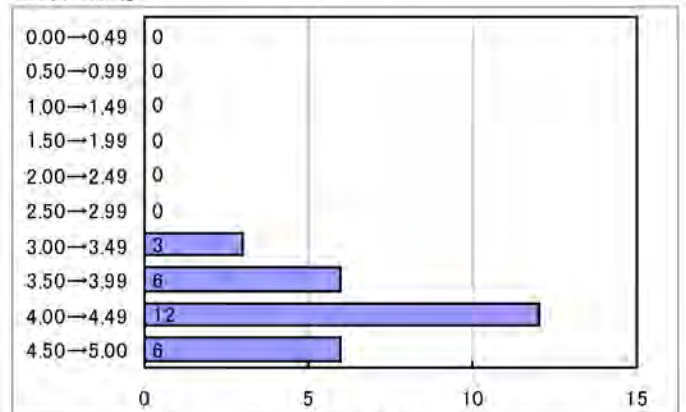
平均値 = 4.19

■経営学部



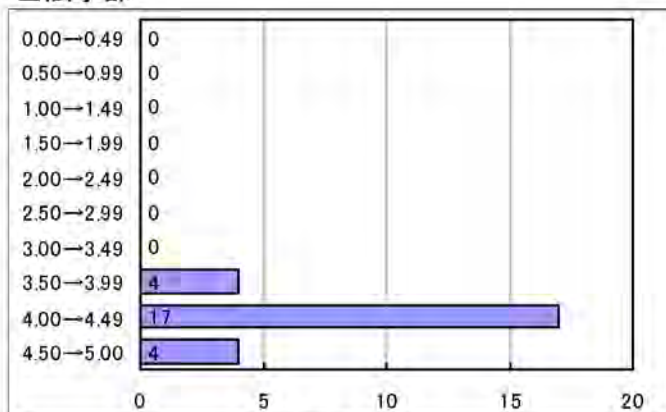
平均値 = 4.19

■非常勤



平均値 = 4.13

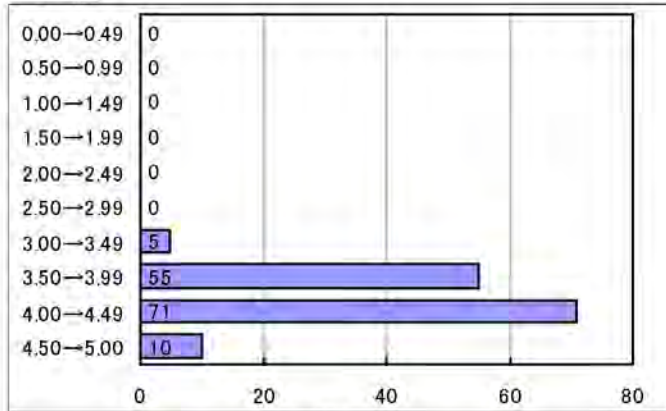
■法学部



平均値 = 4.17

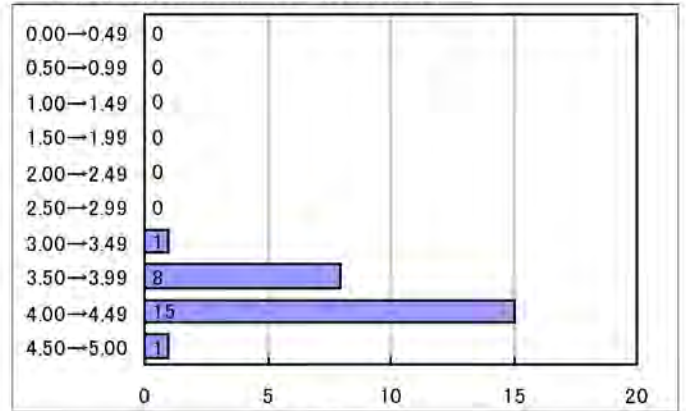
●11.一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切ですか

■全体



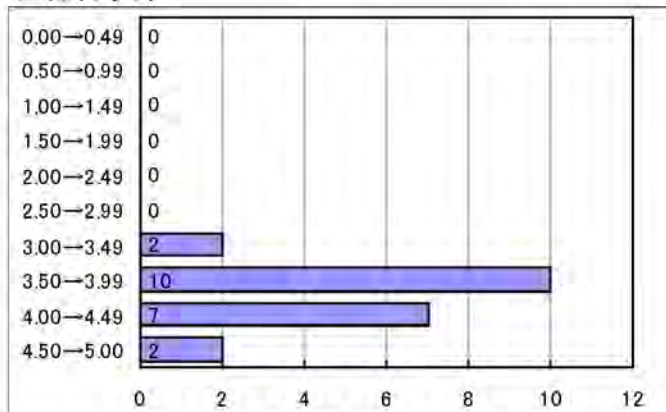
平均値 = 3.97

■人間生活科学部・管理栄養学科



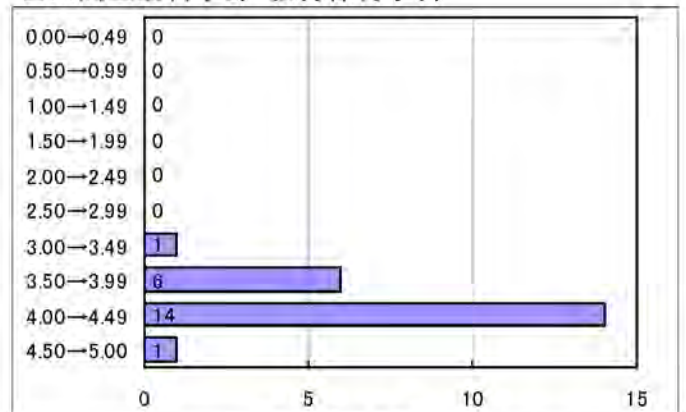
平均値 = 3.98

■経済学部



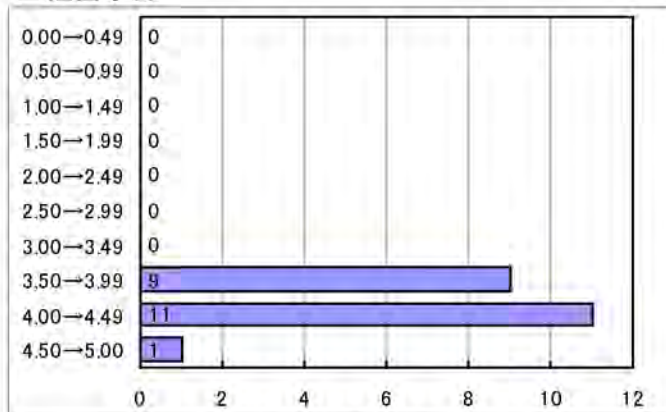
平均値 = 3.84

■人間生活科学部・教育保育学科



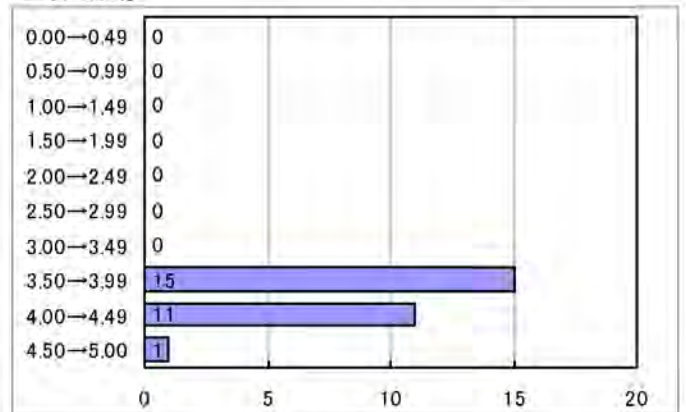
平均値 = 4.00

■経営学部



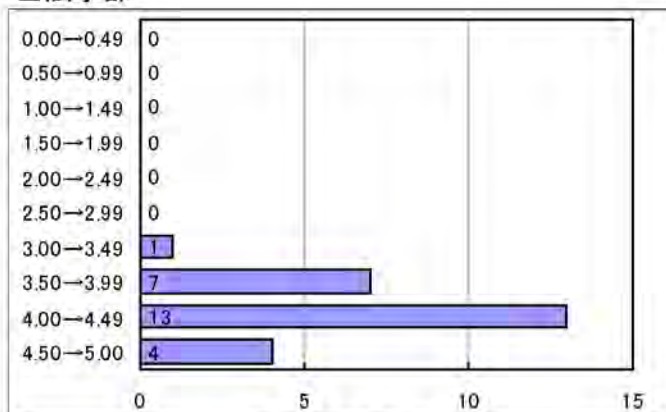
平均値 = 3.95

■非常勤



平均値 = 3.95

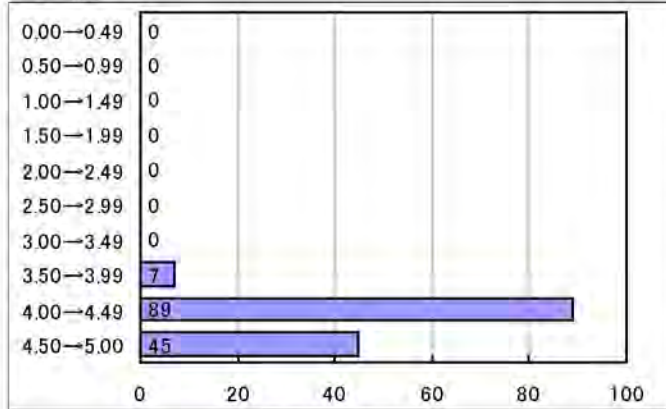
■法学部



平均値 = 4.10

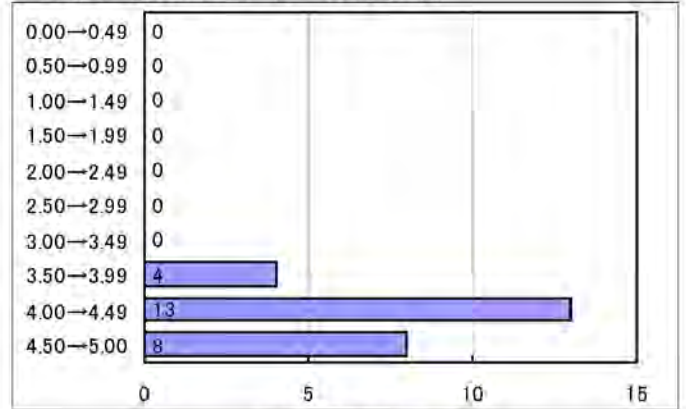
●12.教員は、授業時間を守っていますか

■全体



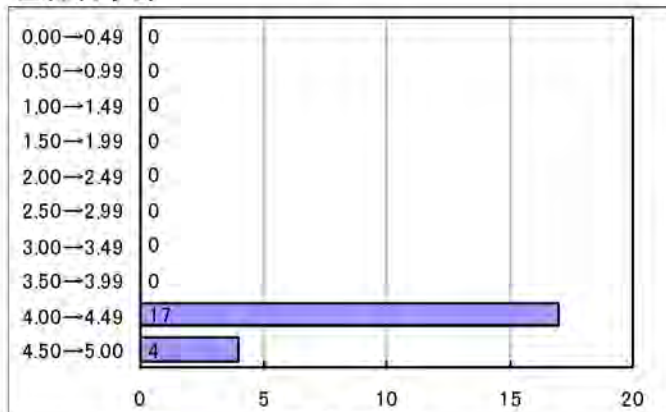
平均値 = 4.29

■人間生活科学部・管理栄養学科



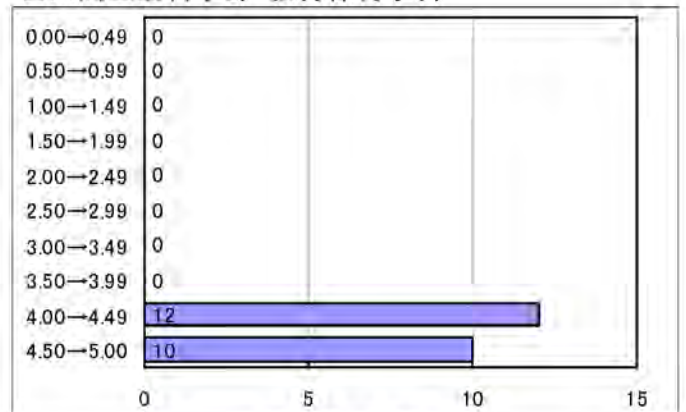
平均値 = 4.18

■経済学部



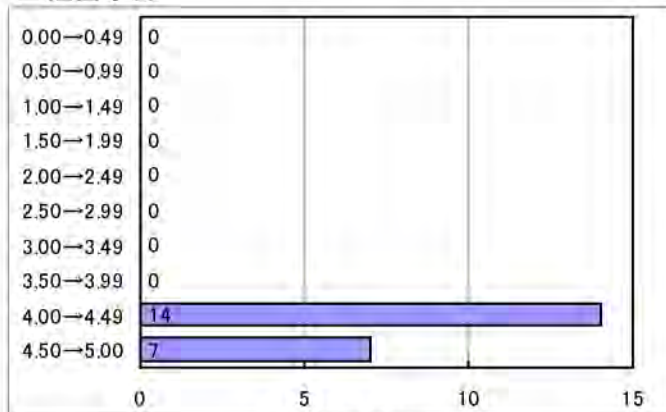
平均値 = 4.22

■人間生活科学部・教育保育学科



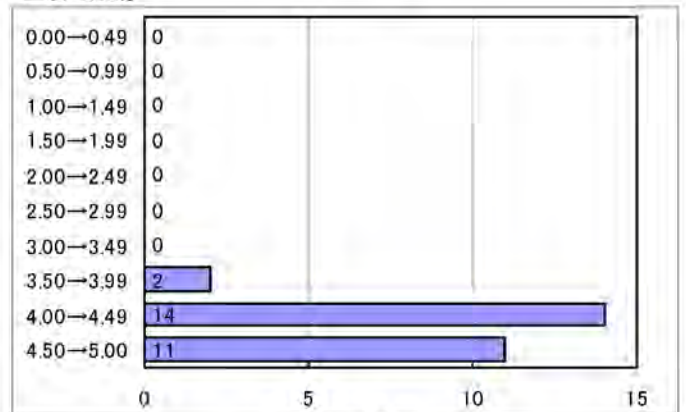
平均値 = 4.38

■経営学部



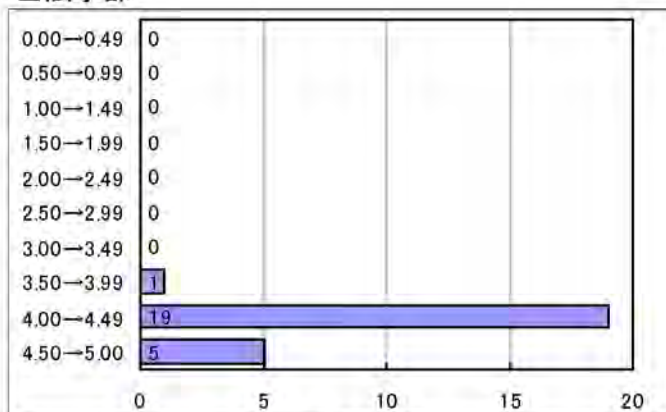
平均値 = 4.30

■非常勤



平均値 = 4.36

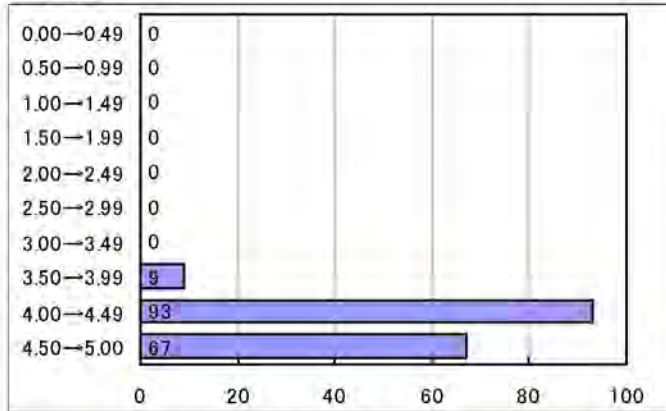
■法学部



平均値 = 4.25

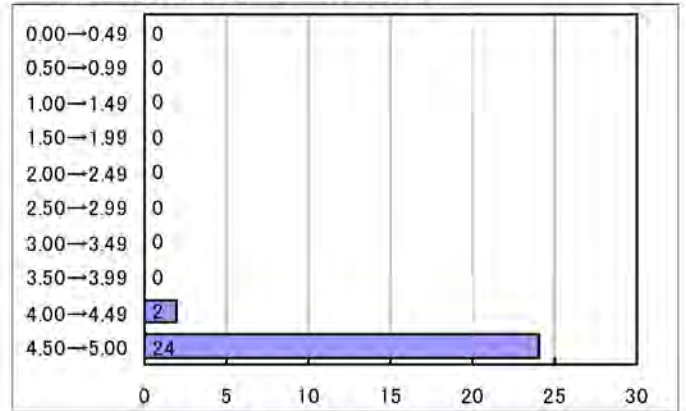
●1.あなたは、この授業に出席していますか

■全体



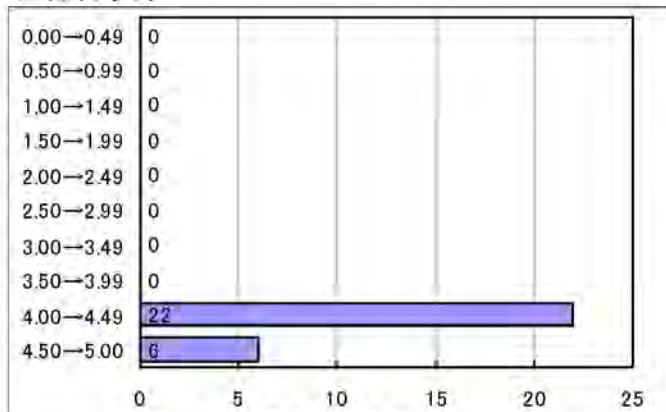
平均値 = 4.39

■人間生活科学部・管理栄養学科



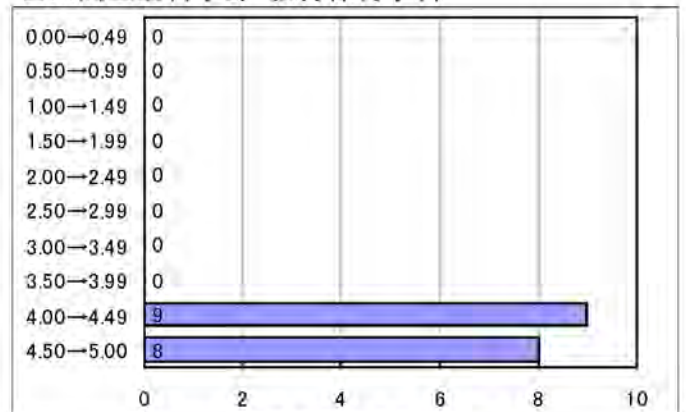
平均値 = 4.74

■経済学部



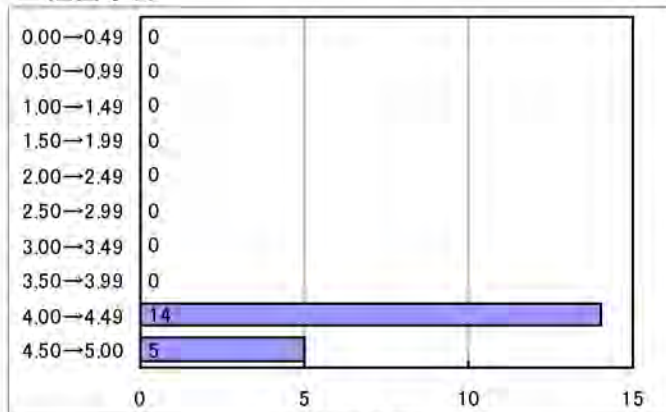
平均値 = 4.30

■人間生活科学部・教育保育学科



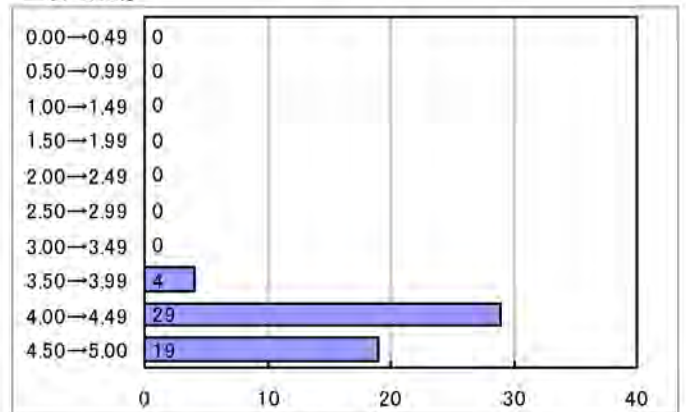
平均値 = 4.45

■経営学部



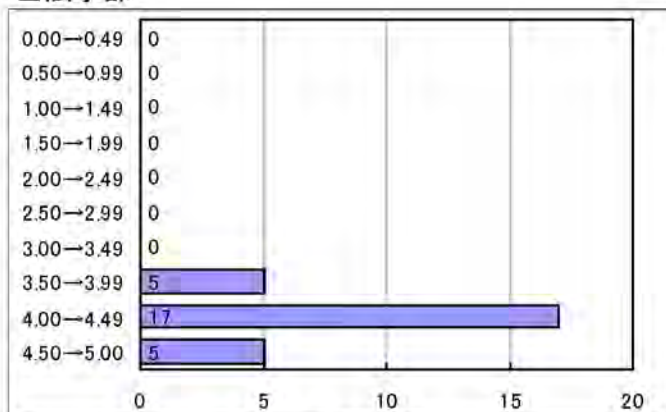
平均値 = 4.37

■非常勤



平均値 = 4.38

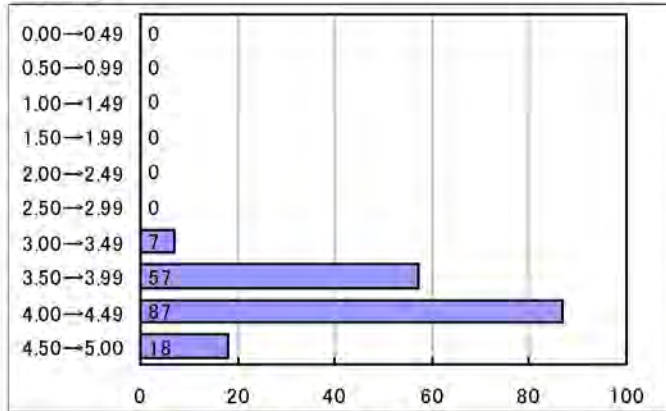
■法学部



平均値 = 4.25

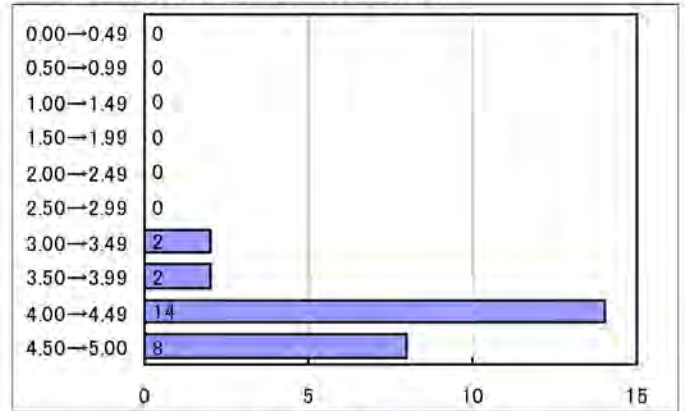
●2.あなたは、この授業に意欲的に取り組んでいますか

■全体



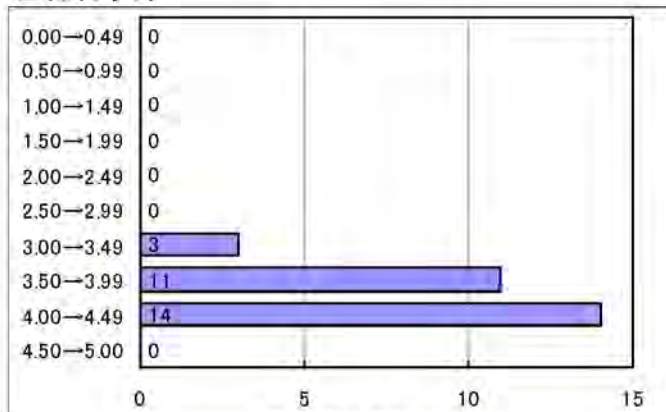
平均値 = 4.01

■人間生活科学部・管理栄養学科



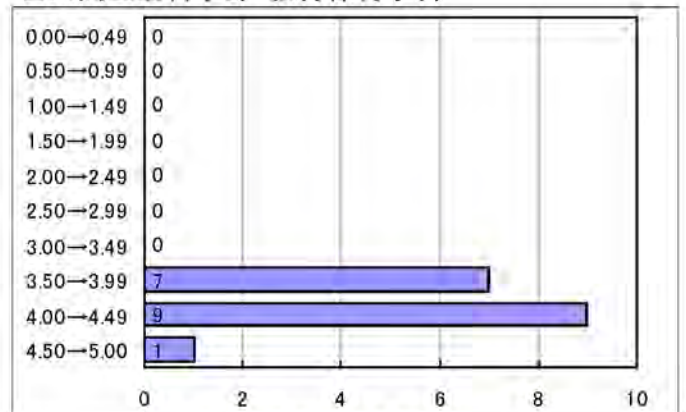
平均値 = 4.27

■経済学部



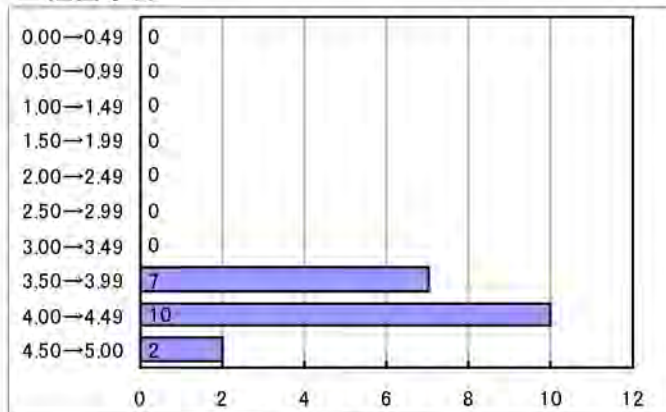
平均値 = 3.86

■人間生活科学部・教育保育学科



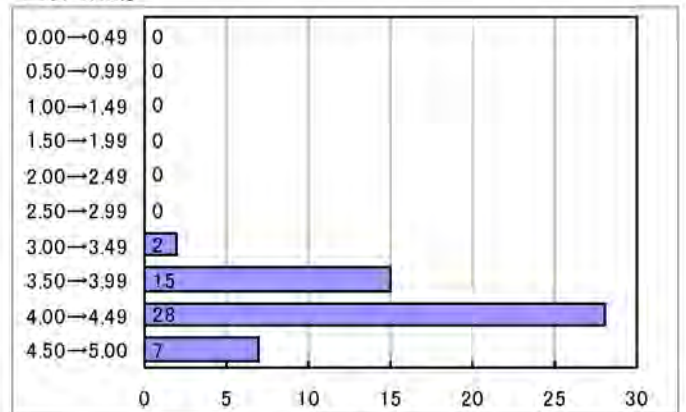
平均値 = 3.97

■経営学部



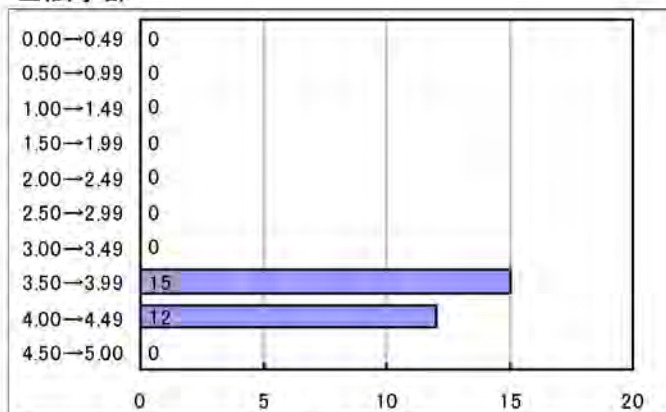
平均値 = 4.06

■非常勤



平均値 = 4.01

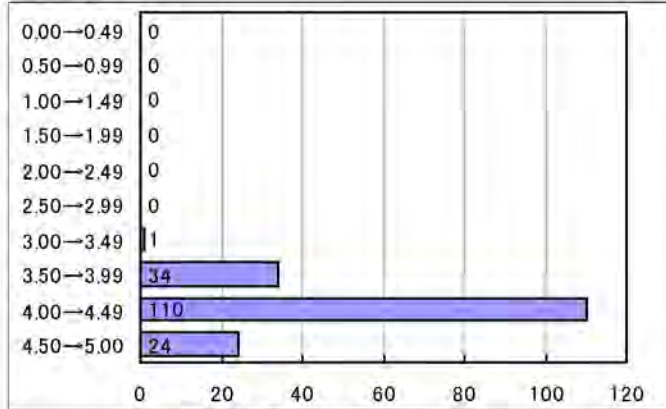
■法学部



平均値 = 3.96

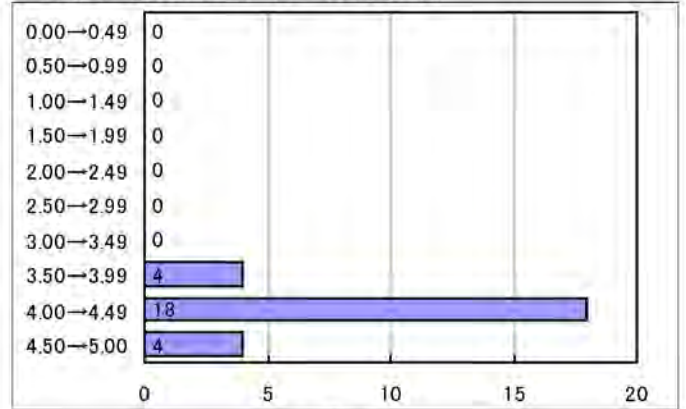
●3.この授業は、シラバスにそって行なわれていますか

■全体



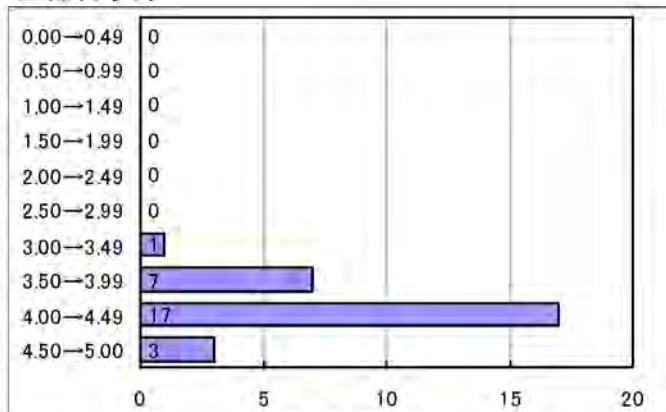
平均値 = 4.14

■人間生活科学部・管理栄養学科



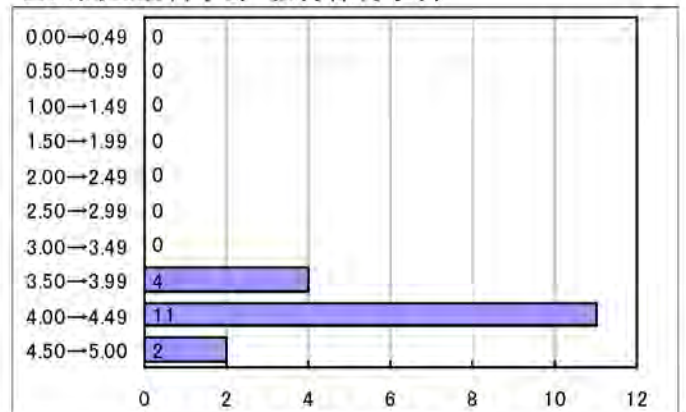
平均値 = 4.25

■経済学部



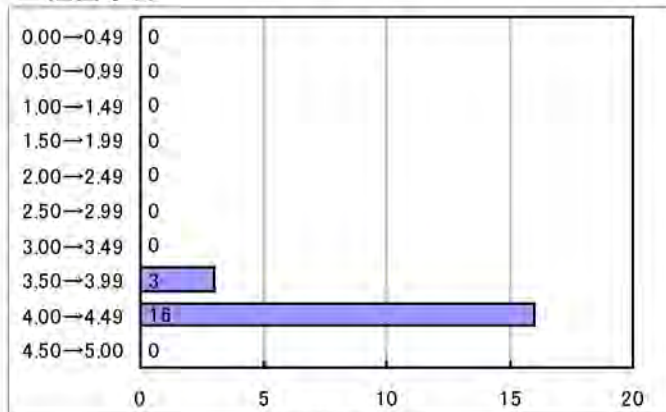
平均値 = 4.06

■人間生活科学部・教育保育学科



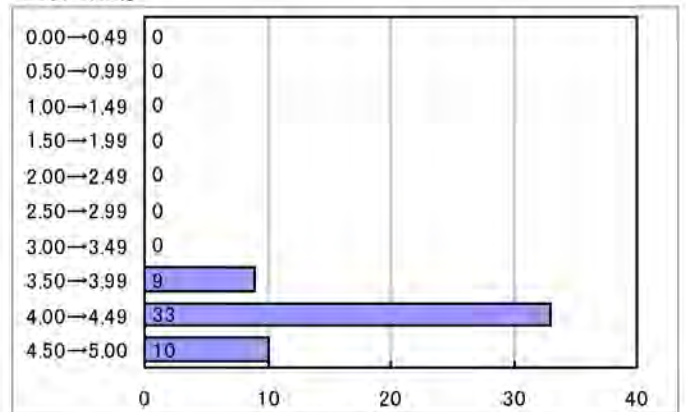
平均値 = 4.13

■経営学部



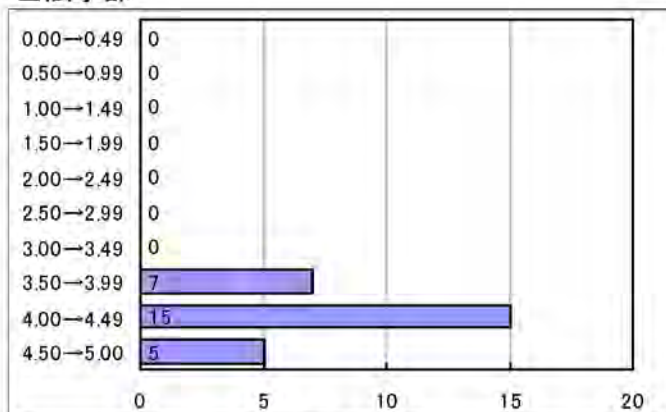
平均値 = 4.17

■非常勤



平均値 = 4.18

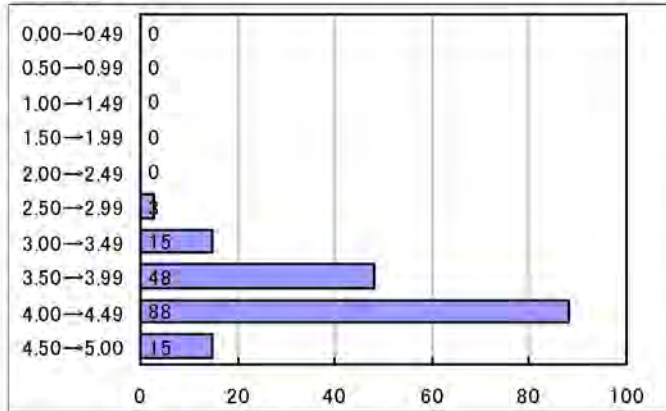
■法学部



平均値 = 4.08

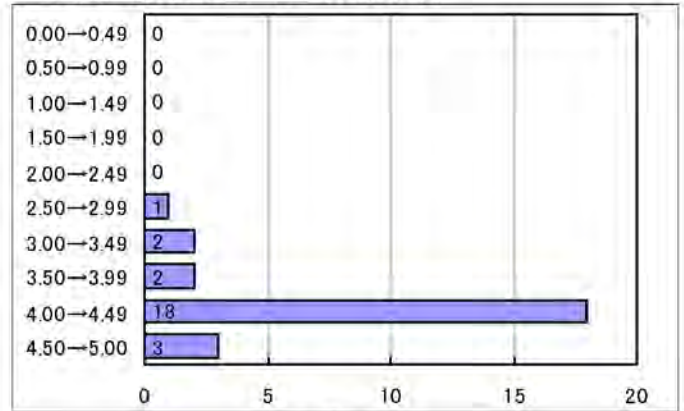
●4.授業内容は、わかりやすいですか

■全体



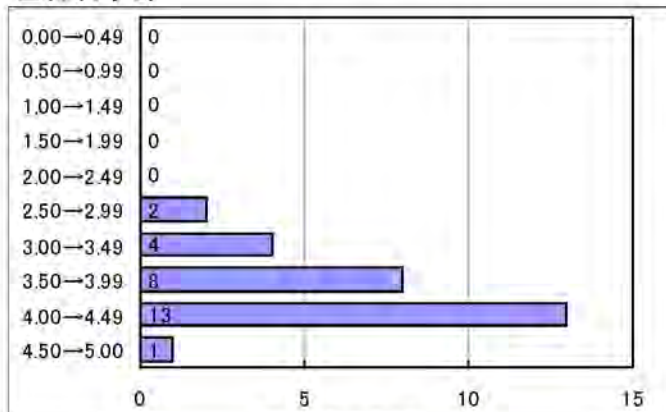
平均値 = 3.96

■人間生活科学部・管理栄養学科



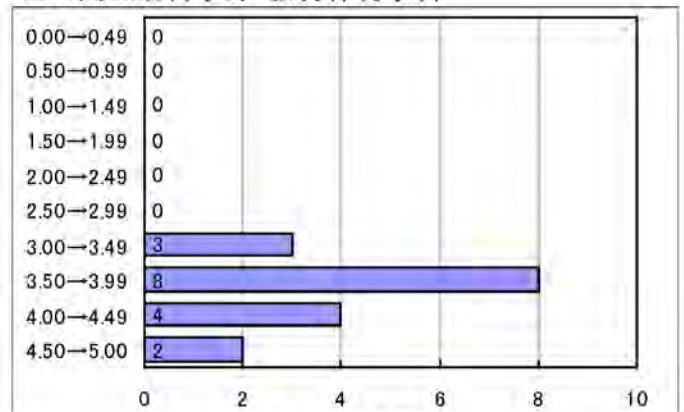
平均値 = 4.11

■経済学部



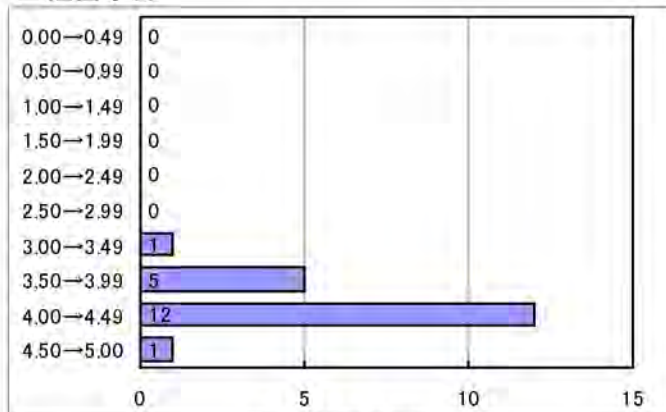
平均値 = 3.77

■人間生活科学部・教育保育学科



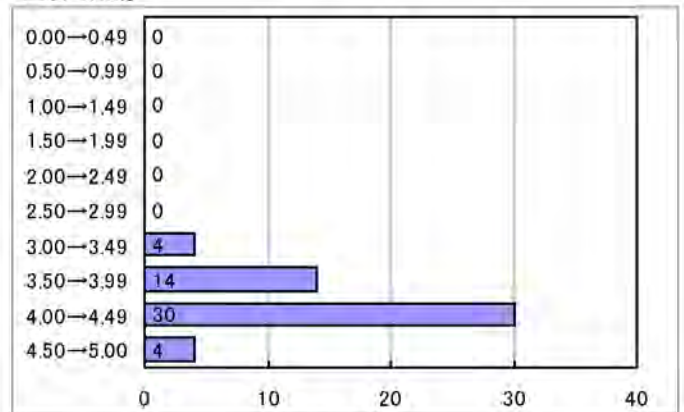
平均値 = 3.83

■経営学部



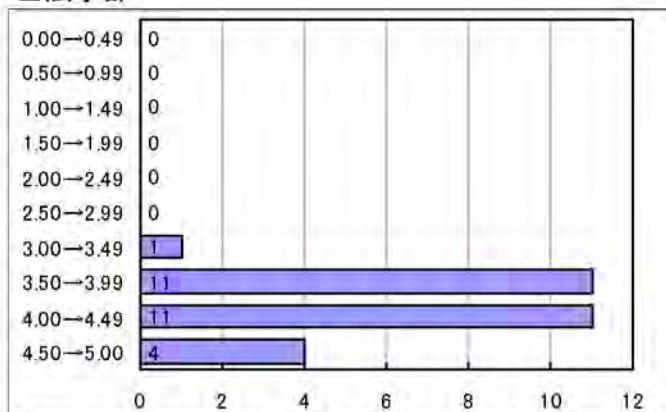
平均値 = 4.10

■非常勤



平均値 = 3.98

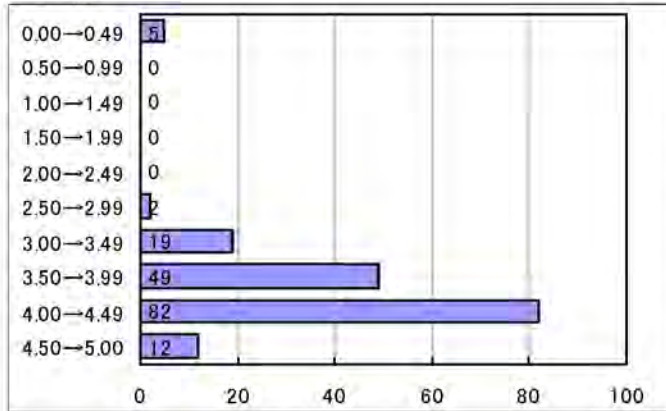
■法学部



平均値 = 3.96

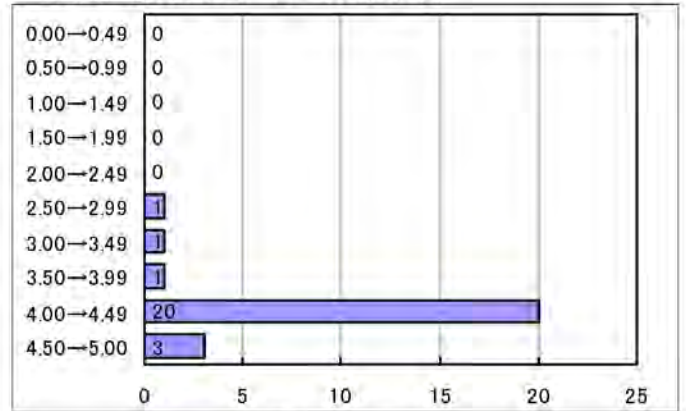
●5.この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか

■全体



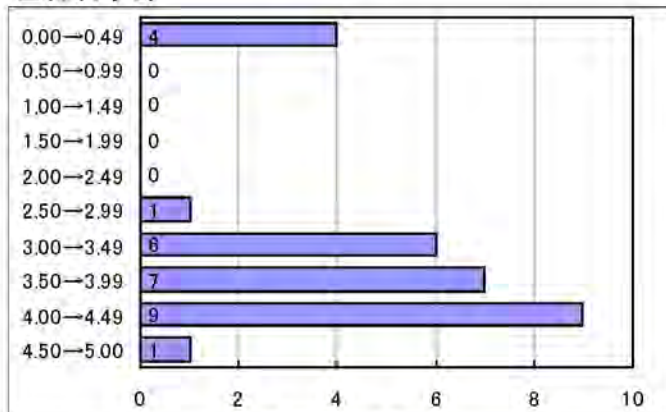
平均値 = 3.90

■人間生活科学部・管理栄養学科



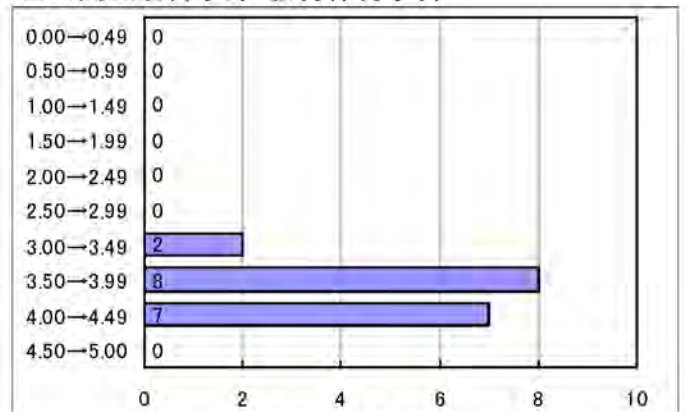
平均値 = 4.11

■経済学部



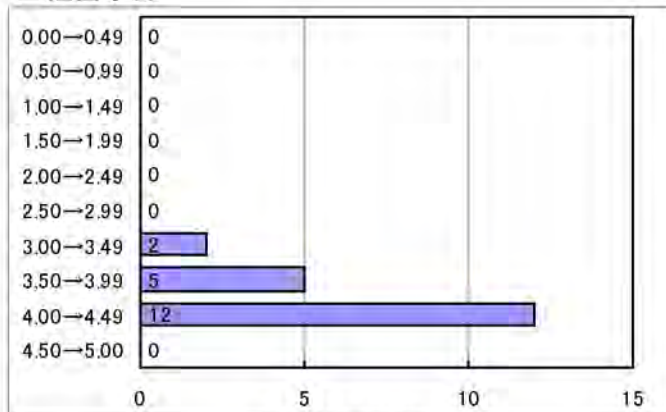
平均値 = 3.71

■人間生活科学部・教育保育学科



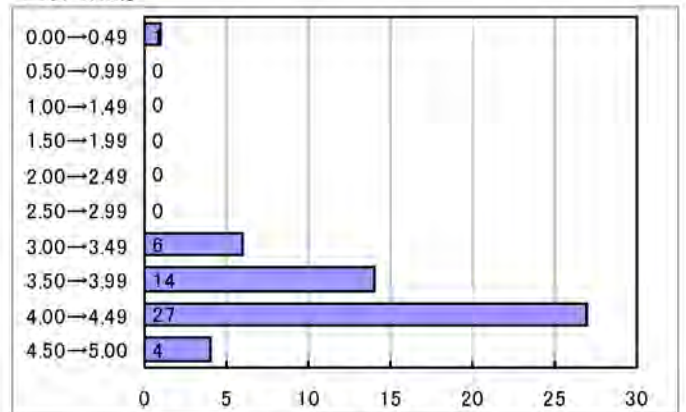
平均値 = 3.80

■経営学部



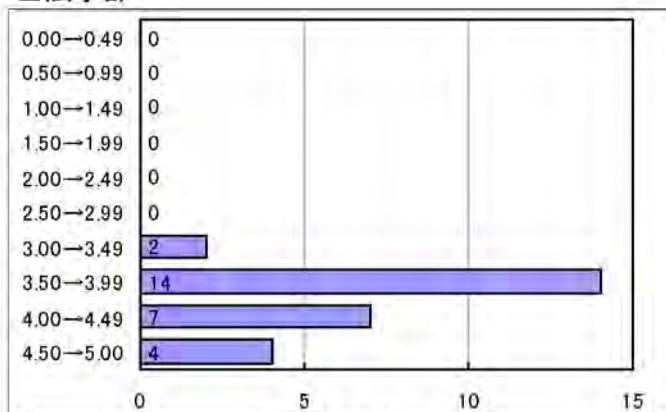
平均値 = 3.99

■非常勤



平均値 = 3.90

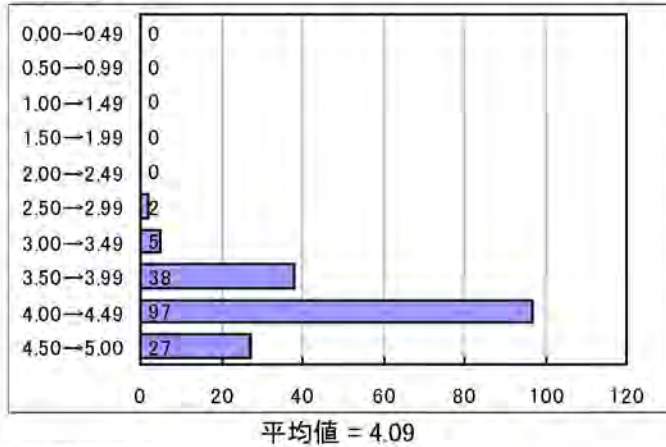
■法学部



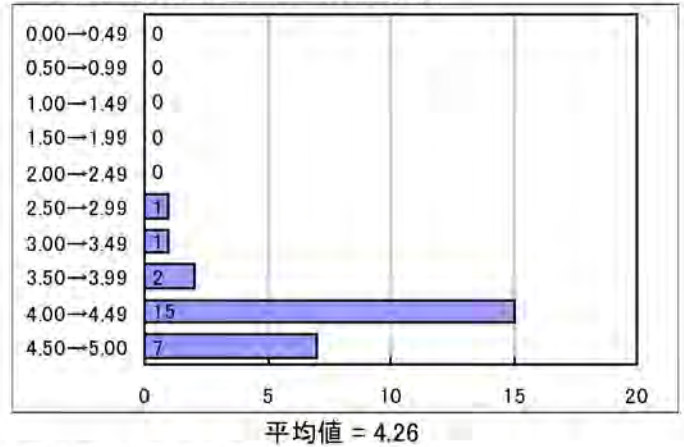
平均値 = 3.91

●6.教員の教え方には、熱意が感じられますか

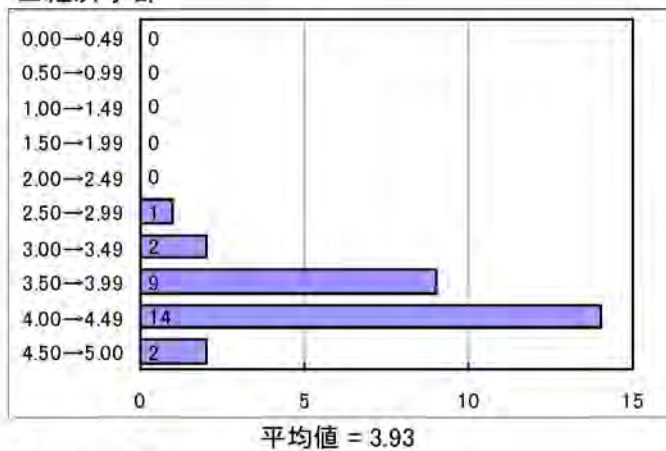
■全体



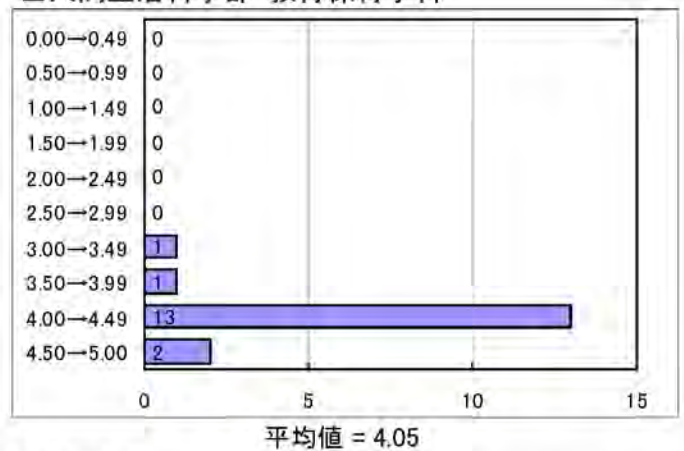
■人間生活科学部・管理栄養学科



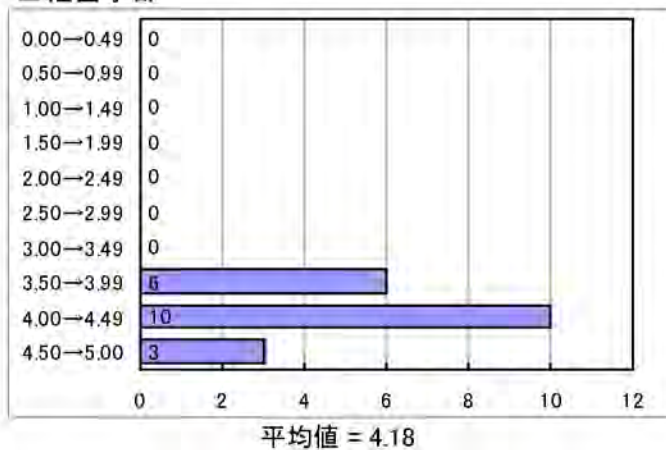
■経済学部



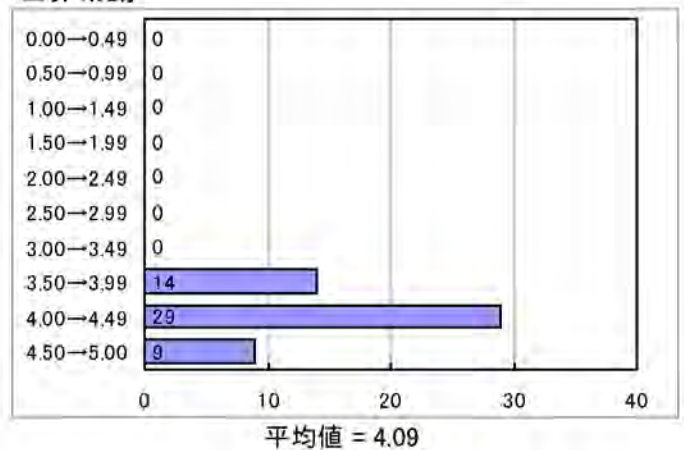
■人間生活科学部・教育保育学科



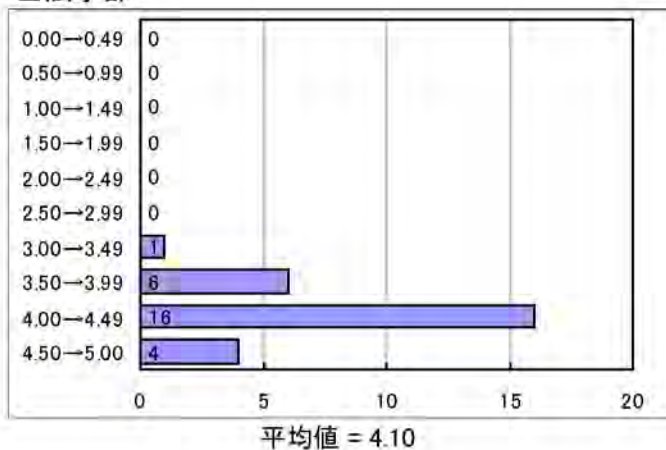
■経営学部



■非常勤

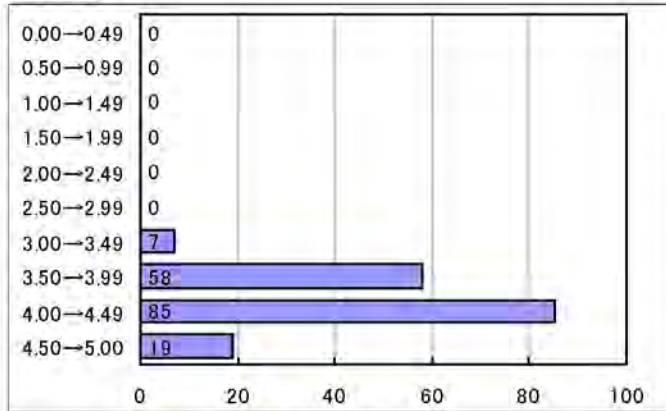


■法学部



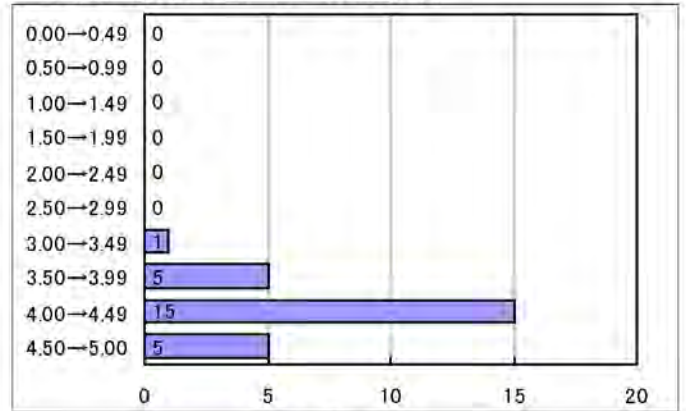
●7.授業の速さや進め方は、適切ですか

■全体



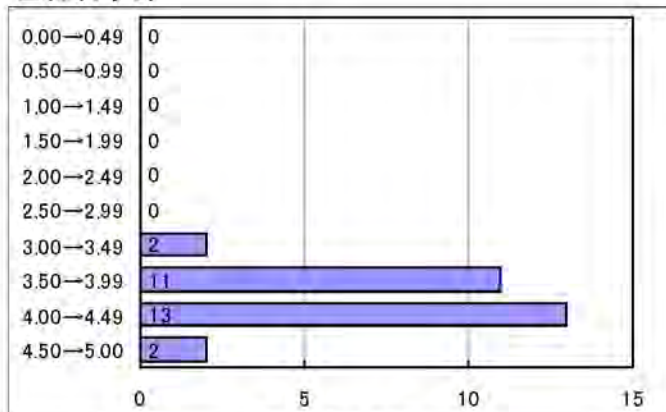
平均値 = 4.03

■人間生活科学部・管理栄養学科



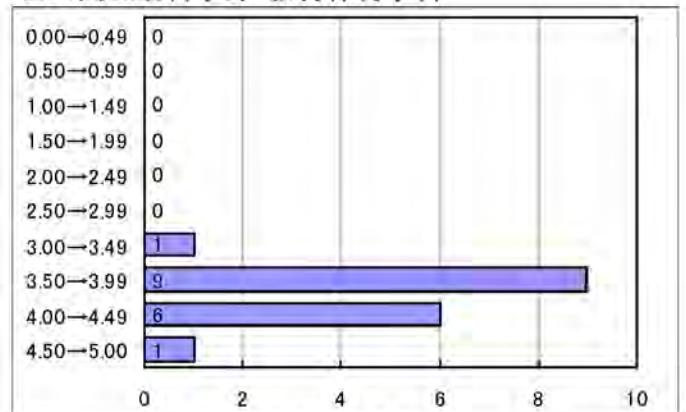
平均値 = 4.17

■経済学部



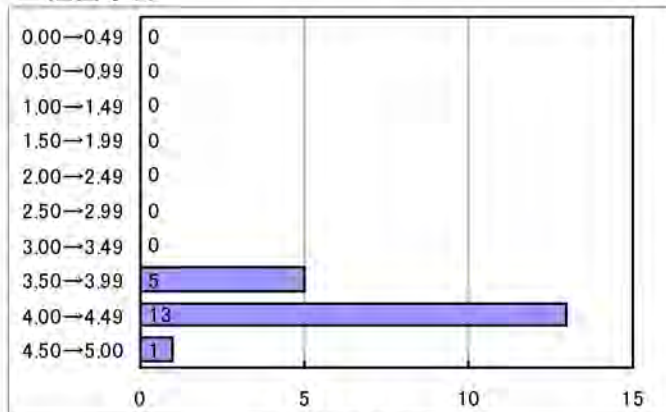
平均値 = 3.89

■人間生活科学部・教育保育学科



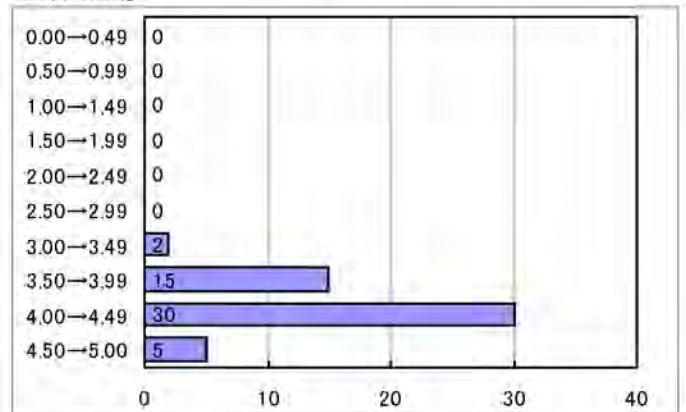
平均値 = 3.97

■経営学部



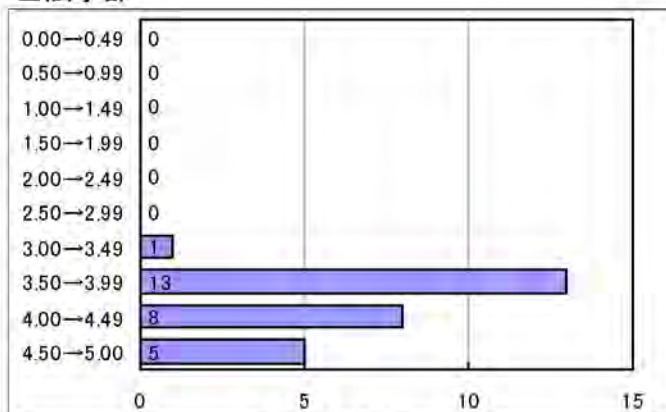
平均値 = 4.11

■非常勤



平均値 = 4.04

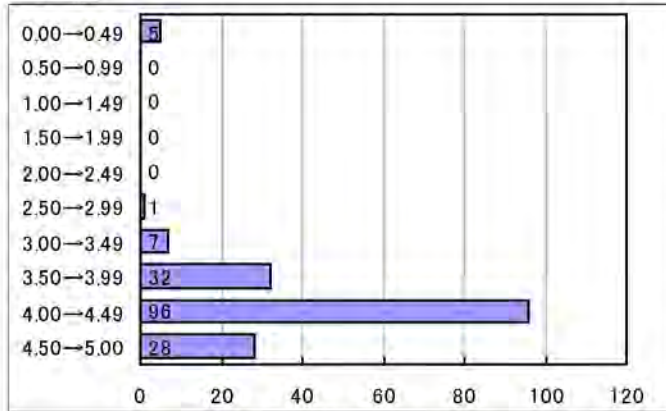
■法学部



平均値 = 4.00

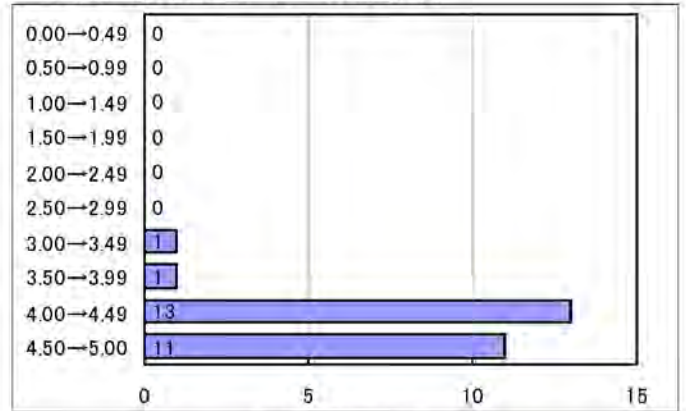
●8.教科書、配布資料が活用されていますか

■全体



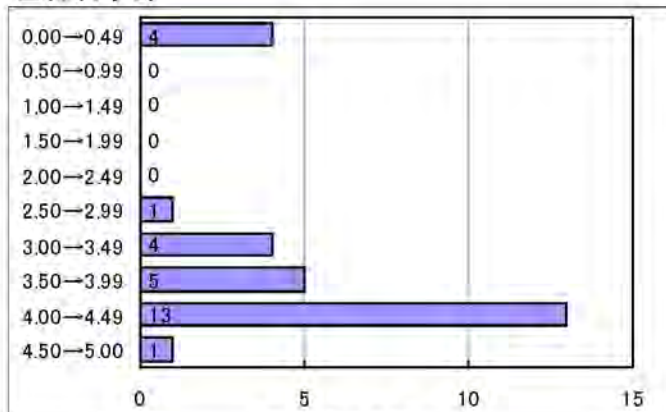
平均値 = 4.09

■人間生活科学部・管理栄養学科



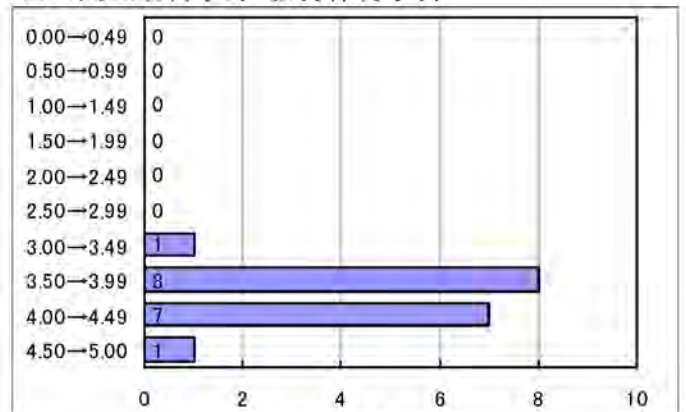
平均値 = 4.40

■経済学部



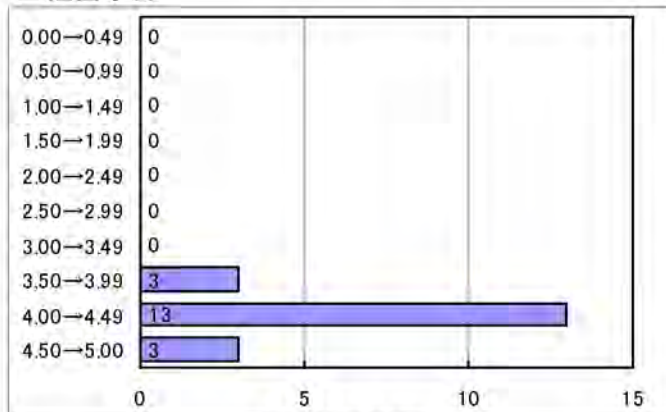
平均値 = 3.86

■人間生活科学部・教育保育学科



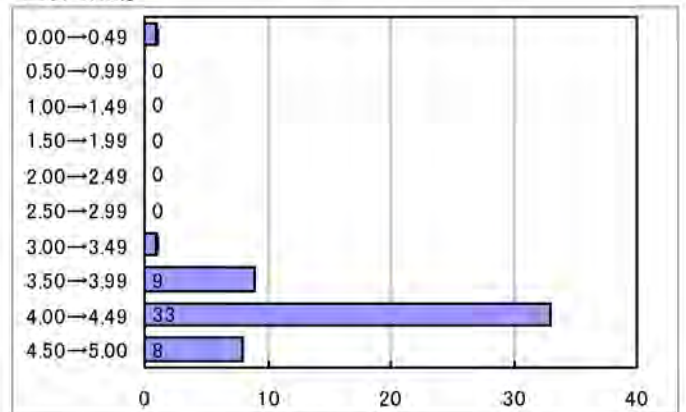
平均値 = 3.91

■経営学部



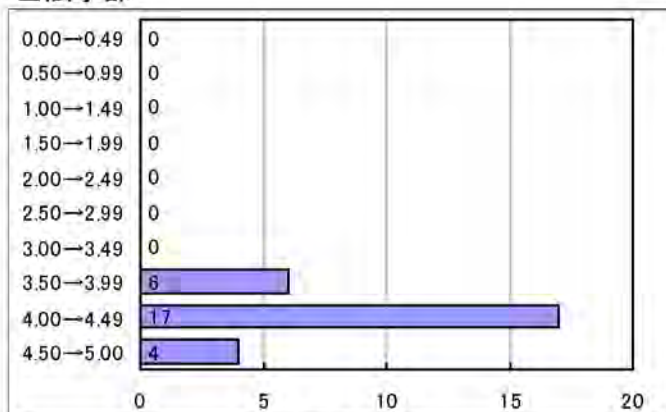
平均値 = 4.18

■非常勤



平均値 = 4.13

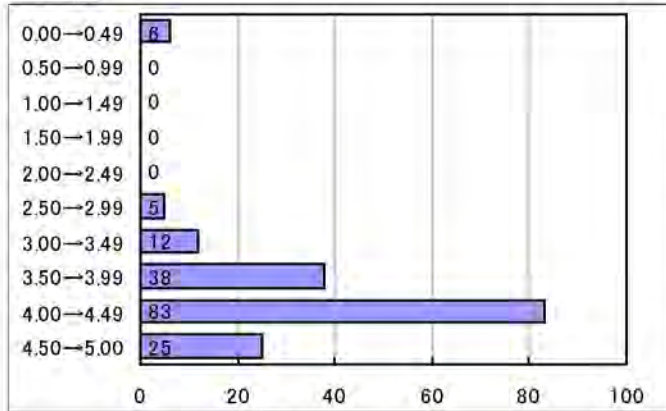
■法学部



平均値 = 4.05

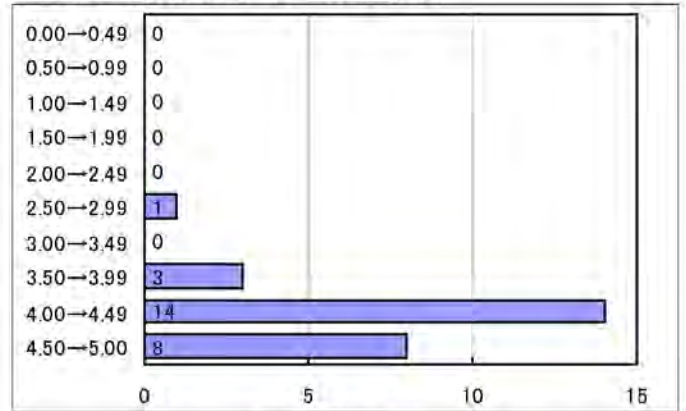
●9.板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか

■全体



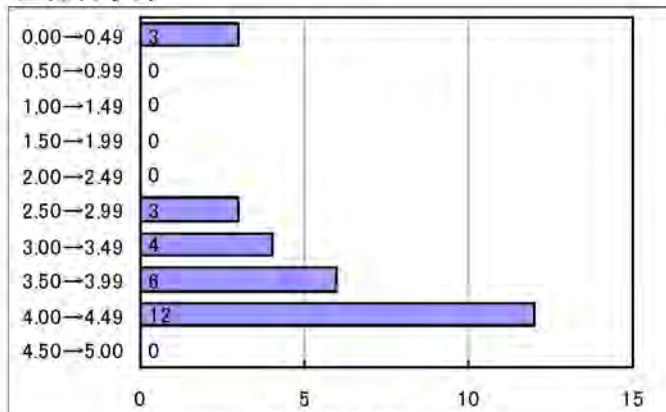
平均値 = 3.99

■人間生活科学部・管理栄養学科



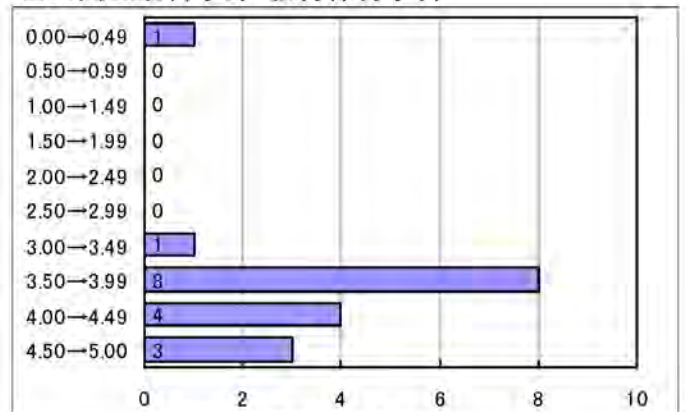
平均値 = 4.24

■経済学部



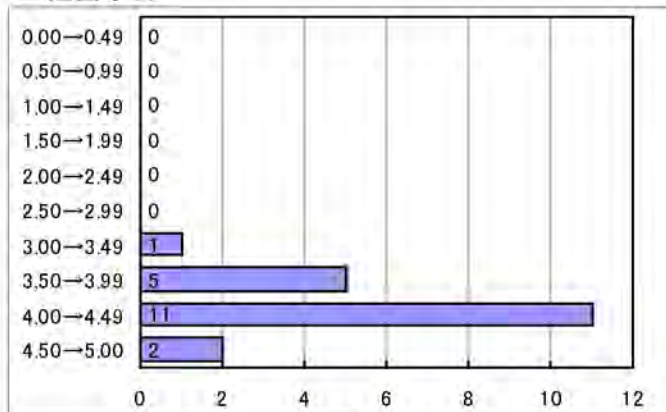
平均値 = 3.62

■人間生活科学部・教育保育学科



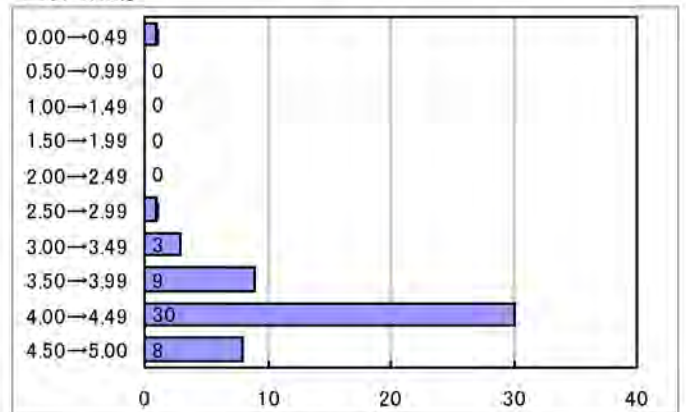
平均値 = 3.91

■経営学部



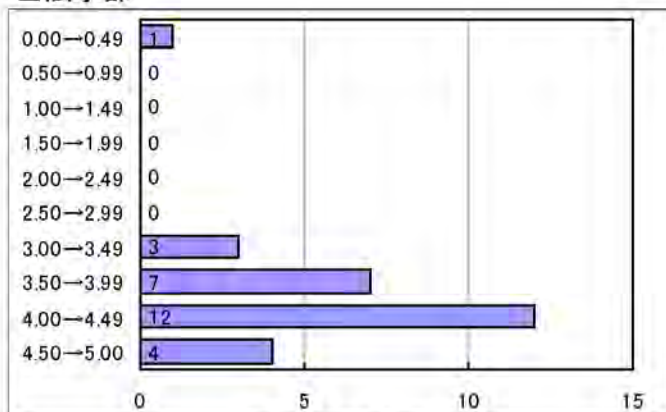
平均値 = 4.11

■非常勤



平均値 = 4.05

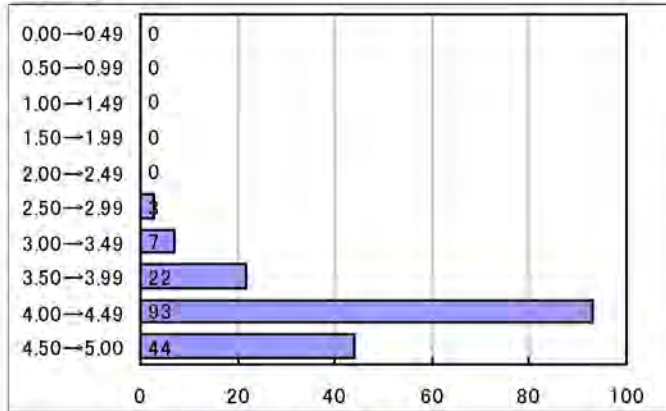
■法学部



平均値 = 4.02

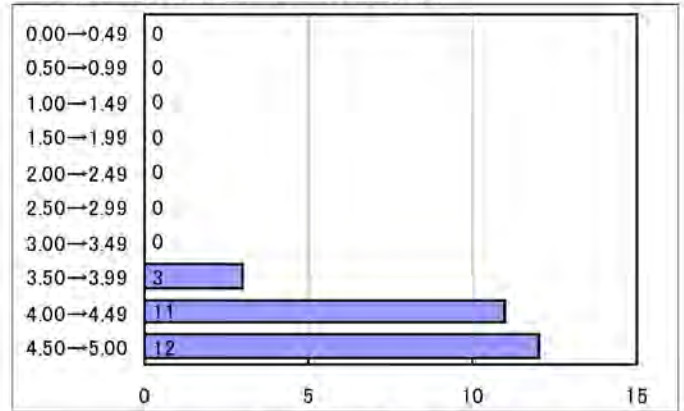
●10.教員の声は聞き取りやすいですか

■全体



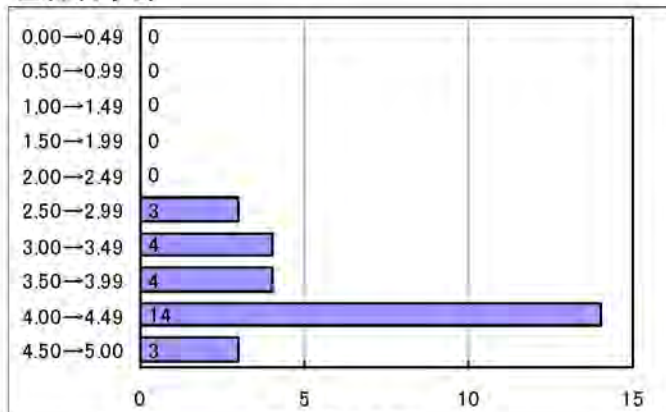
平均値 = 4.17

■人間生活科学部・管理栄養学科



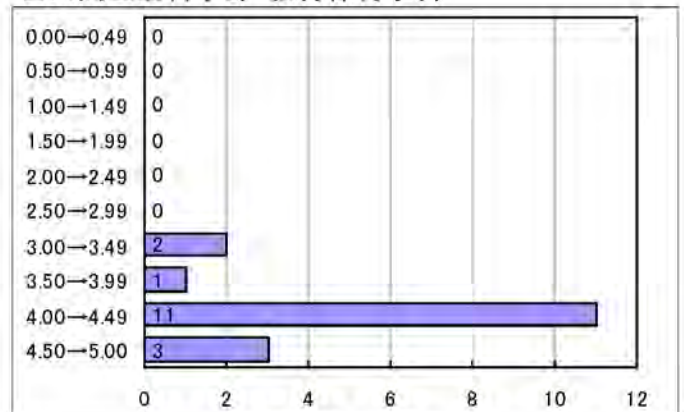
平均値 = 4.39

■経済学部



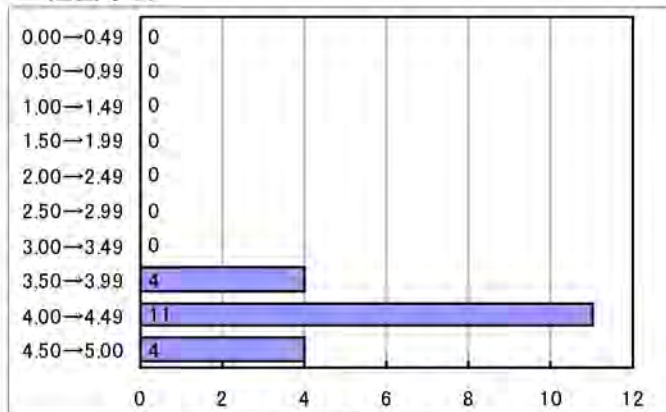
平均値 = 3.84

■人間生活科学部・教育保育学科



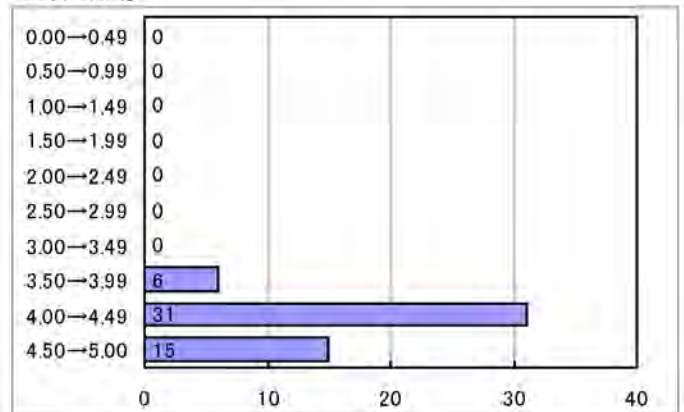
平均値 = 4.12

■経営学部



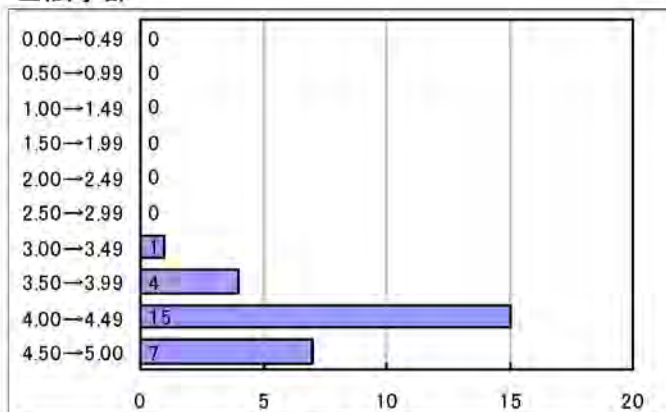
平均値 = 4.24

■非常勤



平均値 = 4.28

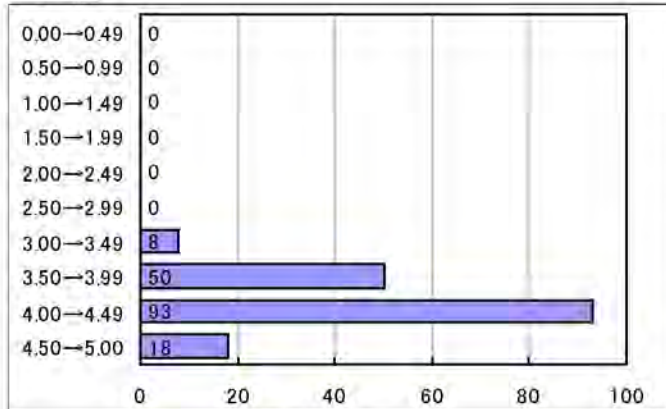
■法学部



平均値 = 4.19

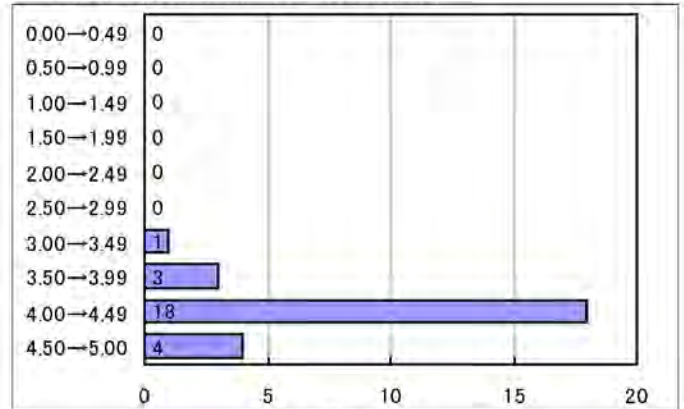
●11.一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切ですか

■全体



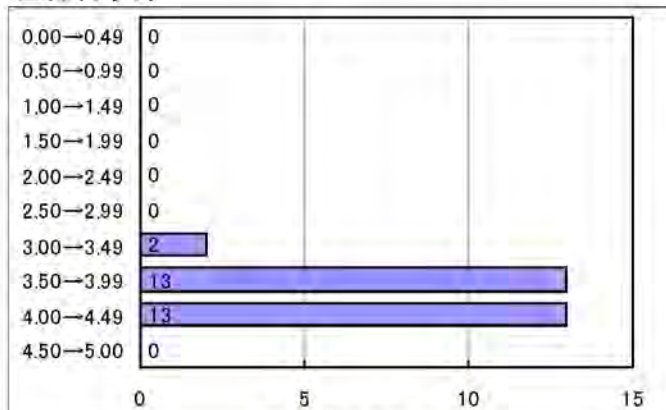
平均値 = 4.02

■人間生活科学部・管理栄養学科



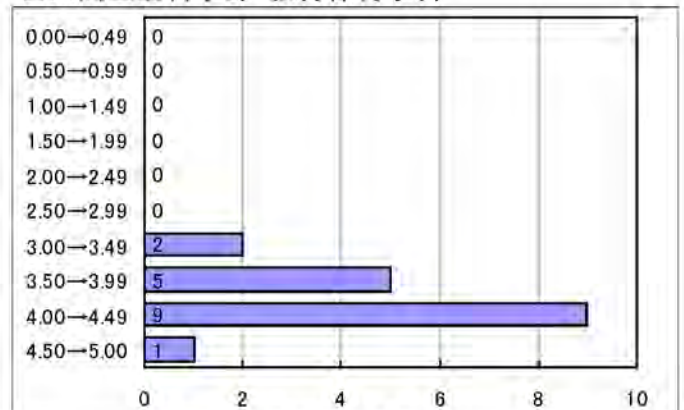
平均値 = 4.19

■経済学部



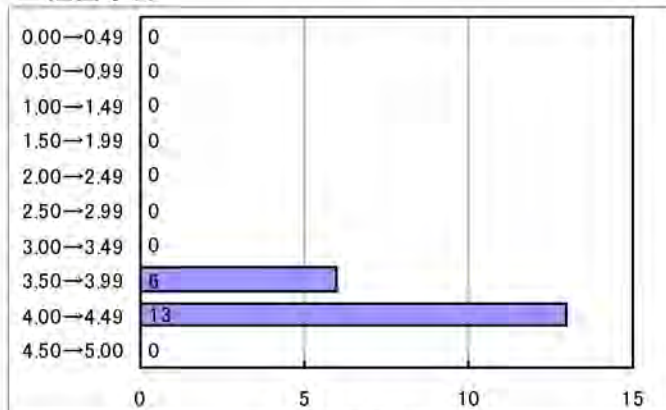
平均値 = 3.86

■人間生活科学部・教育保育学科



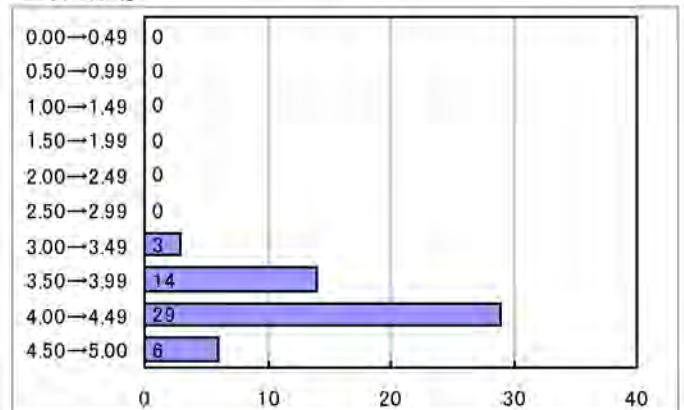
平均値 = 3.99

■経営学部



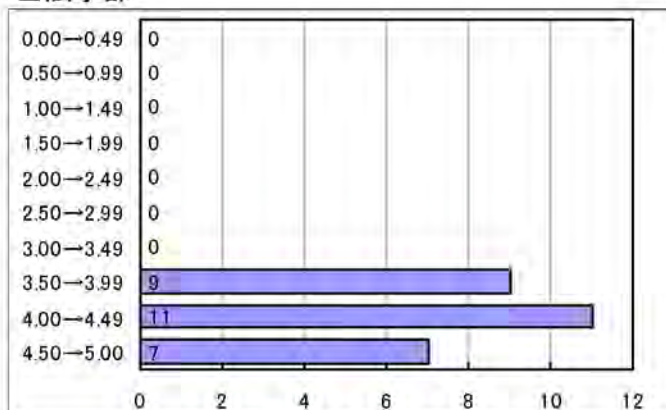
平均値 = 4.07

■非常勤



平均値 = 4.01

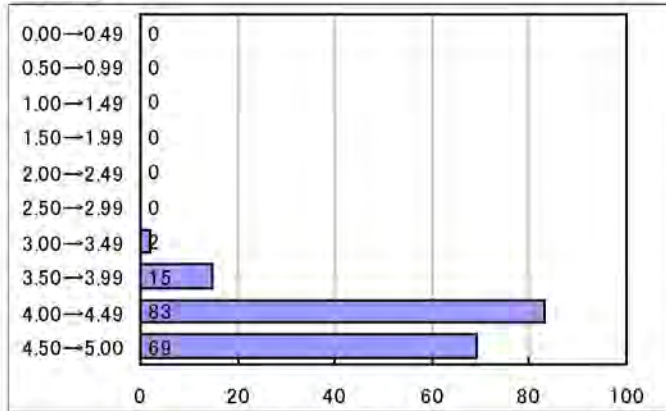
■法学部



平均値 = 4.05

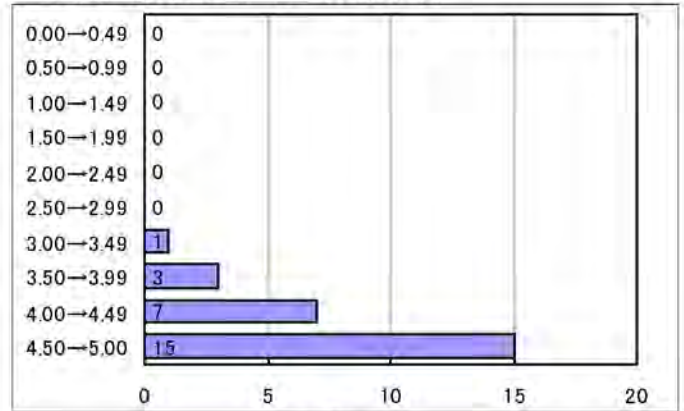
●12.教員は、授業時間を守っていますか

■全体



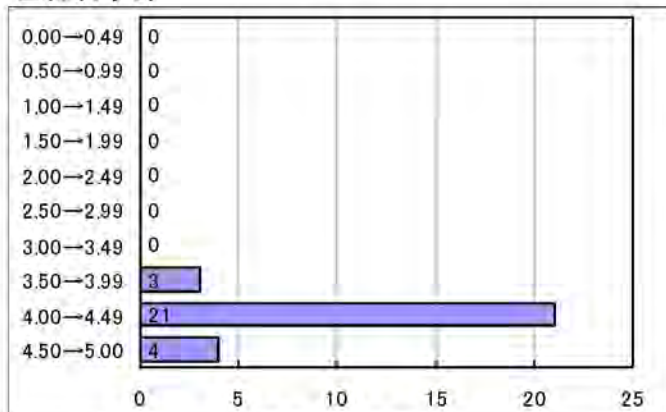
平均値 = 4.30

■人間生活科学部・管理栄養学科



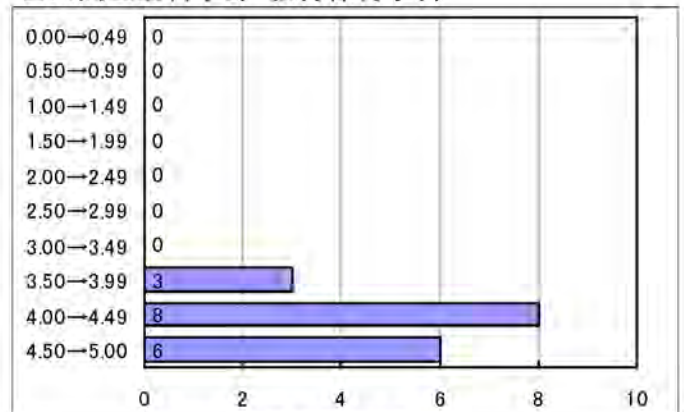
平均値 = 4.39

■経済学部



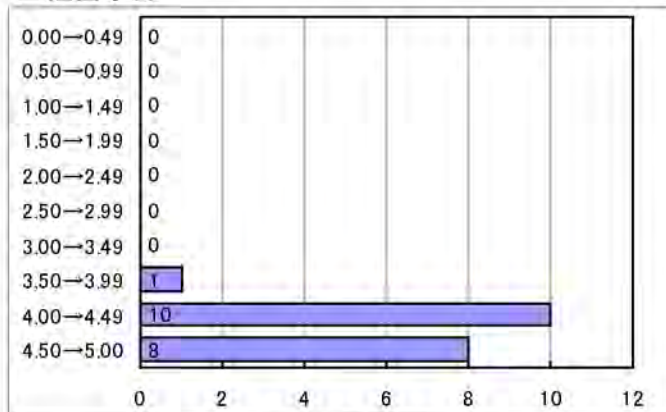
平均値 = 4.23

■人間生活科学部・教育保育学科



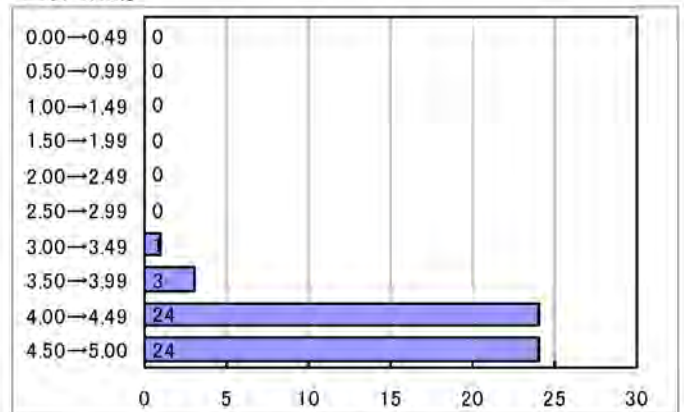
平均値 = 4.25

■経営学部



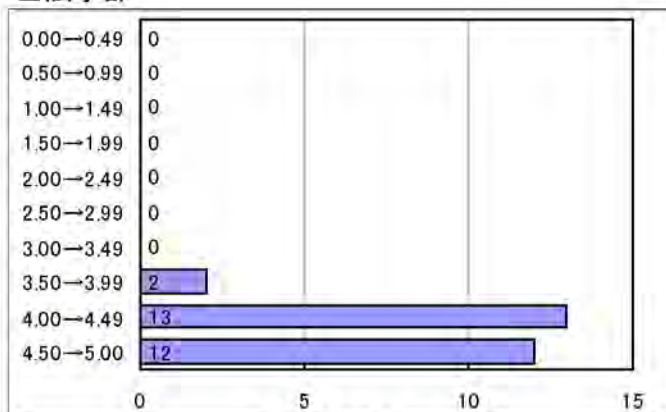
平均値 = 4.35

■非常勤



平均値 = 4.33

■法学部



平均値 = 4.24

2013年度後期_実施概要

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
経済学部	28	28	100.00	27	96.43
経営学部	20	19	95.00	19	100.00
法学部	27	27	100.00	24	88.89
人間生活科学部・管理栄養学科	28	26	92.86	24	92.31
人間生活科学部・教育保育学科	17	17	100.00	17	100.00
非常勤	61	52	85.25	39	75.00
【全体】	181	169	93.37	150	88.76

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
経済学部	1,762	1,762	994	56.41
経営学部	1,733	1,713	988	57.68
法学部	1,881	1,881	1,149	61.08
人間生活科学部・管理栄養学科	879	798	650	81.45
人間生活科学部・教育保育学科	938	938	575	61.30
非常勤	2,485	2,262	1,301	57.52
【全体】	9,678	9,354	5,657	60.48

学部学科別結果分析【前期】

< 法学部 >

1. 実施概要

所属名	対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数(E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
法学部	1,629	1,629	882	54.14
【全体】	9,033	8,630	5,598	64.87

法学部の専任教員担当科目のうち26科目が今回のアンケート対象であった。アンケートの回収率は54.14%と非常に低い回収率となった。アンケート実施日に欠席する学生が目立ち、いかにアンケートに参加させるかが今後の課題である。

2. 法学部所属教員の結果（他学部科目及び他学部履修生を含む）

設問	内容	平均
1	あなたは、この授業に出席していますか	4.3
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んでいますか	3.9
3	この授業は、シラバスにそって行なわれていますか	4.1
4	授業内容は、わかりやすいですか	3.9
5	この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか	3.8
6	教員の教え方には、熱意が感じられますか	4.0
7	授業の速さや進め方は、適切ですか	4.0
8	教科書、配布資料が活用されていますか	4.1
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか	3.9
10	教員の声は聞き取りやすいですか	4.2
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切ですか	4.1
12	教員は、授業時間を守っていますか	4.2
D	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか	1.6

法学部に所属する専任教員担当の科目について、特記すべきは設問4及び5についての評価がそれぞれ、3.9、3.8とやや低いことである。また、設問3と設問Dとを対照すると、シラバスをほとんど読んでいないにもかかわらず、授業がシラバス通りに行われていると評価をしており、このアンケート結果の信憑性に疑問を持たざるを得ない。

3 法学部生学年別結果

設問	内容	全学年平均	1年	2年	3年	4年	5年
1	あなたは、この授業に出席していますか	4.3	4.3	4.1	4.4	4.1	
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んでいますか	3.8	3.7	3.8	4.0	3.9	
3	この授業は、シラバスにそって行なわれていますか	4.1	4.0	4.1	4.2	4.3	
4	授業内容は、わかりやすいですか	3.9	3.7	3.8	3.9	4.1	
5	この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか	3.8	3.5	3.8	3.9	3.9	
6	教員の教え方には、熱意が感じられますか	4.0	3.8	4.0	4.1	4.2	
7	授業の速さや進め方は、適切ですか	3.9	3.7	4.0	4.0	4.2	
8	教科書、配布資料が活用されていますか	4.0	3.8	4.1	4.1	4.1	
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか	3.9	3.8	3.9	3.8	4.0	
10	教員の声は聞き取りやすいですか	4.1	4.0	4.2	4.2	4.2	
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切ですか	4.0	3.6	4.1	4.1	4.3	
12	教員は、授業時間を守っていますか	4.2	4.1	4.3	4.3	4.3	
C	あなたは、何年生ですか	6.7	8.0	7.0	5.9	4.9	
D	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか	1.6	1.3	1.6	1.7	1.8	

学年別でのアンケート結果で、特徴的なのは1年生の評価が他に比べて低いことである。この結果は、1年生がまだ、大学の授業及び学習に不慣れであることを示しているのか、あるいは、新カリキュラムの影響か、その他の要因かを検証する必要がある。また、全学年共通で、授業に対する知的関心が低い。

4 履修者数別結果

設問	内容	1-50	51-100	101-150	151-200
1	あなたは、この授業に出席していますか	4.2	4.3	4.4	4.5
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んでいますか	4.0	3.8	3.9	4.0
3	この授業は、シラバスにそって行なわれていますか	4.2	4.1	4.0	4.0
4	授業内容は、わかりやすいですか	4.1	3.8	3.8	3.9
5	この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか	4.0	3.7	3.7	3.7
6	教員の教え方には、熱意が感じられますか	4.2	4.0	3.9	3.9
7	授業の速さや進め方は、適切ですか	4.1	4.0	3.9	4.0
8	教科書、配布資料が活用されていますか	4.4	4.1	4.0	4.1

9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか	4.0	3.9	3.9	3.9
10	教員の声は聞き取りやすいですか	4.4	4.2	4.0	4.0
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切ですか	4.3	4.0	4.0	4.1
12	教員は、授業時間を守っていますか	4.4	4.2	4.1	4.2
D	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか	1.6	1.7	1.6	1.5

履修者数別では、101人から150人の授業が全アンケート項目において最も評価が低かった。次いで、51人～100人の授業の評価が低く、151人～200人の超人数授業の方が評価が高かった。これに対して、1人～50人の授業評価は設問Dを除いて、全ての項目で4.0ポイント以上の評価を得た。このような結果となったのには、様々な要因が考えられようが、それを究明するにはより詳細な調査を要するが、少なくとも、小規模授業が好ましいということの裏付けにはなったと考える。

5 授業のわかりやすさ及び知的関心

表 わかりやすさ

科目名	平均
手形法・小切手法 I(木 1)	4.83
地方自治法(木 1)	4.51
総合科目 I(健康と法)(金 3)	4.39
不動産登記法(水 4)	4.33
行政法総論 I(火 1)	4.26
法学検定対策 IV(宅建対策)(火 4)	4.20
会社法 I(水 3)	4.19
会社法 I(水 3)	4.07
企業と法(水 1)	4.06
商業登記法(火 1)	4.05
トピック対策英語 I(木 1)	4.00
知的財産法 I(木 2)	4.00
刑事訴訟法 I(水 2)	4.00
市民生活と法(A)／市民生活と法(金 4)	3.98
民事執行法・民事保全法 I(水 4)	3.91
不法行為法(火 3)	3.90
租税法 I(水 1)	3.89

表 知的関心

科目名	平均
手形法・小切手法 I(木 1)	4.83
総合科目 I(健康と法)(金 3)	4.39
地方自治法(木 1)	4.51
不動産登記法(水 4)	4.33
行政法総論 I(火 1)	4.26
租税法 I(水 1)	4.20
会社法 I(水 3)	4.19
法学検定対策 IV(宅建対策)(火 4)	4.20
会社法 I(水 3)	4.07
知的財産法 I(木 2)	4.00
刑事訴訟法 I(水 2)	4.00
労働法 I(火 4)	4.00
市民生活と法(A)／市民生活と法(金 4)	3.98
商業登記法(火 1)	4.05
民事執行法・民事保全法 I(水 4)	3.91
不法行為法(火 3)	3.90
企業と法(水 1)	3.89

日本語レッスン／日本語レッスン I(金 1)	3.87	18	トピック対策英語 I(木 1)	3.87
市民生活と法(B)／法と生活(金 4)	3.84	19	簿記学 I／簿記学(火 2)	3.84
市民生活と法(C)／法と生活(金 4)	3.81	20	市民生活と法(B)／法と生活(金 4)	3.81
保険法 I(火 2)	3.79	21	家族法 I(親族法)(木 2)	3.79
契約法 I(金 3)	3.79	22	契約法 I(金 3)	3.79
英語コミュニケーション(2)／英語コミュニケーション I(2)(月 3)	3.74	23	英語コミュニケーション(2)／英語コミュニケーション I(2)(月 3)	3.74
簿記学 I／簿記学(火 2)	3.71	24	市民生活と法(C)／法と生活(金 4)	3.71
労働法 I(火 4)	3.71	25	英語リーディング(1)／英語リーディング I(1)(木 1)	3.71
家族法 I(親族法)(木 2)	3.63	26	民事訴訟法 I(水 3)	3.63
英語リーディング(1)／英語リーディング I(1)(木 1)	3.62	27	物権法 I(木 3)	3.62
物権法 I(木 3)	3.59	28	日本語レッスン／日本語レッスン I(金 1)	3.59
文学の諸相(月 4)	3.50	29	文学の諸相(月 4)	3.50
民事訴訟法 I(水 3)	3.39	30	国際法 I(火 2)	3.39
国際法 I(火 2)	3.29	31	倒産法 I(月 1)	3.29
倒産法 I(月 1)	2.59	32	保険法 I(火 2)	2.59

授業のわかりやすさ（設問 4）については、かねてから「わかりやすい」だけの評価では片手落ちであり、「簡単すぎる」といった物足りなさや「大学の授業のレベルに達していない」といった不満の声が反映されていないとの指摘があった。そこで、今回のアンケートでは、学生が「知的関心」を持てたかを問う設問（設問 5）を加えた。

そこで、両設問の結果を対照してみると（法学部専任担当科目＋非常勤担当専門科目）、多くの科目で僅差ではあるが「わかりやすさ」より「知的関心」が下回る結果となった。「わかりやすさ」より「知的関心」が上回った科目は 6 科目、両者のポイントが同じであった科目は 4 科目であった。

6 授業・教室管理について

科目名	平均
手形法・小切手法 I(木 1)	4.87
総合科目 I(健康と法)(金 3)	4.64
地方自治法(木 1)	4.59
知的財産法 I(木 2)	4.50

商業登記法(火 1)	4.45
不動産登記法(水 4)	4.33
行政法総論 I(火 1)	4.32
法学検定対策 IV(宅建対策)(火 4)	4.32
家族法 I(親族法)(木 2)	4.29
不法行為法(火 3)	4.28
市民生活と法(A)／市民生活と法(金 4)	4.27
会社法 I(水 3)	4.26
租税法 I(水 1)	4.22
契約法 I(金 3)	4.22
企業と法(水 1)	4.21
会社法 I(水 3)	4.11
市民生活と法(C)／法と生活(金 4)	4.06
簿記学 I／簿記学(火 2)	4.00

授業及び教室管理について、4.0 ポイント以上の好評価を得た科目は、左の通りである。

7 クロス集計

			設問 4(授業のわかりやすさ)					
			回答なし	1	2	3	4	5
法学部	設問 11	回答なし	1	7	0	2	2	0
		1	3	235	84	34	4	3
		2	2	36	151	75	13	3
		3	1	14	39	108	16	8
		4	0	3	10	11	4	1
		5	0	0	2	4	0	6

			設問 8(教科書・資料)	
			回答なし	1
法学部	設問 11	回答なし	1	7
		1	16	265
		2	15	63
		3	15	25
		4	1	8
		5	0	3

			設問 9(板書・モニターの見やすさ)					
			回答なし	1	2	3	4	5
法学部	設問 11	回答なし	1	6	0	5	0	0
		1	17	238	70	28	3	7
		2	12	26	156	72	12	2
		3	14	7	35	112	10	8
		4	1	3	10	6	8	1
		5	0	1	4	2	1	4

			設問 10(声の聞かされやすさ)	
			回答なし	1
法学部	設問 11	回答なし	3	4
		1	6	285
		2	2	51
		3	4	19
		4	0	13
		5	0	1

クロス集計は、教室管理（設問 1 1）と設問 4、設問 8、設問 9、設問 10 と行なった。それぞれ共通していえることは、教室・授業管理について高い評価を得ている場合、クロス項目の評価も高く、これらは相関関係にあるということである。

8 複数教員担当科目について

科目名	学部学科名	学年	有効数	平均
市民生活と法	法学部	1	42	3.05
	経済学部	1	34	3.35
	経営学部	1	42	3.36
	人間生活科学部管理栄養	1	5	4.00
市民生活と経済	法学部	1	25	3.32
	経済学部	1	34	3.35
	経営学部	1	41	3.41
	人間生活科学部管理栄養	1	50	3.08
市民生活と健康	法学部	1	48	2.88
	経済学部	1	54	3.24
	経営学部	1	60	3.35
	人間生活科学部管理栄養	1	0	0.00
市民生活とビジネス	法学部	1	37	2.92
	経済学部	1	38	3.37
	経営学部	1	33	3.55
	人間生活科学部管理栄養	1	56	3.23

共通基礎科目（市民生活シリーズ）に対する評価は、どの科目についても法学部生の評価が最も低いという結果となった。要因の究明については、より詳細な調査を行わなければならない。

< 経済学部 >

1. 概要

アンケート回収率（回収科目数÷対象科目数）は 87.50%であった。これは経営学部、法学部の社会科学系の学部が 100%であったことと比較すると低いといえる。また、全体の回収率が 94.0%であったことから比べると最も低い水準にある。

なお、回収率が 87.5 とやや低かったのは、ある科目担当者の体調不良によるものだった。

また、アンケート回答率（回答者数÷回収科目履修者数）についてみると、63.14%

であった。経営学部が 62.55%、法学部が 54.14%であることを考慮すると、社会科学系の学部の中では最も高くなっている。しかし、人間生活科学部と比較すると、管理栄養学科の 88.53%、教育保育学科の 69.80%と比べると低いといえる。また、全体の 64.87%と比較しても低くなっている。

前年度の回答率は 55.98%であったことと比較すると、回答率は若干向上しているといえる。前年度に比べて状況はよくなっているとはいえる。しかし、6割程度の回答率であるので、前年度の報告書で指摘したように、アンケート実施の時点で失格（あるいはその予備軍）になっている学生が相応にいると考えられる。

まず、今回の概要からわかる課題としては、アンケート回収率を高める必要があると考えられる（前年度の前期は 100%であった）。これについてはアンケートに対する周知徹底を教員の間で図る必要がある。次に、回答率の向上である。前年度に比べて回答率は向上しているが、全体平均以下であるので、回答率をあげられるようにする必要がある。つまり、失格もしくは失格予備軍の学生を減らすことが重要になる。

2. 学部所属教員全体に関するデータの分析

設問の全体は次の通り。

1	あなたは、この授業に出席していますか
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んでいますか
3	この授業は、シラバスにそって行なわれていますか
4	授業内容は、わかりやすいですか
5	この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか
6	教員の教え方には、熱意が感じられますか
7	授業の速さや進め方は、適切ですか
8	教科書、配布資料が活用されていますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか
10	教員の声は聞き取りやすいですか
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切ですか
12	教員は、授業時間を守っていますか
13	(自由設問①)

回答の全体は次の通り

設問名	有効数	平均	回答 01	回答 02	回答 03	回答 04	回答 05	率 01	率 02	率 03	率 04
-----	-----	----	----------	----------	----------	----------	----------	------	------	------	------

1	833	4.4	494	190	130	19	0	59.3	22.8	15.6	2.3
2	831	3.9	245	292	244	36	14	29.5	35.1	29.4	4.3
3	827	4.1	322	263	228	10	4	38.9	31.8	27.6	1.2
4	827	3.7	228	277	239	43	40	27.6	33.5	28.9	5.2
5	795	3.6	197	249	254	52	43	24.8	31.3	31.9	6.5
6	832	4.0	286	294	198	35	19	34.4	35.3	23.8	4.2
7	833	3.9	260	286	226	44	17	31.2	34.3	27.1	5.3
8	788	3.9	283	225	206	38	36	35.9	28.6	26.1	4.8
9	794	3.7	252	221	207	63	51	31.7	27.8	26.1	7.9
10	830	3.9	312	253	194	39	32	37.6	30.5	23.4	4.7
11	829	3.8	262	259	245	37	26	31.6	31.2	29.6	4.5
12	823	4.2	394	256	142	22	9	47.9	31.1	17.3	2.7
13	185	3.2	29	49	64	17	26	15.7	26.5	34.6	9.2

「設問 1」と「設問 3」の 2 問のみが、社会科学系の学部の中では平均点が最も高くなっていた。一方で、「設問 4」、「設問 5」、「設問 7」、「設問 8」、「設問 9」、「設問 10」、「設問 11」の平均点は最も低くなっていた。特に、「設問 7」、「設問 8」、「設問 10」、「設問 11」については他の 2 学部の平均が 4 以上のなっていた一方で、本学部では 3 点台にとどまっていた。

これらの点については前年同期のアンケート結果においても指摘されていたことである。そのため、授業の進度、教材の活用、教員の声の聞き取りやすさ、教室管理といった点への対応について、今後より一層努力する必要があるだろう。

もう少し個々について述べるなら、設問 5 が 3.6 と低い。授業が平板に流れ、学生の興味をかきたてるものとなりきっていないということである。

次いで、設問 4 と 9 が低い。この二つは関連している。授業の内容を見やすく、確かめやすい形にしていけないことが分かりやすくないという結果を生み出す。しかし、それだけではあるまい。内容そのものが学生の理解度に即したものとなっていなければ、分かりにくいという結果を生む。

設問 1 もやや低い。授業中の教室管理の甘さに対する学生の厳しい目がある。

設問 2、7、8、10 も 4 を下回った。教員の発声は重要である。何を言っているのか分からない、というような講義の仕方では内容以前の問題がある。内容を分かりやすく、興味を持てるものにすることは当然であるが、声の出し方、目線の使い方、対話の技法、など基本的な術を修得し、向上させる努力が必要だろう。

3. 履修者数別データの分析

学部学科名	範囲	範囲名	授業数	設問（赤の数字は平均）											
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
経済学部	01	1～50人	13	4.4	3.9	4.1	3.9	3.7	4.0	4.0	4.2	4.1	4.1	3.9	4.3
経済学部	02	51～100人	4	4.4	4.1	4.2	3.8	3.8	4.0	3.9	3.7	3.4	3.7	4.0	4.2
経済学部	03	101～150人	2	4.3	3.8	4.0	3.7	3.6	4.0	3.9	4.0	3.9	4.2	3.8	4.2
経済学部	04	151～200人	1	4.3	3.7	4.0	3.6	3.6	3.9	3.8	3.3	3.3	3.8	3.7	4.1
経済学部	05	201～250人	1	4.7	3.7	3.9	3.4	3.4	3.8	3.6	3.6	3.6	3.8	3.6	4.1

分析

ここでは、設問11に注意したい。受講人数が100名を超えると評価が4を下回る。もちろん、教員の力量にもよるのだが、概して、受講人数の増大と教室管理の困難さ、したがって学生の授業満足度の低下は強い相関関係があると思われる。

4. 学部学生視点からのデータ分析

「設問2」と「設問10」の平均点が社会科学系の他の学部 비해、高くなっている。その他の項目については経済学部のみが他学部に比べて低くなっているというものはみられなかった。ほとんどの平均は4以上となっていたが、「設問4」と「設問5」の平均点は3点台となっていた。これらの設問は、授業のわかりやすさや知的関心に関わるものである。詳細な考察は他の項目で行うこととするが、わかりやすさ、知的関心の面では今後授業進めていくうえでの重要な課題になるのではないかと考えられる。

しかし、これについてはあくまで学生側の予習・復習が行われている場合である。予習復習が行われていないなかでは、わかりやすさや知的関心の結果についてはもう少し慎重に捉える必要があるといえる。とはいえ、結果的にはこの2つが低くなっていることから、教員についてはこれらの点についての努力が必要になるかもしれないが、一方では学生に対しても授業外での学習を行うなどの努力が必要になるのではないだろう

か。

5. 知的関心について

本学部において知的関心の項目が高くなっている授業の上位3つをあげると、「トピック対策英語VI（火2）」(4.67)、「消費者教育論（木1）」(4.67)、「国際経済論（金5）」(4.58)である。このほか、「インターンシップ論（月5）」(4.40)、「経済統計学（金1）」(4.09)の2科目の平均も4以上となっていた。専門科目については、2年次以上配当（「消費者教育論」、「経済統計学」）で高くなっているものがある一方で、3年次以上配当（「国際経済論」、「インターンシップ論」）においても高くなっていた。

その他の特徴についてみておくと、必修科目における知的関心も4に近い値となっているという特徴がある（「経済システム論」(3.97)、「経済数学入門」(3.92)、「マクロ経済学」(3.86)）。今回アンケートの対象となった専門科目は3点台の後半となっているなど、比較的点数は高くなっているといえる。

6. クロス集計データ

ここでのデータは、教室管理とわかりやすさ、教室管理と授業資料の活用、教室管理と機材の活用、教室管理と教員の声の聞き取りやすさである。全体的に言えることであるが、教室管理と授業への配慮をしっかりと行っている場合には、学生の満足も高くなっていることがわかる。本学部の場合は、教室管理に関する平均点が他学部に比べて低くなっていた。このことから、教室管理をしっかりと行うことが必要な課題になっているといえよう。

< 経営学部 >

1. 実施対象科目数、実施率、コメント提出率

所属名	対象科(A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント 提出率 (C÷B)
【全体】	150	141	94.00	134	95.04
経営学部	21	21	100	21	100.00

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
【全体】	9,033	8,630	5,598	64.87
経営学部	2,366	2,366	1,480	62.55

経営学部の回答率は62.55であり、全体平均に近い数値であった。前年度後期の56.22に比べると高くなっている。学生の出席率はやや向上してきたと認められる。それでも出席率をもっと上げる必要がある。出席率は単位取得率を大きく左右する。学生の授業への参加をいかに促していくかは、従来通り大きな課題である。

2. 学生視点からのデータ分析

* 設問項目

設問	内容
1	あなたは、この授業に出席していますか
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んでいますか
3	この授業は、シラバスにそって行なわれていますか
4	授業内容は、わかりやすいですか
5	この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか
6	教員の教え方には、熱意が感じられますか
7	授業の速さや進め方は適切ですか
8	教科書、配布資料が活用されていますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか
10	教員の声は聞き取りやすいですか
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切ですか
12	教員は、授業時間を守っていますか

* 教員所属別平均

所属	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9	設問 10	設問 11	設問 12
全体	4.4	4.0	4.1	3.9	3.8	4.1	4.0	4.1	3.9	4.1	4.0	4.3

経営学部	4.4	4.0	4.1	4.0	3.8	4.1	4.0	4.1	4.1	4.2	4.0	4.3
------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

経営学部所属教員担当科目の平均ポイントを見ると、一部の設問は大学全体の平均を上回り、おおむね良好である。「知的関心」は、大学平均でも経営学部でも他の設問と比較すると評価値がやや低い。「わかりやすさ」は大学全体平均を若干上回った。

*** 学生視点＜学部全体と学年別＞**

設問	全体	1年	2年	3年	4年
1	4.4	4.3	4.4	4.5	4.1
2	3.9	3.7	4.0	4.2	3.9
3	4.2	4.0	4.1	4.3	4.3
4	3.9	3.7	3.9	4.0	4.0
5	3.8	3.6	3.9	3.9	3.9
6	4.1	4.0	4.0	4.2	4.2
7	4.0	3.8	4.0	4.1	4.1
8	4.0	3.9	4.0	4.2	4.2
9	4.0	3.9	4.0	4.0	3.9
10	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2
11	3.9	3.7	4.0	4.1	4.1
12	4.3	4.3	4.2	4.4	4.2
1～12 平均	4.0	3.9	4.0	4.1	4.0

経営学部の学生視点からすると、「わかりやすさ」は学部全体では平均 3.9 である。

1 年生の平均は

3.7 にとどまった。前年度に比べて全体的に下がる傾向が見られる。新しい設問の「知的関心」は、全ての設問の中で最も低い数値となった。しかしこれは授業アンケート評価の初のデータであり、適切にコメントするには今後の評価結果を待つ必要がある。「教室管理」については平均値が 3.9 であり、前年度後期の 4.1 に比べて 0.2 ポイント下がった。また、「教室管理」でも、1 年生の平均は 3.7 で低かった。

*** クラスサイズ別の「わかりやすさ」と「教室管理」**

クラスサイズ別の「わかりやすさ」 / 「教室管理」をみると、以下のように、

50 人以下の小クラスが最もポイントが高いが、中規模、大規模クラスでは差が認められない。

1～50 人	(クラス数 5)	【4.3 / 4.3】
51～100 人	(クラス数 4)	【3.9 / 3.9】
101～150 人	(クラス数 4)	【4.0 / 4.0】
151～200 人	(クラス数 7)	【3.9 / 3.9】

3. クロス集計について

「教室管理」と「わかりやすさ」「教科書、配布資料の活用」、「板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」「教員の声の聞こえやすさ」の4項目のクロス集計を行なった（詳細データは省略）。いずれのクロス集計においても、「教室管理」の評価が高ければ、クロス項目の評価も高くなるという相関関係が見られる。ただし、クロス集計データの細かい数字から言えば、「教室管理」と「わかりやすさ」の相関関係は、その他の3項目に比べてやや弱いようになっている。このことは、「教室管理」をしっかりとできていても、授業内容をよく理解できない学生は一部いるということを示唆しているように思われる。

4. 「わかりやすさ」、「知的関心」、「教室管理」の結果分析

この分析では、専任教員の担当科目のみならず、兼担の非常勤講師の1科目も含まれている。

* 設問 4、「わかりやすさ」と設問 11、「教室管理」結果（詳細データ省略）

アンケート対象となった 22 科目の中で、「わかりやすさ」について、評価平均 4.0 以上の科目は 11 科目（50%）であった。「教室管理」は 22 科目中 13 科目が 4.0 以上を得ており、おおむね良好と言える（ただし、昨年度に比べると、平均ポイントは若干下がっている）。

* 設問 5、「知的関心」結果

「知的関心」は、下表のとおり、4.0 以上は 22 科目中の 8 科目であり、「わかりやすさ」、「教室管理」に比べると比率がやや低い。3 学部で比べると、経済学部は 24 科目中 4 科目、法学部は 25 科目中 9 科目が 4.0 以上であった。

科目名	平均
情報処理特論(木 5. 金 5)	4.53
総合科目 VI (囲碁戦略論) (木 2)	4.50
中国語入門(金 1)	4.42
ベンチャービジネス(火 4)	4.32
会計学(木 1)	4.26
(ス)スポーツと心理/スポーツと心理(水 3)	4.18
財務会計論(水 1)	4.07
企業法会計 (金 2)	4.00
情報ネットワーク I/情報ネットワーク(火 1)	3.99
生活経営論(月 1)	3.89
思想の歩み/日本思想史(木 1)	3.84
物流論(金 1)	3.81
情報システム論(木 3)	3.79
物理学(木 4)	3.77
市民生活とビジネス(A)(木 2)	3.73
市民生活とビジネス(C)/ネットワーク社会とビジネス(木 2)	3.72
経営情報論(火 2)	3.72
市民生活と健康(C)(火 1)	3.71
基礎英語 I(A)(月 1)	3.52
英語リーディング(3)/英語リーディング I(3)(金 2)	3.51
市民生活と健康(B)/食生活と健康(総合科目)/総合科目 IV(食生活と健康)(火 1)	3.48
市民生活と健康(A)/総合科目 V(食生活と健康)(火 1)	3.42

<人間生活科学部教育保育学科>

今回の授業評価アンケート対象科目数は 25 である。対して回収は 22。回収率は 88 パーセントであった。その 22 科目について、以下、従来の分かりやすいかという項目と今回新たに加わった授業の知的好奇心を呼び起こしたかという項目との相関について、若干の分析を試みる。

教育保育学科の場合、それは次のようになった。

- (1) 4. 63--- (2) 4. 42 必修・実技・2年
 (2) 4. 57--- (1) 4. 62 選択・実技・3年
 (3) 4. 43--- (3) 4. 28 必修・座学・1年
 (4) 4. 35--- (5) 4. 18 必修・実技ス・1年
 (5) 4. 31--- (4) 4. 19 必修・実技ス・1年
 (6) 4. 25--- (11) 3. 96 必修・座学・3年
 (7) 4. 23--- (9) 4. 00 必修・実技・2年
 (8) 4. 21--- (9) 4. 00 選択・座学ス・2年
 (8) 4. 21--- (6) 4. 17 選択・実技ス・3年
 (10) 4. 17--- (13) 3. 91 必修・実技・1年
 (11) 4. 09--- (15) 3. 85 必修・座学・1年
 (12) 4. 05--- (12) 3. 95 必修・座学・2年
 (13) 4. 00--- (8) 4. 11 他学部教職科目・座学
 (13) 4. 00--- (16) 3. 77 他学科必修科目・座学理
 (15) 3. 98--- (13) 3. 91 必修・座学理・2年・オムニバス
 (16) 3. 95--- (7) 4. 16 必修・座学・1年
 (17) 3. 71--- (17) 3. 57 必修・座学理・3年
 (18) 3. 50--- (18) 3. 55 必修・実技・1年
 (19) 3. 41--- (19) 3. 50 共通科目・座学・多人数
 (20) 3. 39--- (20) 3. 43 他学部教職科目・座学理
 (21) 3. 31--- (21) 3. 06 必修・座学・4年
 (22) 2. 96--- (22) 2. 94 必修・座学理・1年

表の右の数字は分かりやすさであり、左側は知的興味である（それぞれ5点満点）。また、（）内はそれぞれの順位である。続く必修/選択は科目の性質である。ただし、ここにいう必修とは卒業必修だけではなく、幼稚園・小学校教員免許必修と保育士資格必修科目も含む。選択は必修選択科目を含む。実技と座学は、講義・演習の別に関係なく、作業や体育を伴ったと学生が証言した科目を実技に含ませ、それ以外を座学に含ませた。座学スは体育関連の座学をいい、座学理は理系すなわち自然科学領域に含まれる科目をいう（今回は心理学関係の科目も実験を重視する学問の性質上、理系に含ませた）。

さて、これをみると、分かりやすさと知的興味を呼び起こすこととは、正の相関関係にあるといえそうである。一方、上位には実技でも座学でも体育関連科目が並び、下に

行くにしたがって、座学が増え、また、理系科目が増える傾向が指摘できる。

また、他学部教職科目、共通科目も下の方に並ぶ。

選択と必修との違いは、選択が上位にしかないことが指摘できる（もともと、選択科目の科目数が今回は少ないので、今後継続して傾向を見届ける必要がある）。

以上から分かることをいうと、学生は実技科目を高く評価していることである。スポーツや造形の作業などに対しては、分かりやすく知的興味も刺激されるとみなしている。

一方で、座学科目は分かりにくく知的興味もわかないとみなしている。特に理系科目について、それは顕著である。

ということは、今後、講義科目を減らしてできることならば実技科目だけにしてしまうと、授業評価は高くなることになる。と、一応はいえる。が、それでよいか。簡単にいえば、机に向かうことが嫌いなのではないかという思いもする。よく、われわれは、数字だけを見て、上位の教員は授業が上手で下位の教員は事業が下手だと断を下しがちだけれども、ことはそれほど単純ではない。授業の内容、また教えなければならないことの学生自身が今までに抱え込んでいる難易感（理科や数学は苦手だとか、英語は苦手だとか）の反映として、上記の結果を見ることができるとは思われる。

また、数字が並んでいるが、その分母となる学生数、学生集団に違いがあることもみしておく必要がある。たとえば、分かりやすさ（21）位の学生は教育保育学科 4 年生であるが、上記アンケートでは4年生の科目はこの一つに過ぎない。他と分母が違うといえるわけで、それを並べて順位が低いなどとはいえない。同様に他学部や他学科科目、教職科目と共通科目などと一列に並べることにはいかにほどの意義があるのかは、今後の検討課題だろう。

したがって、今後は、共通科目や他学部教職科目などについては、別途、学部の垣根を越えて、それらを評価していく必要があるし、教育保育学科の場合でも、学年別などにして、それぞれの学生を同一にした上での比較などをみる必要がある。

ただし、そういう場合でも、心したいことは、下位にある科目を担当している教員の授業に問題があるとみなす軽率は避けなければならない。むしろ、学生の苦手意識の発露とみなすことが重要であり、座学が嫌いで理系が嫌いという傾向について、それをいかにして克服させるかということへの問題提起の契機としたい。

なお、今後の見通しを述べておくと、おそらく、必修科目と選択科目とでも、必修科目を苦手とする意識が競り上がってくるのではないかと、個人的には予想している。もう少し、データの蓄積をしてから、その辺の事情を考えたい。

履修学生数と授業評価との相関関係の分析や、他学部との比較などについては、今回は触れず、特に新たに加わった質問項目「知的関心」について、従来の「分かりやすさ」との相関関係から、今回は特に述べたことをお断りする。

なお、今後は学年別の動向が注目される。なぜかという、平成 24 年度から新学長の下で新しい共学体制がスタートしている。このような中で旧体制と新体制との差異に着目することは、新体制の評価をする上でも重要だと考えるからである。特に、新体制の下で入学した学生の年度ごとの数値の変化は、新体制のカリキュラムが効果をあげているかどうかを図る指標となるだろう。学年を追うにつれて、評価が好転するのならば、新体制は成功することを意味し、その逆ならば再吟味の必要が生じた、あるいは失敗したということになる。そういう意味で、単年度の結果ではなく、連続する観察が必要となる。ただし、教育保育学科の専門科目については、それが教員免許取得に係わったり保育士資格取得に係わったりする科目が多いという学科の性質上、カリキュラムの変化は大きくない。

同様に、その意味で、今後は新体制の下でカリキュラムが大幅に改められた他学部との比較、あるいは教育保育学科学生の履修科目でも新体制の下で改められた共通科目群やいわゆる基礎 I 科目、基礎 II 科目、プロジェクト科目群との比較が注目されてくるだろう。

<人間生活科学部管理栄養学科>

1. 実施概要

所属名	対象科目	回収科目	回答者数	回答率
	履修者数(D)	履修者数(E)	(F)	(F÷E)
管理栄養	854	811	718	88.53
【全体】	9,033	8,630	5,598	64.87

管理栄養学科の専任教員担当科目のうち 25 科目が今回のアンケート対象であった。アンケートの回収率は 88.53%と学校全体の回収率に加えて 20%以上上回っていた。

2. 管理栄養学科所属教員の結果（他学部科目及び他学部履修生を含む）

設問	内容	平均
1	あなたは、この授業に出席していますか	4.6
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んでいますか	4.1
3	この授業は、シラバスにそって行なわれていますか	4.1
4	授業内容は、わかりやすいですか	3.9
5	この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか	3.9
6	教員の教え方には、熱意が感じられますか	4.0
7	授業の速さや進め方は、適切ですか	3.9
8	教科書、配布資料が活用されていますか	4.1
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか	4.0
10	教員の声は聞き取りやすいですか	4.2
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切ですか	4.0
12	教員は、授業時間を守っていますか	4.2
D	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか	1.6

管理栄養学科に所属する専任教員担当の科目について、特記すべきは設問 4、設問 5 および 7 についての評価がいずれも、3.9 とやや低いことである。この 3 項目は、学生の管理栄養士国家試験合格に向けた教育が求められる管理栄養学科において最も重要な項目であると考えられるが、その項目が低得点であったことは、学科全体の課題としてその改善が急務である。それぞれの授業における理解度を上げなければ、国家試験合格率の向上も望めない。各々の教員の専門性を学生の理解度に合わせた授業展開の中で、よりわかりやすく指導していくことが必要であると考えられる。

3 管理栄養学科学年別結果

設問	内容	全学年平均	1年	2年	3年	4年	5年
1	あなたは、この授業に出席していますか	4.6	4.8	4.5	4.6	4.5	
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んでいますか	4.0	3.9	4.1	4.2	4.3	
3	この授業は、シラバスにそって行なわれていますか	4.1	4.0	4.1	4.0	4.5	
4	授業内容は、わかりやすいですか	3.8	3.7	3.9	4.0	4.3	
5	この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか	3.8	3.7	3.9	3.9	4.2	
6	教員の教え方には、熱意が感じられますか	4.0	3.9	4.2	4.1	4.4	
7	授業の速さや進め方は、適切ですか	3.9	3.9	4.0	4.0	4.2	
8	教科書、配布資料が活用されていますか	4.1	3.9	4.3	4.2	4.3	

9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか	4.0	3.8	4.0	4.1	4.3
10	教員の声は聞き取りやすいですか	4.1	4.0	4.2	4.3	4.6
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切ですか	3.9	3.8	4.0	4.0	4.4
12	教員は、授業時間を守っていますか	4.2	4.1	4.4	4.3	4.5
B	あなたは、何年度入学ですか	7.2	8.0	7.0	6.0	5.1
D	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか	1.4	1.4	1.2	1.3	1.7

学年別でのアンケート結果で、特徴的なのは1年生の評価が他に比べて低いことである。管理栄養学科における1年次教育は、その後の学習の基礎となる科目が多く、1年次から高い意識を持たせて授業に取り組ませることが必要である。

4 履修者数別結果

設問	内容	1-50	51-100	101-150	151-200
1	あなたは、この授業に出席していますか	4.6	4.7	-	-
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んでいますか	4.2	3.8	-	-
3	この授業は、シラバスにそって行なわれていますか	4.1	3.9	-	-
4	授業内容は、わかりやすいですか	4.0	3.7	-	-
5	この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか	4.0	3.6	-	-
6	教員の教え方には、熱意が感じられますか	4.1	3.8	-	-
7	授業の速さや進め方は、適切ですか	4.0	3.7	-	-
8	教科書、配布資料が活用されていますか	4.2	3.6	-	-
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか	4.1	3.6	-	-
10	教員の声は聞き取りやすいですか	4.3	3.8	-	-
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切ですか	4.1	3.7	-	-
12	教員は、授業時間を守っていますか	4.2	3.9	-	-
D	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか	1.3	1.4	-	-

履修者数別では、設問1及びDを除いたすべての項目で、51-100人規模の講義に比べて1-50人規模の講義で高値を示した。管理栄養学科では、今回の対象であった25科目の内、23科目が1-50人規模の講義であったように、ほとんどの科目で1-50人規模の講義・実習形態をとっており、講義人数の規模としては、良い形で行われていると考えられる。

5 授業のわかりやすさ及び知的関心

表 わかりやすさ

科目名	平均
栄養マネジメント演習(金 4)	4.60
臨床栄養学 II(2 組)(月 2)	4.46
応用栄養学 I(1 組)(金 2.金 3)	4.41
臨床栄養学実習 I(2 組)(火 3.火 4.火 5)	4.39
病態学 I(1 組)(月 2)	4.39
専門演習 II(a)(水 5)	4.33
公衆栄養学実習(2 組)(木 3.木 4.木 5)	4.27
臨床栄養学演習(金 2)	4.24
基礎栄養学 I(2 組)(木 2)	4.24
公衆衛生学 I(2 組)(金 1)	4.18
公衆栄養学 II(2 組)(月 3)	4.18
調理科学実験(2 組)(金 1.金 2.金 3)	4.17
病態学 I(2 組)(月 4)	4.15
給食経営管理論 I(2 組)(木 1)	4.14
応用栄養学演習(2 組)(火 3.火 4)	4.04
栄養調理学実習(1 組)(火 1.火 2.火 3)	3.91
栄養管理学入門(オムニバス)(月 1)	3.83
フードスペシャリスト論(火 5)	3.82
食品学実験 I(1 組)(月 3.月 4.月 5)	3.60
生化学実験 I(2 組)(月 3.月 4.月 5)	3.53
栄養演習(火 4)	3.51
栄養指導実習(火 2)	3.38
栄養教育論 II(2 組)(金 2)	3.37
栄養教育論実習 II(2 組)(木 3.木 4.木 5)	3.37
生化学 I(1 組)(木 3)	3.32

表 知的関心

科目名	平均
1 栄養マネジメント演習(金 4)	3.50
2 専門演習 II(a)(水 5)	3.50
3 臨床栄養学 II(2 組)(月 2)	3.40
4 臨床栄養学実習 I(2 組)(火 3.火 4.火 5)	3.40
5 病態学 I(2 組)(月 4)	3.40
6 病態学 I(1 組)(月 2)	3.40
7 基礎栄養学 I(2 組)(木 2)	3.40
8 公衆衛生学 I(2 組)(金 1)	3.40
9 調理科学実験(2 組)(金 1.金 2.金 3)	3.40
10 応用栄養学 I(1 組)(金 2.金 3)	3.40
11 公衆栄養学 II(2 組)(月 3)	3.40
12 公衆栄養学実習(2 組)(木 3.木 4.木 5)	3.40
13 栄養調理学実習(1 組)(火 1.火 2.火 3)	3.40
14 給食経営管理論 I(2 組)(木 1)	3.40
15 臨床栄養学演習(金 2)	3.40
16 フードスペシャリスト論(火 5)	3.30
17 栄養管理学入門(オムニバス)(月 1)	3.30
18 応用栄養学演習(2 組)(火 3.火 4)	3.30
19 生化学実験 I(2 組)(月 3.月 4.月 5)	3.30
20 食品学実験 I(1 組)(月 3.月 4.月 5)	3.30
21 栄養演習(火 4)	3.30
22 生化学 I(1 組)(木 3)	3.30
23 栄養指導実習(火 2)	3.30
24 栄養教育論 II(2 組)(金 2)	3.30
25 栄養教育論実習 II(2 組)(木 3.木 4.木 5)	3.30

授業のわかりやすさ（設問4）については、かねてから「わかりやすい」だけの評価では片手落ちであり、「簡単すぎる」といった物足りなさや「大学の授業のレベルに達していない」といった不満の声が反映されていないとの指摘があった。そこで、今回の

アンケートでは、学生が「知的関心」を持てたかを問う設問（設問5）を加えた。

そこで、両設問の結果を対照してみると、「わかりやすさ」が「知的関心」が上回った科目は 11 科目、「わかりやすさ」より「知的関心」が上回った科目は 13 科目、両者のポイントが同じであった科目は 1 科目であった。

6 授業・教室管理について

科目名	平均
栄養マネジメント演習(金 4)	5.00
調理科学実験(2 組)(金 1.金 2.金 3)	4.43
病態学 I(1 組)(月 2)	4.43
公衆衛生学 I(2 組)(金 1)	4.36
公衆栄養学 II(2 組)(月 3)	4.36
専門演習 II(a)(水 5)	4.33
臨床栄養学 II(2 組)(月 2)	4.32
臨床栄養学実習 I(2 組)(火 3.火 4.火 5)	4.32
栄養調理学実習(1 組)(火 1.火 2.火 3)	4.32
臨床栄養学演習(金 2)	4.28
基礎栄養学 I(2 組)(木 2)	4.28
給食経営管理論 I(2 組)(木 1)	4.27
公衆栄養学実習(2 組)(木 3.木 4.木 5)	4.23
応用栄養学 I(1 組)(金 2.金 3)	4.05
病態学 I(2 組)(月 4)	4.04
応用栄養学演習(2 組)(火 3.火 4)	4.04

授業及び教室管理について、4.0 ポイント以上の好評価を得た科目は、左の通りである。

7 クロス集計

		設問 4(授業のわかりやすさ)					
		回答なし	1	2	3	4	5
	回答なし	0	0	1	1	1	0
	1	1	180	54	18	2	0
	2	0	28	149	53	3	0
	3	3	7	52	111	17	8

		設問 8(教科書・配布資料)		
		回答なし	1	2
	回答なし	0	1	1
	1	2	208	30
	2	1	50	137
	3	1	33	41

管理 栄養 学科	4	0	2	6	6	2	1
	5	0	1	0	5	0	6

管理 栄養 学科	4	0	2	7
	5	0	2	1

		設問 9(板書・モニターの見やすさ)						
		回答なし	1	2	3	4	5	
人間 生活 科学 部 管理 栄養 学科	設問 11	回答なし	0	0	1	1	1	0
		1	8	196	32	14	4	1
		2	9	42	131	40	8	3
		3	20	15	39	113	6	5
		4	1	3	3	4	5	1
	5	1	0	3	2	1	5	

			設問 10(声の聞き取)		
			回答なし	1	2
人間 生活 科学 部 管理 栄養 学科	設問 11	回答なし	0	2	1
		1	2	221	26
		2	2	82	132
		3	0	30	55
		4	1	5	5
	5	0	5	0	

クロス集計は、教室管理（設問 1 1）と設問 4、設問 8、設問 9、設問 10 と行なった。それぞれ共通していえることは、教室・授業管理について高い評価を得ている場合、クロス項目の評価も高く、これらは相関関係にあるということである。

8 複数教員担当科目について

科目名	学部学科名	学年	有効数	平均
市民生活と法	法学部	1	42	3.05
	経済学部	1	34	3.35
	経営学部	1	42	3.36
	人間生活科学部管理栄養	1	5	4.00
市民生活と経済	法学部	1	25	3.32
	経済学部	1	34	3.35
	経営学部	1	41	3.41
	人間生活科学部管理栄養	1	50	3.08
市民生活と健康	法学部	1	48	2.88
	経済学部	1	54	3.24
	経営学部	1	60	3.35
	人間生活科学部管理栄養	1	0	0.00
市民生活とビジネス	法学部	1	37	2.92

	経済学部	1	38	3.37
	経営学部	1	33	3.55
	人間生活科学部管理栄養	1	56	3.23

共通基礎科目（市民生活シリーズ）に対する評価は、どの科目についても法学部生の評価が最も低いという結果となった。要因の究明については、より詳細な調査を行わなければならない。

学部学科別結果分析【後期】

< 法学部 >

1 実施概要

今回の対象科目は、27科目であった。これら全科目においてアンケートが実施され回収率も100%であった。回答率については61.08%であり、例年より回答率が上がった。出席管理システムの導入が影響したと思われる。

2 教員所属別

ほとんどの項目において、平均で4.0ポイント以上の評価を得た。しかし、オムニバス科目についての評価が、非常に低かった（平均3.1ポイント）。

また、多くの学生はシラバスを読んでいないことが判明した。

3 学生視点

すべての学年で、オムニバス科目の評価が低かった。（1年3.0ポイント、2年2.7ポイント、3年2.8ポイント、4年3.1ポイント）。

4 履修者数別

少人数科目については、設問項目についてすべて4.0ポイント以上の高い評価を得た。101人～150人の授業および251人～300人の授業で、3ポイント台の評価が目立った。

	授業数	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12
1～50人	16	4.3	4.0	4.3	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.3	4.2	4.4
51～100人	6	4.3	3.9	4.1	3.9	3.8	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.1	4.2
101～150人	2	4.1	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	3.7	4.1
151～200人	1	4.3	4.1	4.0	4.0	3.8	4.2	3.9	4.1	4.1	4.3	4.0	4.2
201～250人	1	4.0	4.0	4.2	4.1	4.0	4.3	4.0	3.6	4.2	4.4	4.2	4.2
251～300人	1	4.4	3.9	3.9	3.7	3.7	3.9	3.9	4.1	4.0	4.0	3.8	4.1

5 わかりやすさについて

4.0ポイント以上の科目は専任教員担当の27科目中15科目であった。非常勤担当科目では、9科目中3科目であった。

また、オムニバス科目では1科目が該当した。

6 知的関心について

4.0 ポイント以上の科目は専任教員担当科目 27 科目中 11 科目で、非常勤担当科目では 9 科目中 3 科目であった。

また、オムニバス科目では、該当がなかった。

7 授業管理について

4.0 ポイント以上の科目は、専任教員担当科目 27 科目中 18 科目あり、非常勤担当科目では 9 科目中 4 科目であった。

また、オムニバス科目では、1 科目を除いて授業管理に関する評価が低かった。

8 クロス集計について

授業管理（設問 11）と設問 4（わかりやすさ）、設問 8（教科書・配布資料）、設問 9（板書・スクリーン等）、設問 10（教員の声）のクロス集計の結果、専任教員担当科目および非常勤担当科目のいずれにおいても、授業管理評価が高ければ、他の設問の評価も高いという相関関係が確認できた。

< 経済学部 >

1. 概要

アンケート回収率（回収科目数÷対象科目数）は 100.0%であった。これは前期に未提出分があったが、これを踏まえて担当教員への周知を徹底するなどの点を改善したことがこの結果になったと考えられる。

また、アンケート回答率（回答者数÷回収科目履修者数）についてみると、56.41%であった。前期の回答率が 63.14%であったこと、後期の他学部の回答率をみても、経営学部が 57.68%、法学部が 61.08%であることを考慮すると、社会科学系の学部の中では最も低くなっている。さらに、人間生活科学部と比較しても、全体平均の 60.48%と比較しても低くなっている。

これらのことから、アンケート実施の時点で失格（あるいはその予備軍）になっている学生が相応にいると考えられる。ここから、回答率の向上を図ることが重要になるといえる。前期の結果でも指摘したが、失格もしくは失格予備軍の学生を減らすことが重要になる。

2. 学部所属教員

全体的に社会科学系3学部のなかでは、平均が1位となっている設問はなく、2位か3位がほとんどであった。「設問1」が4.3と経営学部について高くなっているほかは、同率で2位か、3位であった。学部の平均が4以上のなっていた一方で、本学部では3点台にとどまっていた。

前期の報告において指摘したが、授業の進度、教材の活用、教員の声の聞き取りやすさ、教室管理といった点への対応について、今後より一層努力する必要がある。なかでも、「設問9」の板書やスクリーンの示し方については、経営学部が4.1、法学部が4.0となっているなかで、3.6と最も低くなっている。この項目については、わかりやすさとも直結するものであるため、改善が必要であるといえる。

3. 学部学生視点からのデータ分析

学部学生の傾向としては、学年が上がるにつれて評価が高くなっているということである。「設問1」から「設問12」までの質問のうち、3年生については「設問2」が平均(4.0)以下の3.9になっていたほかは、全て平均点以上となっていた。一方で、1年次や2年次の学生については、2年次の場合は平均点以上となっているのは「設問1」、「設問3」、「設問4」、「設問5」、「設問10」、「設問11」、「設問12」である。1年次の場合は「設問1」、「設問2」、「設問4」、「設問8」、「設問9」、「設問10」である。

平均点を下回っている項目としては、2年次では授業に対する姿勢、講義資料などに関する項目があった。これについては、特に後者は授業者側で配慮をしていく必要があるだろう。1年次については、教室管理や授業の進度、知的関心に関する項目が低くなっていた。このなかでは、知的関心を引き出すうえで、授業の進度は重要となるため、この点を考慮しつつ授業を進めていく必要があるのではないかと考えられる。

とはいえ、受講者の面での課題もある。それは、シラバスに目を通したかどうかという点である。全体平均をみても、学年別にみても1点台の後半と非常に低い。こうした状況では、授業者と受講者の間でのミスマッチが起こるのは必然的である。そのため、受講者についても、シラバスを事前に読むなどの対応が必要であるといえる。

4. 知的関心・わかりやすさについて

本学部において知的関心の項目が高くなっている授業の上位3つをあげると、「共生社会の探究」(4.64)、「英語ライティングI(1)(月4)」(4.46)、「マルサス経済論II/マルサス経済論(月1)」(4.22)である。「経済政策(月3)」、「日本経済論(水3.木3)」、「流通経済論(金2)」、「地域政策(木4)」、「消費者政策(木1)」、「戦後日本経済の動き(木3)」

「情報入門（金 4）」であった。専門科目の知的関心が高くなっているという特徴があると考えられる。このうち、専門基幹科目が4つ（経済政策、日本経済論、地域政策、消費者政策）も入っているという特徴があった。

一方で、わかりやすさについてみておこう。わかりやすいという科目については、上位3位をみると、「経済情報処理(水1)」(4.69)、「英語ライティング I(1)(月4)」(4.42)、「共生社会の探究」(4.36)となっている。それ以降については、「社会保障論（火1）」(4.33)、「日本経済論（水3.木3）」(4.21)、「流通経済論（金2）」(4.20)となっていた。

5. クロス集計データ

ここでのデータは、教室管理とわかりやすさ、教室管理と授業資料の活用、教室管理と機材の活用、教室管理と教員の声の聞き取りやすさである。全体的に言えることであるが、教室管理と授業への配慮をしっかりと行っている場合には、学生の満足も高くなっていることがわかる。本学部の場合は、教室管理に関する平均点が他学部に比べて低くなっていた。このことから、教室管理をしっかりと行うことが必要な課題になっているといえよう。

< 経営学部 >

1. 経営学部所属教員実施対象科目数、実施率、コメント提出率／

経営学部所属学生の回答率

所属名	対象科(A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント 提出率 (C÷B)
【全体】	181	169	93.37	150	88.76
経営学部	20	19	95.00	19	100.00

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
【全体】	9,678	9,354	5,657	60.48
経営学部	1,733	1,713	988	57.68

経営学部所属専任教員が担当する 20 科目がアンケート対象であったが、教員の実施忘れがあり、19 科目のアンケートが実施された。結果についてのコメントはすべて提出された。

経営学部所属学生の回答率は 57.68%であり、全体平均、また前期の 62.55%に比べると低くなっている。出席率の低下は見て取れる。学ぶ意欲の薄い入学者が少なくない現状の中で、出席率をどう高めていくかは、依然として重い課題である。

2. 学生視点からのデータ分析

* 設問項目

設問	内容
1	あなたは、この授業に出席していますか
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んでいますか
3	この授業は、シラバスにそって行なわれていますか
4	授業内容は、わかりやすいですか
5	この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか
6	教員の教え方には、熱意が感じられますか
7	授業の速さや進め方は適切ですか
8	教科書、配布資料が活用されていますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか
10	教員の声は聞き取りやすいですか
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切ですか
12	教員は、授業時間を守っていますか

* 教員所属別平均

所属	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9	設問 10	設問 11	設問 12
全体	4.4	4.0	4.1	4.0	3.9	4.1	4.0	4.1	4.0	4.2	4.0	4.3
経営学部	4.4	4.1	4.2	4.1	4.0	4.2	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.4

経営学部所属教員担当科目の平均ポイントは、ほぼ全ての設問において全体平均を上回っている。前期では他の設問と比べてやや低かった「わかりやすさ」と「知的関心」の評価は、「4.1」と「4.0」と上昇してきており、大きな差が認められなくなった。全体として良好な結果といえる。

*** 学生視点<学部全体と学年別>**

設問	全体	1年	2年	3年	4年
1	4.3	4.3	4.4	4.4	4.1
2	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0
3	4.1	4.0	4.2	4.2	4.3
4	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0
5	3.9	3.8	3.9	3.9	4.1
6	4.1	4.0	4.1	4.2	4.2
7	4.0	4.0	4.0	4.1	4.2
8	4.1	4.0	4.1	4.2	4.2
9	4.0	3.9	4.0	4.1	4.0
10	4.2	4.1	4.1	4.3	4.3
11	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0
12	4.3	4.3	4.3	4.5	4.4
1～12 平均	4.1	4.0	4.1	4.2	4.2

経営学部の学生視点からすると、「わかりやすさ」は学部全体では平均 4.0 となっており、おおむね良好である。また、「わかりやすさ」と「知的関心」は、前期と比べると、それぞれ 0.1 ポイント上昇している。1 年生の平均は、前期と比べると、それぞれ 0.2 ポイント高くなった。「教室管理」の学部平均は 4.0 であり、これも前期より 0.1 ポイント上昇している。中でも 1 年生の平均値は、前期の 3.7 に対して後期は 4.0 であり、上昇幅はもっとも大きい。こうした上昇傾向は、学生の授業満足度がやや高くなってきたことを示しているといえる。

*** クラスサイズ別の「わかりやすさ」と「教室管理」**

クラスサイズ別の「わかりやすさ」/「教室管理」については、これまで、「50 人以下の小クラスが最もポイントが高い」という傾向が認められた。後期の平均値を見ると、

以下のように、クラスサイズ別の差が殆ど認められないことがわかる。クラス規模に関わらず、より多くの講義は適切な教室管理のもとで平易に行われていることと推測できる。

1～50 人	(クラス数 6)	【4.0 /4.1】
51～100 人	(クラス数 4)	【4.2 /4.1】
101～150 人	(クラス数 6)	【4.1 /4.1】
151～200 人	(クラス数 3)	【4.1 /4.0】

3. クロス集計について

「教室管理」と「わかりやすさ」「教科書、配布資料の活用」、「板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」「教員の声の聞こえやすさ」の4項目のクロス集計を行なった(詳細データは省略)。「教室管理」と「わかりやすさ」を例にとって見ると、それぞれ4.0以上の評価を得ている15科目中には13科目が共通する。また、以下の数字から、「教室管理」と授業のわかりやすさ、教員の声の聞き取りやすさ等の相関関係が読み取れるように思われる。適切な教室管理は、授業満足度を高める最も重要な要素であるといえる。

設問11「私語、携帯電話、遅刻など教室管理」と問4「わかりやすさ」:

「非常に適切である」・「非常にわかりやすい」 304人

設問11「私語、携帯電話、遅刻など教室管理」と問8「配布資料の活用」:

「非常に適切である」・「非常に活用されている」 334人

設問11「私語、携帯電話、遅刻など教室管理」と問9「板書等の見やすさ」:

「非常に適切である」・「非常に見やすい」 333人

設問11「私語、携帯電話、遅刻など教室管理」と問10「声の聞き取りやすさ」:

「非常に適切である」・「非常に聞き取りやすい」 353人

4. 「わかりやすさ」、「知的関心」、「教室管理」の結果分析

この分析では、専任教員の担当科目19科目に加え、非常勤講師および兼任教員が担当した経営学部専門科目4科目も含まれている。

*** 設問4「わかりやすさ」と設問11「教室管理」結果(詳細データ省略)**

アンケート対象となった 23 科目の中で、「わかりやすさ」について、評価平均 4.0 以上の科目は 16 科目（69.5%）であり、前期より 19.5%あがっている。「教室管理」も 23 科目中 16 科目が 4.0 以上を得ており、前期と同じ良好な結果を維持している。

* 設問 5 「知的関心」結果

「知的関心」は、下表のとおり、4.0 以上は 23 科目中の 15 科目であり、「わかりやすさ」、「教室管理」と同様、前期より評価が高くなっている。3 学部で見ると、経済学部の 3.7 と法学部の 3.9 に対して、経営学部の平均値はやや高めである。

科目名	平均
情報システム設計(木 5. 金 5)	4. 45
情報倫理学／情報社会と情報倫理(木 4)	4. 40
中国語入門(金 1)	4. 39
ビジネスモデル(火 2)	4. 38
日本経営史(木 4)	4. 23
経営管理論(水 2)	4. 22
健康生活と生涯スポーツ／健康とスポーツ(火 1)	4. 21
財務分析論(木 1)	4. 18
環境共生の探究／総合科目 II (環境問題と企業経営)(木 2)	4. 16
ビジネスエッセンス(金 2)	4. 15
ビジネスシステム手法(木 2)	4. 14
アジア経営論(木 2)	4. 12
健康生活と生涯スポーツ／健康とスポーツ(月 2)	4. 10
情報ネットワーク II／情報ネットワーク(火 1)	4. 01
英語コミュニケーション(4)／英語コミュニケーション I (4)(金 2)	4. 00
流通論(金 1)	3. 93
マーケティング論(木 3)	3. 86
スポーツと社会(木 1)	3. 84
情報技術の経営学(水 2)	3. 83
情報技術の経営学／コンピュータの基礎(水 3)	3. 76
市民生活と教育(B)／教育学(木 1)	3. 63
基礎英語 II (C)(月 2)	3. 46

＜人間生活科学部教育保育学科＞

今回の教育保育学科の対象科目数は17であり、全て回収した。対象科目履修者数に対する回収数の割合が61%と低いのはなぜか。気にかかるところである。

それともう一つ、学生視点集計結果を見ていて気づいたのだが、学年の項目で未回答・不明の数と5年生の数とが多いように見受けた。延べ人数だからそうなったのかも知れないが、それらが一般に低い評価で回答しているという事実は指摘できる。アンケートの信頼性を担保するために、アンケート回答者の性質ということを考える必要があるのかもしれない。その科目が再履修であるかどうかや、アンケート回答に対する誠実さで、アンケート結果の印象が変わることは、大いにあり得ることだ。今後の課題である。

一般論として、学生の能力と、FDアンケートの評価とは相関関係にあると予想できる。教育は、学生に一定の負荷(ストレス)を与えることによって、そこから一定の成長を促す営みだろう。そこが、教育とサービス産業との大きな差異なのであり、耳に優しく口に甘いことばをただ投げかけるだけ、手足や身体をさして動かさずに甘やかして点を与えるだけでは、教育成果は期待できない。ということは、周囲の学生に較べてより学力が低かった学生にとっては、一定の水準にまで伸びるためには、同じ授業に臨んでいても、より大きな負荷が課されているということになる。そのような学生が、自分の学力の伸びない理由を、自分自身に求めずに、教員の教育方法等に、その原因を転訛することは、十分に考えられる。したがって、授業評価アンケートが低くなることには、個々の教員の授業方法に問題がある場合もあるのだけれども、それは、ある特定の授業に対してというように、個別の評価として現れる。それに対して、もし、個々の授業のばらつきとは別に、学科や学部、あるいは大学全体で授業評価が、以前に較べて低くなっていく場合には、学生の学力、性質が低下していく傾向にあることを示すと考えられる。入試の方法が変更されたり、カリキュラムが変わったりして近隣の高等学校での評価が定まるにつれて、入学学生の学力や性質に変化が起こることも予想される。これからアンケート全体の動向が注目される所以である。

さて、個々の授業評価を見よう。

教育保育学科では、2013年度前期の着目点を、そのまま、見続けてみたい。すなわち、「授業の分かりやすさ」と「知的関心」についての相関関係を学年及び必修、選択の別、専門、共通の別、座学、実技やスポーツの科目の別を比較したい。

授業の分かりやすさ（左）と知的興味（右）との相関

- (1) 4. 70--- (1) 4. 43 必修・実技・1年
- (2) 4. 55--- (2) 4. 30 必修・座学・2年
- (3) 4. 39--- (3) 4. 14 必修・座学・2年
- (4) 4. 13--- (4) 4. 10 選択・座学・1年～4年（共通）
- (5) 4. 04--- (6) 4. 04 必修・座学・3年
- (6) 4. 25--- (7) 3. 96 必修・実技・3年
- (7) 3. 90--- (5) 4. 10 必修・実技・1年
- (8) 3. 87--- (8) 3. 97 必修・座学・2年
- (9) 3. 86--- (10) 3. 82 選択・座学・1年～4年（共通）
- (10) 3. 76--- (11) 3. 76 必修・座学・?年※他学部教職科目
- (11) 3. 74--- (9) 3. 96 必修・座学・1年※前期開講科目
- (12) 3. 70--- (12) 3. 65 必修・座学・2年※前期開講科目
- (13) 3. 64--- (14) 3. 58 選択・座学・2年～4年（旧カリ共通）
- (14) 3. 52--- (15) 3. 58 必修・座学・2年
- (15) 3. 47--- (16) 3. 33 必修・座学理・3年
- (16) 3. 46--- (13) 3. 59 必修・座学・2年※前期開講科目
- (17) 3. 23--- (17) 3. 13 必修・座学・3年

これを見ると、この両者は正の相関関係にあると言える。教育保育学科の特色として、資格や免許のための必修科目が多いことが挙げられるが、今回は座学が健闘していると言える。ただし、前期に較べると分かりやすさと知的興味と共にポイントが下がっている。前期は、22科目中14科目が分かりやすさで4ポイント以上を獲得していた(64%)。また、知的興味についても、10科目が4ポイント以上を獲得していた(45%)。今回は、それぞれ共に17科目中6科目(35%)となっており、このポイント低下の原因について、前期と後期とでこのようになる傾向が従来からあったかは後者の質問項目が新設であることから分からないので、引き続き来年度も追跡してみたい。

<人間生活科学部管理栄養学科>

1. 実施概要

所属名	対象科目	回収科目	回答者数	回答率
-----	------	------	------	-----

	履修者数(D)	履修者数(E)	(F)	(F÷E)
管理栄養	879	798	650	81.45
【全体】	9,678	9,354	5,657	6.048

管理栄養学科の専任教員担当科目のうち 26 科目が今回のアンケート対象であった。アンケートの回収率は 81.45%と学校全体の回収率に加えて 20%以上上回っていた。

2. 管理栄養学科所属教員の結果（他学部科目及び他学部履修生を含む）

設問	内容	平均
1	あなたは、この授業に出席していますか	4.7
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んでいますか	4.3
3	この授業は、シラバスにそって行なわれていますか	4.3
4	授業内容は、わかりやすいですか	4.1
5	この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか	4.1
6	教員の教え方には、熱意が感じられますか	4.3
7	授業の速さや進め方は、適切ですか	4.2
8	教科書、配布資料が活用されていますか	4.4
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか	4.2
10	教員の声は聞き取りやすいですか	4.4
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切ですか	4.2
12	教員は、授業時間を守っていますか	4.4
D	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか	1.4

管理栄養学科に所属する専任教員担当の科目について、特記すべきは設問 4 および設問 5 についての評価がいずれも、4.1 とやや低いことである。この 2 項目は、学生の管理栄養士国家試験合格に向けた教育が求められる管理栄養学科において最も重要な項目であると考えられるが、その項目が低得点であったことは、学科全体の課題としてその改善が急務である。それぞれの授業における理解度を上げなければ、国家試験合格率の向上も望めない。各々の教員の専門性を学生の理解度に合わせた授業展開の中で、よりわかりやすく指導していくことが必要であると考えられる。

3 管理栄養学科学年別結果

設問	内容	全学年平均	1年	2年	3年	4年	5年
1	あなたは、この授業に出席していますか	4.7	4.7	4.7	4.8	4.5	
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んでいますか	4.2	4.0	4.2	4.6	3.5	
3	この授業は、シラバスにそって行なわれていますか	4.1	4.0	4.3	4.4	4.0	
4	授業内容は、わかりやすいですか	4.0	3.9	4.1	4.4	3.5	
5	この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか	4.0	3.8	4.1	4.4	3.3	
6	教員の教え方には、熱意が感じられますか	4.2	4.1	4.3	4.5	3.3	
7	授業の速さや進め方は、適切ですか	4.1	4.0	4.2	4.4	3.7	
8	教科書、配布資料が活用されていますか	4.3	4.2	4.4	4.6	3.7	
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか	4.2	4.0	4.3	4.5	3.5	
10	教員の声は聞き取りやすいですか	4.3	4.2	4.5	4.6	4.2	
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切ですか	4.1	4.0	4.2	4.4	4.0	
12	教員は、授業時間を守っていますか	4.3	4.2	4.5	4.6	4.0	
B	あなたは、何年度入学ですか	7.3	8.0	7.0	5.9	5.2	
D	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか	1.4	1.4	1.3	1.4	1.7	

学年別でのアンケート結果で、特徴的なのは1年生の評価が他に比べて低いことである。管理栄養学科における1年次教育は、その後の学習の基礎となる科目が多く、1年次から高い意識を持たせて授業に取り組ませることが必要である。

4 履修者数別結果

設問	内容	1-50	51-100	101-150	151-200
1	あなたは、この授業に出席していますか	4.7	4.8	-	-
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んでいますか	4.2	4.8	-	-
3	この授業は、シラバスにそって行なわれていますか	4.2	4.7	-	-
4	授業内容は、わかりやすいですか	4.1	4.6	-	-
5	この授業の内容は、知的関心を引き出すものですか	4.1	4.7	-	-
6	教員の教え方には、熱意が感じられますか	4.2	4.9	-	-
7	授業の速さや進め方は、適切ですか	4.1	4.7	-	-
8	教科書、配布資料が活用されていますか	4.4	4.8	-	-
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか	4.2	4.5	-	-
10	教員の声は聞き取りやすいですか	4.4	4.9	-	-
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切ですか	4.2	4.8	-	-

12	教員は、授業時間を守っていますか	4.4	4.6	-	-
D	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか	1.4	1.6	-	-

今回の対象は 26 科目の内、25 科目が 1-50 人規模の講義であった。一方、51-100 人規模の講義は 1 科目であり、その科目が全体的に高得点であったため、上表のような結果となった。

5 授業のわかりやすさ及び知的関心

表 わかりやすさ

科目名	平均
応用栄養学実習(1組)(金 3.金 4.金 5)	4.70
総合栄養学(1・2組)(月 3)	4.64
公衆衛生学 II(2組)(金 2)	4.52
公衆衛生学 II(1組)(金 1)	4.43
公衆衛生学実習(1組)(火 3.火 4.火 5)	4.43
子どもの食と栄養 B(火 4)	4.38
食品学実験 II(2組)(木 1.木 2.木 3)	4.34
公衆衛生学実習(2組)(火 3.火 4.火 5)	4.33
臨床栄養学 III(2組)(金 1)	4.32
臨床栄養学実習 II(2組)(火 3.火 4.火 5)	4.31
基礎栄養学実習(1組)(火 3.火 4.火 5)	4.26
基礎栄養学 II(2組)(金 2)	4.24
給食経営管理論実習(2組)(木 1.木 2.木 3)	4.22
栄養教育論実習 I(1組)(金 3.金 4.金 5)	4.21
食品学 II(1組)(火 4)	4.19
栄養教育論演習(2組)(木 3.木 4)	4.17
給食経営管理論 III(1組)(金 2)	4.14
公衆栄養学 I(2組)(月 3)	4.13
調理学(2組)(火 2)	4.06
栄養教育論 I(2組)(火 2)	4.05
病態学 II(2組)(月 4)	4.00
応用栄養学 II(2組)(火 1)	3.95
調理学実習(2組)(月 3.月 4.月 5)	3.91

表 知的関心

科目名	平均
1 応用栄養学実習(1組)(金 3.金 4.金 5)	4
2 総合栄養学(1・2組)(月 3)	4
3 公衆衛生学 II(2組)(金 2)	4
4 臨床栄養学実習 II(2組)(火 3.火 4.火 5)	4
5 臨床栄養学 III(2組)(金 1)	4
6 給食経営管理論実習(2組)(木 1.木 2.木 3)	4
7 公衆衛生学 II(1組)(金 1)	4
8 公衆衛生学実習(1組)(火 3.火 4.火 5)	4
9 公衆衛生学実習(2組)(火 3.火 4.火 5)	4
10 食品学実験 II(2組)(木 1.木 2.木 3)	4
11 基礎栄養学実習(1組)(火 3.火 4.火 5)	4
12 子どもの食と栄養 B(火 4)	4
13 栄養教育論演習(2組)(木 3.木 4)	4
14 調理学実習(2組)(月 3.月 4.月 5)	4
15 栄養教育論実習 I(1組)(金 3.金 4.金 5)	4
16 調理学(2組)(火 2)	4
17 基礎栄養学 II(2組)(金 2)	4
18 給食経営管理論 II(1組)(金 2)	4
19 公衆栄養学 I(2組)(月 3)	4
20 応用栄養学 II(2組)(火 1)	4
21 病態学 II(2組)(月 4)	4
22 栄養教育論 I(2組)(火 2)	4
23 食品学 II(1組)(火 4)	4

生化学実験Ⅱ(1組)(木1.木2.木3)	3.31	24	基礎栄養学Ⅱ(1組)(金1)	ε
基礎栄養学Ⅱ(1組)(金1)	3.30	25	生化学実験Ⅱ(1組)(木1.木2.木3)	ε
生化学Ⅱ(2組)(火4)	2.71	26	生化学Ⅱ(2組)(火4)	ε

わかりやすさと知的関心がほぼ同じ程度の得点である科目が散見され、学生にわかりやすい授業を示し、興味関心を高めていくことの重要性が感じ取られた。

6 授業・教室管理について

科目名	平均
総合栄養学(1・2組)(月3)	4.83
応用栄養学実習(1組)(金3.金4.金5)	4.55
公衆衛生学実習(1組)(火3.火4.火5)	4.52
公衆衛生学Ⅱ(1組)(金1)	4.50
基礎栄養学実習(1組)(火3.火4.火5)	4.43
公衆衛生学Ⅱ(2組)(金2)	4.38
食品学実験Ⅱ(2組)(木1.木2.木3)	4.38
給食経営管理論Ⅱ(1組)(金2)	4.32
病態学Ⅱ(2組)(月4)	4.30
栄養教育論演習(2組)(木3.木4)	4.30
調理学(2組)(火2)	4.29
子どもの食と栄養B(火4)	4.27
公衆衛生学実習(2組)(火3.火4.火5)	4.24
公衆栄養学Ⅰ(2組)(月3)	4.22
基礎栄養学Ⅱ(2組)(金2)	4.18
調理学実習(2組)(月3.月4.月5)	4.17
臨床栄養学実習Ⅱ(2組)(火3.火4.火5)	4.15
栄養教育論Ⅰ(2組)(火2)	4.15
給食経営管理論実習(2組)(木1.木2.木3)	4.13
臨床栄養学Ⅲ(2組)(金1)	4.13
基礎栄養学Ⅱ(1組)(金1)	4.05
応用栄養学Ⅱ(2組)(火1)	4.05

授業及び教室管理について、
4.0ポイント以上の好評価を得た科目は、
左の通りである。

7 クロス集計

		設問 4(授業のわかりやすさ)						
		回答なし	1	2	3	4	5	
人間 生活 科学 部 管理 栄養 学科	設問 11	回答なし	0	4	3	0	1	0
		1	1	242	62	18	0	1
		2	0	28	101	29	4	0
		3	0	9	28	76	8	6
		4	0	1	1	5	6	1
		5	0	2	2	4	1	6

			設問 8(教科書・配布資料)		
			回答なし	1	2
人間 生活 科学 部 管理 栄養 学科	設問 11	回答なし	1	5	2
		1	0	285	31
		2	0	65	84
		3	0	26	37
		4	0	3	3
		5	0	2	3

		設問 9(板書・モニターの見やすさ)						
		回答なし	1	2	3	4	5	
人間 生活 科学 部 管理 栄養 学科	設問 11	回答なし	0	5	2	1	0	0
		1	0	275	38	10	0	1
		2	0	37	97	24	4	0
		3	0	16	34	63	9	5
		4	0	1	3	8	1	1
		5	0	3	0	3	3	6

			設問 10(声の聞き取り)		
			回答なし	1	2
人間 生活 科学 部 管理 栄養 学科	設問 11	回答なし	0	5	3
		1	1	297	20
		2	0	49	99
		3	0	21	42
		4	0	3	5
		5	0	4	1

クロス集計は、教室管理（設問 1 1）と設問 4、設問 8、設問 9、設問 10 と行なった。それぞれ共通していえることは、教室・授業管理について高い評価を得ている場合、クロス項目の評価も高く、これらは相関関係にあるということである。

< 兼任・非常勤講師 >

*実施率/コメント回収率

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
【全体】	181	169	93.37	150	88.76
非常勤	61	52	85.25	39	75.00

今年度は非常勤講師担当の情報科目と外国語科目を後期に実施したため、アンケート対象科目が 61 となり、全体の 3 分の 1 を閉める結果となった。

実施日程表を配布し、実施のお願いをしたにもかかわらず、2 名の教員が実施忘れ、2 名が実施したアンケートの提出忘れにより、回収数が 52 となった。

次年度は教務窓口でも出席管理用タブレットの手渡し時にアンケート実施と提出について再度お願いをするなど対策を講じる必要がある。

*学生の回答率

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
【全体】	9,678	9,354	5,657	60.48
非常勤	2,485	2,262	1,301	57.52

全体平均を下回る 57.52%である。出席率を反映しているわけだが、履修したら最後まで出席し続けるように演習等でも指導が必要である。

*クラスサイズ

情報、語学が多いため、52 科目中、44 科目が 50 人以下である。設問 1～12 すべて 4.0 以上。

51～100 人は 5 科目 3.9 以下が 7 項目。

101～150 人は 1 科目、300 人以上が 1 科目であった。

*設問 1～12 の平均値

所属	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9	設問 10	設問 11	設問 12
全体	4.4	4.0	4.1	4.0	3.9	4.1	4.0	4.1	4.0	4.2	4.0	4.3
非常勤	4.4	4.0	4.2	4.0	3.9	4.1	4.0	4.11	4.1	4.3	4.0	4.3

設問 4 「わかりやすさ」、設問 5 「知的関心」、設問 11 「教室管理」すべて全体平均と同じである。

*非常勤講師、兼任教員担当の共通科目について

	わかりやすさ	知的関心	教室管理
情報基礎 I(水 2)	4.83	4.24	4.50
はじめてのワープロ(水 3)	4.63	4.56	4.25
はじめての表計算(水 4)	4.45	4.55	4.50
情報基礎 II(水 4)	4.44	4.44	4.78
情報基礎 I(水 2)	4.12	4.33	4.29
はじめての表計算(木 3)	4.00	4.07	4.07
ビジネス情報処理 II(水 3)	3.56	3.56	3.67
情報検定表計算／情報基礎 I(木 3)	4.20	3.67	4.17
情報基礎 I(木 3)	4.05	4.14	3.95
平均	4.25	4.17	4.24
政治の世界／政治の理論(火 3)	4.26	4.08	4.09
政治の世界／政治の理論(月 3)	4.15	4.15	4.31
日本探訪／地理学(月 1)	3.36	3.37	3.75
(留)日本事情 III(火 4)	4.44	4.56	4.78
平均	4.05	4.04	4.23
フランス語入門(火 4)	4.41	4.32	4.41
フランス語入門(火 3)	3.88	3.84	4.08
フランス語入門(木 4)	4.38	4.19	4.00
フランス語入門(木 5)	3.94	3.94	4.13
平均	4.15	4.07	4.15
ドイツ語入門(火 3)	4.00	3.93	4.21
ドイツ語入門(火 2)	3.61	3.44	3.81
ドイツ語入門(火 1)	3.32	3.45	3.41
平均	3.64	3.61	3.81
コリア語入門(月 3)	4.25	4.08	4.13
コリア語入門(月 2)	3.89	3.56	4.00
平均	4.07	3.82	4.06
ポルトガル語入門(木 4)	4.27	4.09	4.59